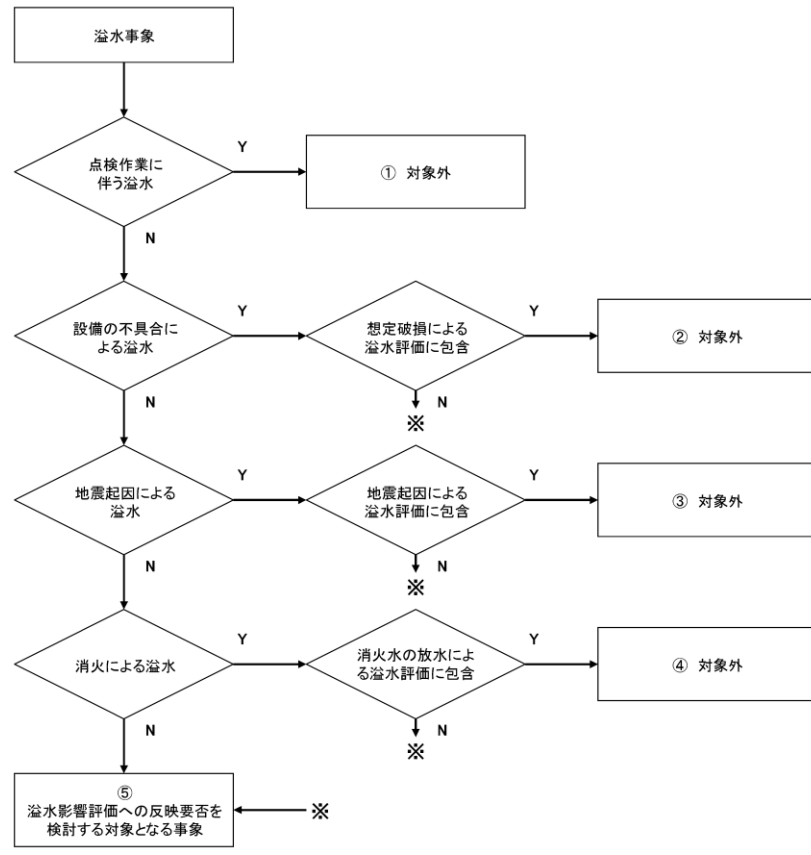
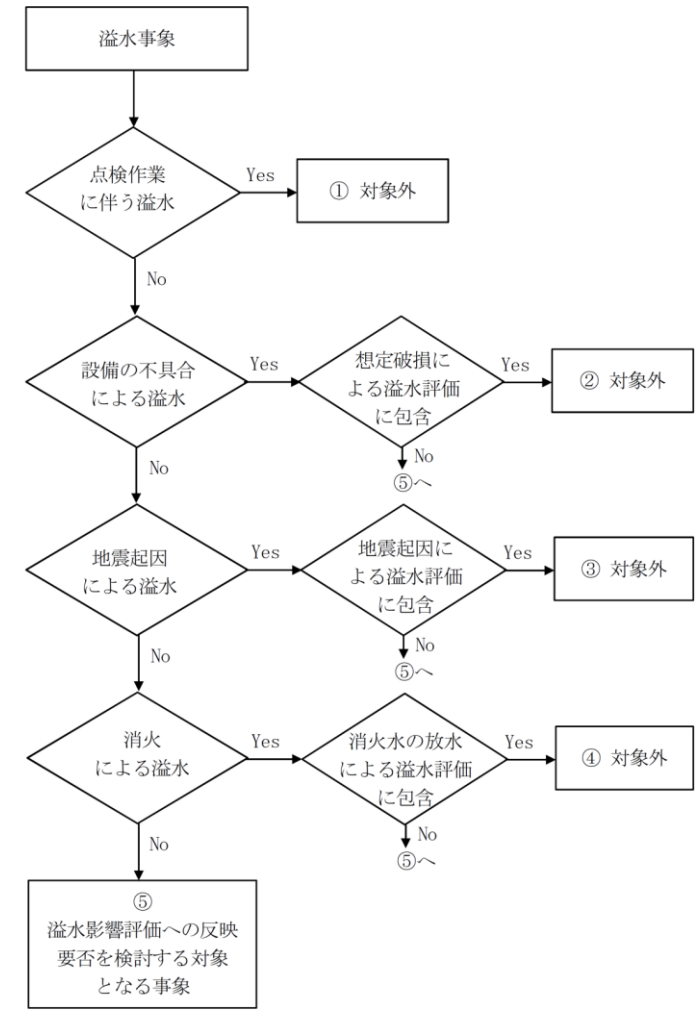


| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|---|---|----|
| <p style="text-align: right;">補足説明資料 8</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>溢水に係わる過去の不具合事例の抽出を行い、<u>柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉における内部溢水影響評価への反映要否について</u>、検討を実施した。</p> <p>8.1 過去の不具合事例の抽出 <u>内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。</u></p> <p>① プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象</p> <p>② 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象</p> <p>③ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出</p> <p>④ <u>調査対象期間は平成26年10月6日発生分までとするが、本期間外については他電力会社から個別に提供された情報等については対象に追加する</u></p> <p>8.2 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象について、<u>補足第8.2-1図及び補足第8.2-1表に基づき抽出した。抽出した事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を補足第8.2-2表に、過去の不具合事例として抽出した全事象を補足第8.2-3表に示す。</u></p> <p>8.3 過去の不具合事例への対応について 過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることとなっていることから、<u>評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u></p> <p>今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p> | <p style="text-align: right;">補足説明資料-23</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに 溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出 <u>内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象 ・ 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象 ・ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出 <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定 内部溢水影響評価への反映要否について、<u>第1図及び第1表に基づき抽出した。抽出した事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を第2表に示す。</u></p> <p>4. 過去の不具合事例への対応について 過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、<u>東海第二発電所においては、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、今後必要となる対策を講ずることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u></p> <p>今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p> | <p style="text-align: right;">補足説明資料 8</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに 溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出 <u>過去の不具合事例から溢水事象を以下により抽出した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象 ・ 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象 ・ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出 <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定 <u>抽出した溢水事象から内部溢水影響評価への反映が必要となる事象を図3-1及び表3-1に基づき選定した。選定した事象に対する内部溢水影響評価における対応状況を表3-2に、過去の不具合事例として抽出した全事象を表3-3に示す。</u></p> <p>4. 過去の不具合事例への対応について <u>溢水を伴う過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u></p> <p>今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|---|---|----|
| <p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p> | <p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p> | <p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p> | |



補足第 8.2-1 図 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー



第 1 図 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー

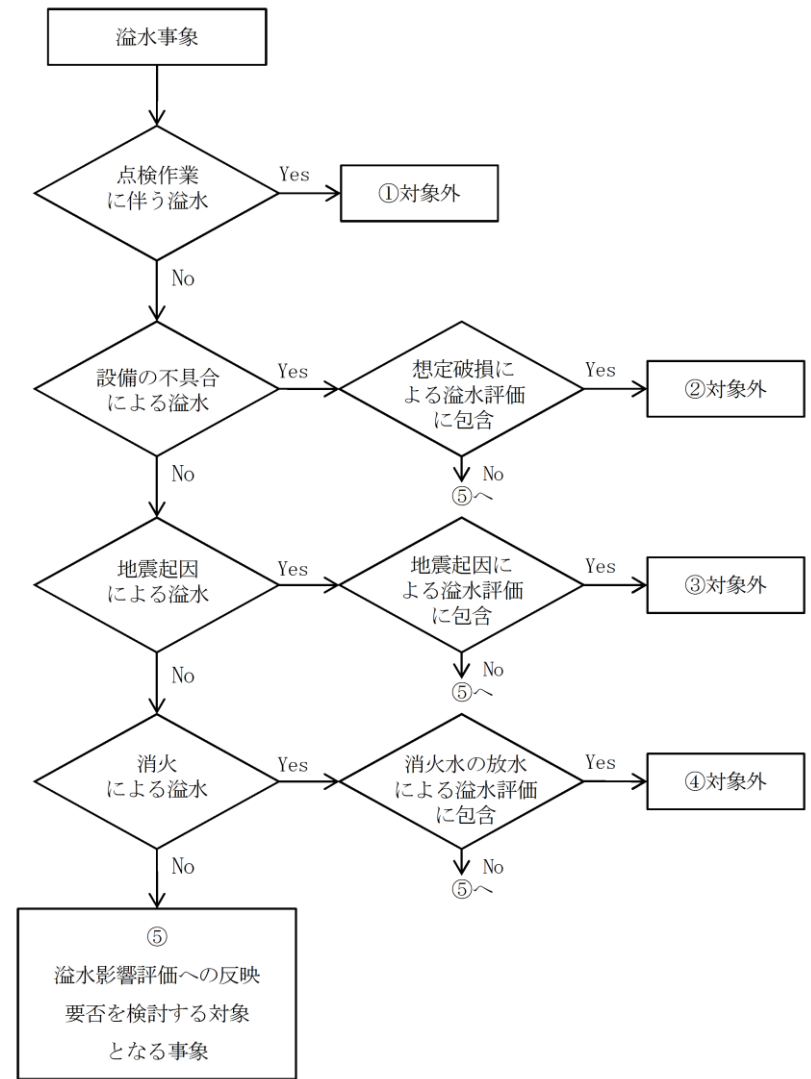


図 3-1 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------|-------------|---|---------------|---|-------------|---|-----------|---|--|----------|----|------------|---|--------------|---|------------|---|----------|---|--|----------|----|------------|---|--------------|--|------------|--|----------|---|--|
| <p>補足第 8.2-1 表 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="160 304 914 1165"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>② 設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③ 地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④ 消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※キーワード検索により抽出されたものの溢水とは異なる事象であった場合は、対象外とした上で補足第 8.2-2 表の分類欄において「-」と記載した</p> | 各ステップの項目 | 理由 | ① 点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | ② 設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | ③ 地震起因による溢水 | 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | ④ 消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | <p>第 1 表 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="949 304 1703 1255"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>②設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table> | 各ステップの項目 | 理由 | ①点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | ②設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | ③地震起因による溢水 | 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | ④消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | <p>表 3-1 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="1739 294 2493 913"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>②設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③地震起因による溢水</td> <td>燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table> | 各ステップの項目 | 理由 | ①点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | ②設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | ③地震起因による溢水 | 燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | ④消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | |
| 各ステップの項目 | 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 地震起因による溢水 | 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各ステップの項目 | 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③地震起因による溢水 | 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各ステップの項目 | 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①点検作業に伴う溢水 | 点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②設備の不具合による溢水 | 腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③地震起因による溢水 | 燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④消火による溢水 | 消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------|--------|-------------------|-------|---|--------|--|------------|--|---|-----|------------------------|--------|-------------------|-------|---|--------|--|------------|--|--|-----|--------------------------|--------|-------------------|-------|---|--------|---|------------|---|--|
| <p align="center"><u>補足第 8.2-2 表 過去の不具合事例に対する内部溢水影響評価での対応状況について</u></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。</td> </tr> </table> | 件名① | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について | 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。 | 内部溢水評価への影響 | 柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。 | <p align="center"><u>第2表 過去の不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について</u></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)</td> </tr> </table> | 件名① | 復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について | 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。 | 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続) | <p align="center"><u>表 3-2 過去の不具合事象に対する内部溢水影響評価への影響について</u></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)</td> </tr> </table> | 件名① | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について | 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する | 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続) | |
| 件名① | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名① | 復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名① | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 1984.10.17 福島第一2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|---|-----------------|------------------|--|---|---|--------------------------------------|--|---|--|----------------------------|---|----------------|------------------|--|---|---|--------------------------------------|--|--|-----|----------------------------|--------|----------------|-------|--|--------|---|------------|--|--|
| <table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.08.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td></tr> </table> | 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | 事象発生日等 | 2003.08.15 浜岡3号 | 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.8.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | 事象発生日等 | 2003.8.15 浜岡3号 | 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.8.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | 事象発生日等 | 2003.8.15 浜岡3号 | 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2003.08.15 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2003.8.15 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名② | タービン建屋地下1階雨水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2003.8.15 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.09 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td></tr> </table> | 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | 事象発生日等 | 2004.10.09 浜岡3号 | 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.9 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | 事象発生日等 | 2004.10.9 浜岡3号 | 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。 | <table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.9 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | 事象発生日等 | 2004.10.9 浜岡3号 | 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。 | |
| 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2004.10.09 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2004.10.9 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名③ | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2004.10.9 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該感知器を取り替えることとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr><td>件名④</td><td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr><td>件名④</td><td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table> | 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | |
| 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--------|-------------------|-------|---|--------|---|------------|---|---|-----|--|--------|-------------------|-------|--|--------|--|------------|--|--|---------------------------------|--------------------------------|----------------|-------------------|---|--|--|--|---|---|-----|---|--------|------------------|-------|---|--------|---|------------|---|-----|---------------------------------|--------|----------------|-------|---|--------|--|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名④</td> <td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。</td> </tr> </table> | 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。</td> </tr> </table> | 件名⑤ | 【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽 | 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。 | 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。</td> </tr> </table> | 件名⑤ | 【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽 | 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。 | 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。 | |
| 件名④ | 【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑤ | 【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑤ | 【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.7.26 柏崎刈羽 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table> | 件名⑤ | 【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑤ | 【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------------------------|--------|-------------------|-------|--|--------|--|------------|--|---|-----|--|--------|----------------|-------|--|--------|--|------------|--|--|-----|--|--------|----------------|-------|--|--------|--|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。</td> </tr> </table> | 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽 | 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。 | 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑧ | タービン建屋内への海水の浸入 | 事象発生日等 | 2009.10.8 浜岡3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑨ | タービン建屋内への海水の浸入 | 事象発生日等 | 2009.10.8 浜岡3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑥ | 【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2007.07.26 柏崎刈羽 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑧ | タービン建屋内への海水の浸入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2009.10.8 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑨ | タービン建屋内への海水の浸入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2009.10.8 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照</td> </tr> </table> | 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | 事象発生日等 | 2011.3.11 女川2号 | 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | 再発防止対策 | ・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | 事象発生日等 | 2011.3.11 女川2号 | 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | 再発防止対策 | (1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑦ | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2008.10.27 柏崎刈羽1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 女川2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 女川2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------|--|-----------------|----------------|--|---|---|--|--|--|---|--|--|------------------------|----------------------------------|--|---|---|--|--|---|-----|---|--------|---------------------------|-------|--|--------|---|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.08 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table> | 件名⑧ | タービン建屋内への海水の浸入 | 事象発生日等 | 2009.10.08 浜岡3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1,2,3,4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | 事象発生日等 | 2011.3.11 福島第二1,2,3,4号 | 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。 | 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | 事象発生日等 | 2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号 | 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。 | 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑧ | タービン建屋内への海水の浸入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2009.10.08 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 福島第二1,2,3,4号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑪ | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について | 事象発生日等 | 2011.3.11 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。 | 再発防止対策 | 浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑪ | 【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」 | 事象発生日等 | 2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。 | 再発防止対策 | 浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | |
| 件名⑪ | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑪ | 【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--------|-----------------|-------|---|--------|--|------------|--|---|-----|--------------------------------|--------|----------------|-------|--|--------|--|------------|--|--|-----|--------------------------------|--------|----------------------------------|-------|--|--------|--|------------|--|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</td> </tr> </table> | 件名⑨ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水 | 事象発生日等 | 2011.03.11 女川2号 | 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | 再発防止対策 | (1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明) | <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | 事象発生日等 | 2011.3.11 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑪ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | 事象発生日等 | 2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑨ | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.03.11 女川2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.11 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑪ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--------|--------------------------|-------|--|--------|---|------------|---|--|-----|---|--------|------------------|-------|---|--------|--|------------|--|---|-----|--|--------|------------------|-------|--|--------|--|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | 事象発生日等 | 2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号 | 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。 | 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明） | <table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑬ | 1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | 事象発生日等 | 2011.5.27 福島第二1号 | 事象の概要 | 停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。 | 再発防止対策 | ・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑭ | 1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | 事象発生日等 | 2011.5.27 福島第二1号 | 事象の概要 | 停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。 | 再発防止対策 | (1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑬ | 1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.5.27 福島第二1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | ・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑭ | 1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.5.27 福島第二1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | (1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--------|-----------------|-------|---|--------|---------------------------------------|------------|--|---|-----|--------------------------------------|--------|----------------|-------|---|--------|---|------------|---|--|-----|---------------------------------------|--------|----------------|-------|---|--------|---|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.18 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</td> </tr> </table> | 件名⑩ | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について | 事象発生日等 | 2011.03.18 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット | 再発防止対策 | 浸水経路となった2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明) | <table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>女川原子力発電所1号機台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 事象発生日等 | 2011.9.21 女川1号 | 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 事象発生日等 | 2011.9.21 女川1号 | 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑩ | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.03.18 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 浸水経路となった2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.9.21 女川1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.9.21 女川1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------|--------|-----------------|-------|--|--------|---|------------|--|---|-----|--|--------|--------------------|-------|---|--------|--|------------|---|---|-----|--|--------|--------------------|-------|---|--------|---|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑫</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.28 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。</td> </tr> </table> | 件名⑫ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | 事象発生日等 | 2011.03.28 東海第二 | 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑬ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | 事象発生日等 | 2013.6.19 柏崎刈羽6,7号 | 事象の概要 | 定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。 | 再発防止対策 | ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑭ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | 事象発生日等 | 2013.6.19 柏崎刈羽6,7号 | 事象の概要 | 定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。 | 再発防止対策 | a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑫ | 【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.03.28 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑬ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2013.6.19 柏崎刈羽6,7号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑭ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2013.6.19 柏崎刈羽6,7号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--------|-------------------|-------|---|--------|--|------------|---|---|-----|----------------------------------|--------|----------------|-------|--|--------|---|------------|---|-----|-------------------|--------|----------------|-------|---|--------|--|------------|--|--|-----|------------------------------------|--------|----------------|-------|--|--------|---|------------|--|-----|-------------------|--------|----------------|-------|---|--------|--|------------|--|--|
| <table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.05.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。 焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p> </td> </tr> </table> | 件名⑬ | 1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | 事象発生日等 | 2011.05.27 福島第二1号 | 事象の概要 | <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。 焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> | 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p> | <table border="1"> <tr> <td>件名⑯</td> <td>C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p> </td> </tr> <tr> <td>件名⑰</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> </td> </tr> </table> | 件名⑯ | C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ | 事象発生日等 | 2014.9.19 女川1号 | 事象の概要 | <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> | 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p> | 件名⑰ | タービン建屋への雨水の浸入について | 事象発生日等 | 2014.10.6 浜岡3号 | 事象の概要 | <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> | 再発防止対策 | <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> | <table border="1"> <tr> <td>件名⑱</td> <td>C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p> </td> </tr> <tr> <td>件名⑲</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> </td> </tr> </table> | 件名⑱ | C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ | 事象発生日等 | 2014.9.19 女川1号 | 事象の概要 | <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> | 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p> | 件名⑲ | タービン建屋への雨水の浸入について | 事象発生日等 | 2014.10.6 浜岡3号 | 事象の概要 | <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> | 再発防止対策 | <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> | |
| 件名⑬ | 1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.05.27 福島第二1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。 焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。 分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。 作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。 焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。 津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。 <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑯ | C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014.9.19 女川1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑰ | タービン建屋への雨水の浸入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014.10.6 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑱ | C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014.9.19 女川1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> 油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。 類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑲ | タービン建屋への雨水の浸入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014.10.6 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--------|-----------------|-------|---|--------|---|------------|---|---|-----|---|--------|---------------|-------|---|--------|--|------------|---|--|-----|---|--------|---------------|-------|---|--------|--|------------|---|--|
| <table border="1"> <tr> <td data-bbox="160 352 299 409">件名⑭</td> <td data-bbox="299 352 914 409">女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="160 409 299 441">事象発生日等</td> <td data-bbox="299 409 914 441">2011.09.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="160 441 299 646">事象の概要</td> <td data-bbox="299 441 914 646">1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="160 646 299 877">再発防止対策</td> <td data-bbox="299 646 914 877">(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="160 877 299 991">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="299 877 914 991">溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table> | 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 事象発生日等 | 2011.09.21 女川1号 | 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="949 352 1089 409">件名⑮</td> <td data-bbox="1089 352 1700 409">廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="949 409 1089 441">事象発生日等</td> <td data-bbox="1089 409 1700 441">2016.6.2 東海第二</td> </tr> <tr> <td data-bbox="949 441 1089 739">事象の概要</td> <td data-bbox="1089 441 1700 739">廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="949 739 1089 949">再発防止対策</td> <td data-bbox="1089 739 1700 949">泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="949 949 1089 1054">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1089 949 1700 1054">系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑮ | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について | 事象発生日等 | 2016.6.2 東海第二 | 事象の概要 | 廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。 | 再発防止対策 | 泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。 | 内部溢水評価への影響 | 系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1739 352 1878 409">件名⑯</td> <td data-bbox="1878 352 2499 409">廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1739 409 1878 441">事象発生日等</td> <td data-bbox="1878 409 2499 441">2016.6.2 東海第二</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1739 441 1878 850">事象の概要</td> <td data-bbox="1878 441 2499 850">廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1739 850 1878 1144">再発防止対策</td> <td data-bbox="1878 850 2499 1144">泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1739 1144 1878 1270">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1878 1144 2499 1270">系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑯ | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について | 事象発生日等 | 2016.6.2 東海第二 | 事象の概要 | 廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。 | 再発防止対策 | 泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。 | 内部溢水評価への影響 | 系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑭ | 女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2011.09.21 女川1号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | (1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑮ | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2016.6.2 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑯ | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2016.6.2 東海第二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--------|---------------------|-------|---|--------|---|------------|--|---|-----|------------------|--------|-----------------|-------|--|--------|--|------------|---|---|-----|------------------|--------|-----------------|-------|--|--------|--|------------|--|--|
| <table border="1"> <tr> <td data-bbox="163 352 302 415">件名⑮</td> <td data-bbox="302 352 911 415">柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 415 302 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="302 415 911 457">2013.06.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 457 302 1245">事象の概要</td> <td data-bbox="302 457 911 1245"> <p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 1245 302 1717">再発防止対策</td> <td data-bbox="302 1245 911 1717"> <p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 1717 302 1858">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="302 1717 911 1858">溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table> | 件名⑮ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | 事象発生日等 | 2013.06.19 柏崎刈羽6,7号 | 事象の概要 | <p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p> | 再発防止対策 | <p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p> | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="952 352 1092 415">件名⑲</td> <td data-bbox="1092 352 1709 415">原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 415 1092 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="1092 415 1709 457">2016.9.28 志賀2号機</td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 457 1092 898">事象の概要</td> <td data-bbox="1092 457 1709 898"> <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 898 1092 1024">再発防止対策</td> <td data-bbox="1092 898 1709 1024"> <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 1024 1092 1234">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1092 1024 1709 1234">溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑲ | 原子炉建屋内への雨水流入について | 事象発生日等 | 2016.9.28 志賀2号機 | 事象の概要 | <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> | 再発防止対策 | <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1745 352 1884 415">件名⑳</td> <td data-bbox="1884 352 2493 415">原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1745 415 1884 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="1884 415 2493 457">2016.9.28 志賀2号機</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1745 457 1884 762">事象の概要</td> <td data-bbox="1884 457 2493 762"> <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1745 762 1884 1077">再発防止対策</td> <td data-bbox="1884 762 2493 1077"> <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1745 1077 1884 1234">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1884 1077 2493 1234">溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> | 件名⑳ | 原子炉建屋内への雨水流入について | 事象発生日等 | 2016.9.28 志賀2号機 | 事象の概要 | <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> | 再発防止対策 | <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | |
| 件名⑮ | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2013.06.19 柏崎刈羽6,7号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑲ | 原子炉建屋内への雨水流入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2016.9.28 志賀2号機 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 件名⑳ | 原子炉建屋内への雨水流入について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2016.9.28 志賀2号機 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m³の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m³、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------|---------------------|-------|---|--------|--|------------|---|--|--|--|
| <table border="1"> <tr> <td data-bbox="157 619 296 646">件名⑥</td> <td data-bbox="296 619 914 646">C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 646 296 674">事象発生日等</td> <td data-bbox="296 646 914 674">2014. 09. 19 女川 1 号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 674 296 793">事象の概要</td> <td data-bbox="296 674 914 793">燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 793 296 968">再発防止対策</td> <td data-bbox="296 793 914 968"> <ul style="list-style-type: none"> ・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 968 296 1255">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="296 968 914 1255"> <p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p> </td> </tr> </table> | 件名⑥ | C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ | 事象発生日等 | 2014. 09. 19 女川 1 号 | 事象の概要 | 燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。 | 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。 | 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p> | | | |
| 件名⑥ | C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014. 09. 19 女川 1 号 | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | 燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。 | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。 ・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。 ・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。 ・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。 | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | <p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p> | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|--------|-------------------|-------|--|--------|--|------------|---|--|--|--|
| <table border="1" data-bbox="160 806 917 1304"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014. 10. 06 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m³であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table> | 件名⑩ | タービン建屋への雨水の浸入について | 事象発生日等 | 2014. 10. 06 浜岡3号 | 事象の概要 | タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。 | 再発防止対策 | 屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。 | 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | |
| 件名⑩ | タービン建屋への雨水の浸入について | | | | | | | | | | | | |
| 事象発生日等 | 2014. 10. 06 浜岡3号 | | | | | | | | | | | | |
| 事象の概要 | タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m ³ であることを確認した。 | | | | | | | | | | | | |
| 再発防止対策 | 屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。 | | | | | | | | | | | | |
| 内部溢水評価への影響 | 溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照) | | | | | | | | | | | | |

補足第8.2-3 表 過去の不具合事例

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|--------|------------------------------|-----------|--------|
| 505 | 1977-東京-T007 | 福島第一1号 | 原子炉再循環ポンプの異常について | 1978/1/26 | ② |
| 599 | 1979-東京-T002 | 福島第一2号 | 定期検査作業終了後の調整運転中のトラブルについて | 1979/7/13 | ① ② |
| 569 | 1979-原電-T001 | 東海第二 | 発電支障事故について | 1979/7/22 | ② |
| 591 | 1979-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/2/28 | ② |
| 592 | 1979-中部-M005 | 浜岡2号 | 循環水ポンプ軸受潤滑水弁取替 | 1980/2/29 | ② |
| 593 | 1979-中部-M006 | 浜岡1号 | ドライウェル床ドレンサンクン水位の微上昇 | 1980/3/6 | ② |
| 597 | 1979-中部-M010 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/3/21 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

・記載方針の相違
【東海第二】
島根2号炉は抽出した全事象を記載

表3-3 過去の不具合事例

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|--------|------------------------------|-----------|--------|
| 505 | 1977-東京-T007 | 福島第一1号 | 原子炉再循環ポンプの異常について | 1978/1/26 | ② |
| 599 | 1979-東京-T002 | 福島第一2号 | 定期検査作業終了後の調整運転中のトラブルについて | 1979/7/13 | ① ② |
| 569 | 1979-原電-T001 | 東海第二 | 発電支障事故について | 1979/7/22 | ② |
| 591 | 1979-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/2/28 | ② |
| 592 | 1979-中部-M005 | 浜岡2号 | 循環水ポンプ軸受潤滑水弁取替 | 1980/2/29 | ② |
| 593 | 1979-中部-M006 | 浜岡1号 | ドライウェル床ドレンサンクン水位の微上昇 | 1980/3/6 | ② |
| 597 | 1979-中部-M010 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/3/21 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 644 | 1980-中部-M002 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/4/21 | ② |
| 647 | 1980-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/5/26 | ② |
| 663 | 1980-東京-M005 | 福島第一-4号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/8/23 | ① |
| 654 | 1980-中部-T012 | 浜岡1号 | 高圧給水加熱器空気抜き管の損傷について | 1980/9/29 | ② |
| 655 | 1980-中部-M013 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/11/13 | ② |
| 658 | 1980-中部-M016 | 浜岡2号 | 主蒸気隔離弁前第1ドレン弁グラウンド部の点検補修について | 1981/2/1 | ② |
| 791 | 1981-東京-T002 | 福島第一-1号 | 隔離時復水器系配管の損傷について | 1981/4/10 | ② |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 644 | 1980-中部-M002 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替 | 1980/4/21 | ② |
| 647 | 1980-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/5/26 | ② |
| 663 | 1980-東京-M005 | 福島第一-4号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/8/23 | ① |
| 654 | 1980-中部-T012 | 浜岡1号 | 高圧給水加熱器空気抜き管の損傷について | 1980/9/29 | ② |
| 655 | 1980-中部-M013 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替 | 1980/11/13 | ② |
| 658 | 1980-中部-M016 | 浜岡2号 | 主蒸気隔離弁前第1ドレン弁グラウンド部の点検補修について | 1981/2/1 | ② |
| 791 | 1981-東京-T002 | 福島第一-1号 | 隔離時復水器系配管の損傷について | 1981/4/10 | ② |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|---------------------------------|-----------|--------|
| 718 | 1981-原電-M009 | 東海第二 | 抽気系ドレントラップの漏洩 | 1981/6/16 | ② |
| 773 | 1981-中国-T001 | 島根1号 | 原子炉冷却材浄化系A再生熱交換器からの漏洩につ いて | 1981/6/16 | ② |
| 798 | 1981-東京-T008 | 福島第一-6号 | 高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て | 1981/7/6 | ② |
| 780 | 1981-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの 取替 | 1981/7/8 | ② |
| 800 | 1981-東京-T011 | 福島第一-4号 | 480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て | 1981/7/10 | ② |
| 802 | 1981-東京-M013 | 福島第一-6号 | 廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て | 1981/7/22 | ② |
| 726 | 1981-原電-T017 | 東海第二 | 給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て | 1981/8/10 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|---------------------------------|-----------|--------|
| 718 | 1981-原電-M009 | 東海第二 | 抽気系ドレントラップの漏洩 | 1981/6/16 | ② |
| 773 | 1981-中国-T001 | 島根1号 | 原子炉冷却材浄化系A再生熱交換器からの漏洩に ついて | 1981/6/16 | ② |
| 798 | 1981-東京-T008 | 福島第一-6号 | 高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て | 1981/7/6 | ② |
| 780 | 1981-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシール の取替 | 1981/7/8 | ② |
| 800 | 1981-東京-T011 | 福島第一-4号 | 480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て | 1981/7/10 | ② |
| 802 | 1981-東京-M013 | 福島第一-6号 | 廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て | 1981/7/22 | ② |
| 726 | 1981-原電-T017 | 東海第二 | 給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て | 1981/8/10 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|---------------------------------|-----------|--------|
| 718 | 1981-原電-M009 | 東海第二 | 抽気系ドレントラップの漏洩 | 1981/6/16 | ② |
| 773 | 1981-中国-T001 | 島根1号 | 原子炉冷却材浄化系A再生熱交換器からの漏洩に ついて | 1981/6/16 | ② |
| 798 | 1981-東京-T008 | 福島第一-6号 | 高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て | 1981/7/6 | ② |
| 780 | 1981-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシール の取替 | 1981/7/8 | ② |
| 800 | 1981-東京-T011 | 福島第一-4号 | 480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て | 1981/7/10 | ② |
| 802 | 1981-東京-M013 | 福島第一-6号 | 廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て | 1981/7/22 | ② |
| 726 | 1981-原電-T017 | 東海第二 | 給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て | 1981/8/10 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 809 | 1981-東京-T020 | 福島第一-6号 | 廃棄物処理設備の配管損傷について | 1981/8/24 | ② |
| 808 | 1981-東京-M019 | 福島第一-2号 | 補助ボイラ軽油移送配管の漏洩 | 1981/8/24 | ② |
| 733 | 1981-原電-M025 | 東海第二 | 原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて | 1981/9/12 | ② |
| 814 | 1981-東京-M025 | 福島第一-2号 | 残留熱除去海水系配管の漏洩について | 1981/9/14 | ② |
| 815 | 1981-東京-M026 | 福島第一-5号 | 電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について | 1981/9/17 | ② |
| 818 | 1981-東京-T029 | 福島第一-5号 | 給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について | 1981/9/28 | ② |
| 830 | 1981-東京-M041 | 福島第一-5号 | 原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について | 1981/11/24 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 809 | 1981-東京-T020 | 福島第一-6号 | 廃棄物処理設備の配管損傷について | 1981/8/24 | ② |
| 808 | 1981-東京-M019 | 福島第一-2号 | 補助ボイラ軽油移送配管の漏洩 | 1981/8/24 | ② |
| 733 | 1981-原電-M025 | 東海第二 | 原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて | 1981/9/12 | ② |
| 814 | 1981-東京-M025 | 福島第一-2号 | 残留熱除去海水系配管の漏洩について | 1981/9/14 | ② |
| 815 | 1981-東京-M026 | 福島第一-5号 | 電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について | 1981/9/17 | ② |
| 818 | 1981-東京-T029 | 福島第一-5号 | 給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について | 1981/9/28 | ② |
| 830 | 1981-東京-M041 | 福島第一-5号 | 原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について | 1981/11/24 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 809 | 1981-東京-T020 | 福島第一-6号 | 廃棄物処理設備の配管損傷について | 1981/8/24 | ② |
| 808 | 1981-東京-M019 | 福島第一-2号 | 補助ボイラ軽油移送配管の漏洩 | 1981/8/24 | ② |
| 733 | 1981-原電-M025 | 東海第二 | 原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて | 1981/9/12 | ② |
| 814 | 1981-東京-M025 | 福島第一-2号 | 残留熱除去海水系配管の漏洩について | 1981/9/14 | ② |
| 815 | 1981-東京-M026 | 福島第一-5号 | 電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について | 1981/9/17 | ② |
| 818 | 1981-東京-T029 | 福島第一-5号 | 給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について | 1981/9/28 | ② |
| 830 | 1981-東京-M041 | 福島第一-5号 | 原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について | 1981/11/24 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | 備考 | | |
|----------------------------------|--------------|--------|---|------------|----------------------|--------------|--------------|--------|---|--------------|----|--------------|--------------|--------|---|------------|----|
| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 745 | 1981-原電-T036 | 東海第二 | 原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について | 1981/12/1 | ① | 745 | 1981-原電-T036 | 東海第二 | 原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について | 1981/12/1 | ① | 745 | 1981-原電-T036 | 東海第二 | 原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について | 1981/12/1 | ① |
| 783 | 1981-中部-M008 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1981/12/3 | ② | 783 | 1981-中部-M008 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1981/12/3 | ② | 783 | 1981-中部-M008 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1981/12/3 | ② |
| 784 | 1981-中部-T009 | 浜岡1号 | 復水器水室(A-2)細管リークについて | 1981/12/24 | ② | 784 | 1981-中部-T009 | 浜岡1号 | 復水器水室(A-2)細管リークについて | 1981/12/24 | ② | 784 | 1981-中部-T009 | 浜岡1号 | 復水器水室(A-2)細管リークについて | 1981/12/24 | ② |
| 760 | 1981-原電-M051 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて | 1982/1/8 | ② | 760 | 1981-原電-M051 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて | 1982/1/8 | ② | 760 | 1981-原電-M051 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて | 1982/1/8 | ② |
| 786 | 1981-中部-M011 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1982/1/11 | ② | 786 | 1981-中部-M011 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1982/1/11 | ② | 786 | 1981-中部-M011 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1982/1/11 | ② |
| 836 | 1981-東京-M047 | 福島第一1号 | 非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理 | 1982/1/13 | ② | 836 | 1981-東京-M047 | 福島第一1号 | 非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理 | 1982/1/13 | ② | 836 | 1981-東京-M047 | 福島第一1号 | 非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理 | 1982/1/13 | ② |
| 764 | 1981-原電-M055 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁 (E51-F026)のボンネットパッキン交換による待機 除外について | 1982/2/9 | ② | 764 | 1981-原電-M055 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁 (E51-F026)のボンネットパッキン交換による待機 除外について | 1982/2/9 | ② | 764 | 1981-原電-M055 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁(E51-F 026)のボンネットパッキン交換による待機除外に ついて | 1982/2/9 | ② |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 | | | | |
|-------------------------------------|--------------|--------|--|-----------|--------|--|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--------------|--|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 788 | 1981-中部-M013 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの 取替え | 1982/2/19 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 840 | 1981-東京-M051 | 福島第一1号 | 非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理 | 1982/2/23 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 842 | 1981-東京-T053 | 福島第一6号 | 高圧復水ポンプA号機メカニカルシール水配管損傷 について | 1982/3/22 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 891 | 1982-原電-M008 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ドレンポンプ排水ラインドレ ントラップポンプネットフラフ部分の漏えい について | 1982/5/8 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 961 | 1982-東京-M011 | 福島第一1号 | CCSWポンプ (格納容器冷却系海水ポンプ) | 1982/6/3 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 962 | 1982-東京-M012 | 福島第一3号 | 廃液濃縮器の孔食による損傷について | 1982/6/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 899 | 1982-原電-M016 | 東海第二 | 原子炉建屋内の水漏れについて | 1982/6/30 | ① ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | | | | | | | |
|-------------------------------------|--------------|---------|------------------------------|------------|--------|--|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | | |
| 966 | 1982-東京-M016 | 福島第一 1号 | 非常用ユニット D/G 冷却器及び計装品点検 | 1982/7/2 | ② | | |
| 981 | 1982-東京-M031 | 福島第一 2号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)軸受冷却水の漏えいについて | 1982/9/28 | ② | | |
| 983 | 1982-東京-T033 | 福島第一 6号 | 原子炉再循環系圧力検出用予備座小口径配管の漏えいについて | 1982/10/25 | ② | | |
| 946 | 1982-中部-T006 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1)室細管の点検・補修について | 1982/11/3 | ② | | |
| 948 | 1982-中部-M008 | 浜岡 2号 | 復水器(A)室細管の点検・補修について | 1982/12/24 | ② | | |
| 949 | 1982-中部-T009 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1)室細管の点検・補修について | 1983/1/5 | ② | | |
| 1078 | 1983-中部-T001 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1・2)室細管の点検・補修について | 1983/4/10 | ② | | |

| 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | | | | | | | |
|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |

| 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | |
|--------------|--------------|---------|------------------------------|------------|--------|--|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | | |
| 966 | 1982-東京-M016 | 福島第一 1号 | 非常用ユニット D/G 冷却器及び計装品点検 | 1982/7/2 | ② | | |
| 981 | 1982-東京-M031 | 福島第一 2号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)軸受冷却水の漏えいについて | 1982/9/28 | ② | | |
| 983 | 1982-東京-T033 | 福島第一 6号 | 原子炉再循環系圧力検出用予備座小口径配管の漏えいについて | 1982/10/25 | ② | | |
| 946 | 1982-中部-T006 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1)室細管の点検・補修について | 1982/11/3 | ② | | |
| 948 | 1982-中部-M008 | 浜岡 2号 | 復水器(A)室細管の点検・補修について | 1982/12/24 | ② | | |
| 949 | 1982-中部-T009 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1)室細管の点検・補修について | 1983/1/5 | ② | | |
| 1078 | 1983-中部-T001 | 浜岡 1号 | 復水器(A-1・2)室細管の点検・補修について | 1983/4/10 | ② | | |

| 備考 | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | | | | | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | 備考 | | |
|-------------------------------------|--------------|--------|--------------------------------|------------|-------------------------|-------------|--------------|--------|--------------------------------|--------------|----|-------------|--------------|--------|--------------------------------|------------|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 1092 | 1983-東京-T008 | 福島第一1号 | タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について | 1983/8/13 | ② | 1092 | 1983-東京-T008 | 福島第一1号 | タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について | 1983/8/13 | ② | 1092 | 1983-東京-T008 | 福島第一1号 | タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について | 1983/8/13 | ② |
| 1053 | 1983-原電-M014 | 東海第二 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について | 1983/9/5 | ② | 1053 | 1983-原電-M014 | 東海第二 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について | 1983/9/5 | ② | 1053 | 1983-原電-M014 | 東海第二 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について | 1983/9/5 | ② |
| 1099 | 1983-東京-M015 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて | 1983/9/27 | ② | 1099 | 1983-東京-M015 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて | 1983/9/27 | ② | 1099 | 1983-東京-M015 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて | 1983/9/27 | ② |
| 1100 | 1983-東京-T016 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について | 1983/10/3 | ② | 1100 | 1983-東京-T016 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について | 1983/10/3 | ② | 1100 | 1983-東京-T016 | 福島第一6号 | タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について | 1983/10/3 | ② |
| 1058 | 1983-原電-T020 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について | 1983/10/23 | ① | 1058 | 1983-原電-T020 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について | 1983/10/23 | ① | 1058 | 1983-原電-T020 | 東海第二 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について | 1983/10/23 | ① |
| 1103 | 1983-東京-M019 | 福島第一6号 | 非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理 | 1983/11/18 | ② | 1103 | 1983-東京-M019 | 福島第一6号 | 非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理 | 1983/11/18 | ② | 1103 | 1983-東京-M019 | 福島第一6号 | 非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理 | 1983/11/18 | ② |
| 1063 | 1983-原電-T025 | 東海第二 | タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について | 1983/12/26 | ① | 1063 | 1983-原電-T025 | 東海第二 | タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について | 1983/12/26 | ① | 1063 | 1983-原電-T025 | 東海第二 | タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について | 1983/12/26 | ① |

| ニューニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1112 | 1983-東京-M028 | 福島第一-4号 | タービン建屋2階空調機制御盤室消火水漏洩について | 1984/2/5 | ② |
| 1197 | 1984-東京-M003 | 福島第一-1号 | 格納容器スプレ-海水ポンプ(B)メカニカルシール 取替 | 1984/4/25 | ② |
| 1202 | 1984-東京-M008 | 福島第一-3号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシール漏洩につ いて | 1984/8/5 | ② |
| 1207 | 1984-東京-T013 | 福島第一-2号 | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合につ いて | 1984/10/17 | ⑤ |
| 1223 | 1984-東北-M003 | 女川1号 | タービン建屋配管トレンチ内溢水について | 1984/11/27 | ① |
| 1214 | 1984-東京-M021 | 福島第一-2号 | 原子炉給水流量検出配管継手部のにじみについて | 1984/12/17 | ② |
| 1215 | 1984-東京-M022 | 福島第二-1号 | タービン建屋低電導度サンプ(B)ピット内オーバー フローについて | 1984/12/18 | ① ② |

| ニューニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1112 | 1983-東京-M028 | 福島第一-4号 | タービン建屋2階空調機制御盤室消火水漏洩につ いて | 1984/2/5 | ② |
| 1197 | 1984-東京-M003 | 福島第一-1号 | 格納容器スプレ-海水ポンプ(B)メカニカルシール 取替 | 1984/4/25 | ② |
| 1202 | 1984-東京-M008 | 福島第一-3号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシール漏洩につ いて | 1984/8/5 | ② |
| 1207 | 1984-東京-T013 | 福島第一-2号 | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合につ いて | 1984/10/17 | ⑤ |
| 1223 | 1984-東北-M003 | 女川1号 | タービン建屋配管トレンチ内溢水について | 1984/11/27 | ① |
| 1214 | 1984-東京-M021 | 福島第一-2号 | 原子炉給水流量検出配管継手部のにじみについて | 1984/12/17 | ② |
| 1215 | 1984-東京-M022 | 福島第二-1号 | タービン建屋低電導度サンプ(B)ピット内オーバー フローについて | 1984/12/18 | ① ② |

| ニューニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1112 | 1983-東京-M028 | 福島第一-4号 | タービン建屋2階空調機制御盤室消火水漏洩につ いて | 1984/2/5 | ② |
| 1197 | 1984-東京-M003 | 福島第一-1号 | 格納容器スプレ-海水ポンプ(B)メカニカルシール 取替 | 1984/4/25 | ② |
| 1202 | 1984-東京-M008 | 福島第一-3号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシール漏洩につ いて | 1984/8/5 | ② |
| 1207 | 1984-東京-T013 | 福島第一-2号 | 復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合につ いて | 1984/10/17 | ⑤ |
| 1223 | 1984-東北-M003 | 女川1号 | タービン建屋配管トレンチ内溢水について | 1984/11/27 | ① |
| 1214 | 1984-東京-M021 | 福島第一-2号 | 原子炉給水流量検出配管継手部のにじみについて | 1984/12/17 | ② |
| 1215 | 1984-東京-M022 | 福島第二-1号 | タービン建屋低電導度サンプ(B)ピット内オーバー フローについて | 1984/12/18 | ① ② |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|----|-------------|-------|----------------------|----|-------|----|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|--------------|----|----|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 備考 | | | | | | |
| 1216 | 1984-東京-M023 | 福島第二3号 | 3/4号機廃棄物処理設備の漏洩について | 1984/12/20 | ② | | | | | | | 1216 | 1984-東京-M023 | 福島第二3号 | 3/4号機廃棄物処理設備の漏洩について | 1984/12/20 | ② | | | | | | | |
| 1218 | 1984-東京-T025 | 福島第一2号 | 循環水系逆洗弁(A1)損傷による出力制限について | 1985/1/21 | ② | | | | | | | 1218 | 1984-東京-T025 | 福島第一2号 | 循環水系逆洗弁(A1)損傷による出力制限について | 1985/1/21 | ② | | | | | | | |
| 1220 | 1984-東京-T027 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器水室トラスリ ング溶接部の損傷について | 1985/2/7 | ② | | | | | | | 1220 | 1984-東京-T027 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器水室トラスリ ング溶接部の損傷について | 1985/2/7 | ② | | | | | | | |
| 1280 | 1985-東京-M002 | 福島第一2号 | 残留熱除去系弁点検 | 1985/5/1 | ② | | | | | | | 1280 | 1985-東京-M002 | 福島第一2号 | 残留熱除去系弁点検 | 1985/5/1 | ② | | | | | | | |
| 1281 | 1985-東京-T003 | 柏崎刈羽1号 | 循環水配管からの海水漏洩について | 1985/5/31 | ② | | | | | | | 1281 | 1985-東京-T003 | 柏崎刈羽1号 | 循環水配管からの海水漏洩について | 1985/5/31 | ② | | | | | | | |
| 1283 | 1985-東京-M005 | 福島第一2号 | 残留熱除去系点検 | 1985/6/20 | ② | | | | | | | 1283 | 1985-東京-M005 | 福島第一2号 | 残留熱除去系点検 | 1985/6/20 | ② | | | | | | | |
| 1289 | 1985-東京-T011 | 福島第一1号 | 起動用母線電源盤の焼損について | 1985/8/31 | ④ | | | | | | | 1289 | 1985-東京-T011 | 福島第一1号 | 起動用母線電源盤の焼損について | 1985/8/31 | ④ | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|--|------------|--------|
| 1295 | 1985-東京-T017 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内ドレン量の増加に伴う原子炉手 動停止について | 1985/9/20 | ② |
| 1299 | 1985-東京-T022 | 福島第一-4号 | 原子炉格納容器機器ドレン量増加に伴う原子炉手 動停止について | 1985/11/29 | ② |
| 1301 | 1985-東京-M024 | 福島第一-5号 | 空気抽出器駆動用蒸気ドレン配管ドレントラップ ボンネットフランジ部漏洩 | 1985/12/24 | ② |
| 1271 | 1985-原電-M024 | 東海第二 | 非常用ディーゼル発電機海水系出口逆止弁の不具 合について | 1986/3/23 | ① |
| 1370 | 1986-中部-T001 | 浜岡2号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1986/6/20 | ② |
| 1371 | 1986-中部-T002 | 浜岡2号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1986/7/25 | ② |
| 1384 | 1986-東京-T009 | 福島第一-2号 | 原子炉格納容器床ドレン量の増加に伴う原子炉手 動停止について | 1986/11/3 | ② |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|--|------------|--------|
| 1295 | 1985-東京-T017 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内ドレン量の増加に伴う原子炉手 動停止について | 1985/9/20 | ② |
| 1299 | 1985-東京-T022 | 福島第一-4号 | 原子炉格納容器機器ドレン量増加に伴う原子炉手 動停止について | 1985/11/29 | ② |
| 1301 | 1985-東京-M024 | 福島第一-5号 | 空気抽出器駆動用蒸気ドレン配管ドレントラップ ボンネットフランジ部漏洩 | 1985/12/24 | ② |
| 1271 | 1985-原電-M024 | 東海第二 | 非常用ディーゼル発電機海水系出口逆止弁の不具 合について | 1986/3/23 | ① |
| 1370 | 1986-中部-T001 | 浜岡2号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1986/6/20 | ② |
| 1371 | 1986-中部-T002 | 浜岡2号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1986/7/25 | ② |
| 1384 | 1986-東京-T009 | 福島第一-2号 | 原子炉格納容器床ドレン量の増加に伴う原子炉手 動停止について | 1986/11/3 | ② |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | 備考 | | | | | |
|----------------------------------|--------------|--------|---------------------------------------|----------------------|----|-------------|--------------|--------------|---------------------------------------|------------|----|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 1445 | 1987-中部-M001 | 浜岡1号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1987/4/12 | ② | 1445 | 1987-中部-M001 | 浜岡1号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1987/4/12 | ② | 1445 | 1987-中部-M001 | 浜岡1号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1987/4/12 | ② |
| 1458 | 1987-東京-M009 | 柏崎刈羽1号 | HPCS デイゼル機関の保修について | 1987/6/22 | ② | 1458 | 1987-東京-M009 | 柏崎刈羽1号 | HPCS デイゼル機関の保修について | 1987/6/22 | ② | 1458 | 1987-東京-M009 | 柏崎刈羽1号 | HPCS デイゼル機関の保修について | 1987/6/22 | ② |
| 1462 | 1987-東京-M013 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について | 1987/7/12 | ② | 1462 | 1987-東京-M013 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について | 1987/7/12 | ② | 1462 | 1987-東京-M013 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について | 1987/7/12 | ② |
| 1464 | 1987-東京-T015 | 柏崎刈羽1号 | 非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について | 1987/8/17 | ② | 1464 | 1987-東京-T015 | 柏崎刈羽1号 | 非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について | 1987/8/17 | ② | 1464 | 1987-東京-T015 | 柏崎刈羽1号 | 非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について | 1987/8/17 | ② |
| 1467 | 1987-東京-M018 | 福島第一5号 | 廃液濃縮器(A)の不具合について | 1987/11/13 | ② | 1467 | 1987-東京-M018 | 福島第一5号 | 廃液濃縮器(A)の不具合について | 1987/11/13 | ② | 1467 | 1987-東京-M018 | 福島第一5号 | 廃液濃縮器(A)の不具合について | 1987/11/13 | ② |
| 1479 | 1987-東京-T030 | 福島第二1号 | 原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について | 1988/3/18 | ② | 1479 | 1987-東京-T030 | 福島第二1号 | 原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について | 1988/3/18 | ② | 1479 | 1987-東京-T030 | 福島第二1号 | 原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について | 1988/3/18 | ② |
| 1480 | 1987-東京-M031 | 福島第一6号 | 排ガス予熱器の不具合について | 1988/3/24 | ② | 1480 | 1987-東京-M031 | 福島第一6号 | 排ガス予熱器の不具合について | 1988/3/24 | ② | 1480 | 1987-東京-M031 | 福島第一6号 | 排ガス予熱器の不具合について | 1988/3/24 | ② |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | 備考 | | |
|----------------------------------|--------------|--------|---|------------|----------------------|-------------|--------------|--------|---|--------------|--------|-------------|--------------|--------|---|------------|--------|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 1537 | 1988-中部-T003 | 浜岡2号 | 高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について | 1988/5/22 | ② | 1537 | 1988-中部-T003 | 浜岡2号 | 高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について | 1988/5/22 | ② | 1537 | 1988-中部-T003 | 浜岡2号 | 高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について | 1988/5/22 | ② |
| 1552 | 1988-東京-T006 | 福島第一3号 | 原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ溶 接部からの漏洩による原子炉手動停止 | 1988/7/27 | ② | 1552 | 1988-東京-T006 | 福島第一3号 | 原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ 溶接部からの漏洩による原子炉手動停止 | 1988/7/27 | ② | 1552 | 1988-東京-T006 | 福島第一3号 | 原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ 溶接部からの漏洩による原子炉手動停止 | 1988/7/27 | ② |
| 1563 | 1988-東京-M017 | 福島第一4号 | 廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて | 1989/1/24 | ① ② | 1563 | 1988-東京-M017 | 福島第一4号 | 廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて | 1989/1/24 | ① ② | 1563 | 1988-東京-M017 | 福島第一4号 | 廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて | 1989/1/24 | ① ② |
| 1564 | 1988-東京-T018 | 福島第一3号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水ストレ ーナフランジ部からの漏えいについて | 1989/2/13 | ② | 1564 | 1988-東京-T018 | 福島第一3号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水スト レーナフランジ部からの漏えいについて | 1989/2/13 | ② | 1564 | 1988-東京-T018 | 福島第一3号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水スト レーナフランジ部からの漏えいについて | 1989/2/13 | ② |
| 1609 | 1989-東京-T002 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶接 部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1989/6/3 | ② | 1609 | 1989-東京-T002 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶接 部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1989/6/3 | ② | 1609 | 1989-東京-T002 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶 接部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1989/6/3 | ② |
| 1604 | 1989-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの取 替 | 1989/11/20 | ② | 1604 | 1989-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの取 替 | 1989/11/20 | ② | 1604 | 1989-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの 取替 | 1989/11/20 | ② |
| 1605 | 1989-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの取 替 | 1989/12/25 | ② | 1605 | 1989-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの取 替 | 1989/12/25 | ② | 1605 | 1989-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの 取替 | 1989/12/25 | ② |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|----------------------------------|--------------|--------|-------------------------------------|------------|--------|--|--|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--------------|--|--|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|--|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1622 | 1989-東京-T015 | 福島第二1号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1989/12/27 | ① ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1607 | 1989-中部-M007 | 浜岡2号 | 復水器水室細管の点検・補修について | 1990/2/23 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1710 | 1991-東京-M001 | 福島第一1号 | タービン建屋内海水漏えいについて | 1991/6/24 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1714 | 1991-東京-T005 | 福島第一1号 | 補機冷却水系海水配管からの海水漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1991/10/30 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1719 | 1991-東京-M011 | 福島第一3号 | タービン制御用EHC油冷却器(A)の漏えいについて | 1992/1/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1732 | 1992-原電-M002 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプA号機駆動用タービン軸振動値の増加について | 1992/4/22 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 1992-中国-T003 | 島根1号 | 原子炉格納容器内機器ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について | 1993/2/4 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1747 | 1993-原電-M005 | 東海第二 | 補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて | 1993/9/15 | ② |
| 1788 | 1994-北陸-M002 | 志賀1号 | 液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩 | 1995/1/10 | ② |
| 1773 | 1994-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1995/3/16 | ② |
| 72 | 1994-東京-T014 | 福島第一-3号 | 循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について | 1995/3/24 | ② |
| 97 | 1995-東京-T003 | 柏崎刈羽5号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1995/7/13 | ② |
| 1810 | 1995-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて | 1995/10/25 | ① |
| 101 | 1995-東京-T008 | 福島第一-6号 | 原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について | 1995/11/25 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1747 | 1993-原電-M005 | 東海第二 | 補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて | 1993/9/15 | ② |
| 1788 | 1994-北陸-M002 | 志賀1号 | 液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩 | 1995/1/10 | ② |
| 1773 | 1994-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1995/3/16 | ② |
| 72 | 1994-東京-T014 | 福島第一-3号 | 循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について | 1995/3/24 | ② |
| 97 | 1995-東京-T003 | 柏崎刈羽5号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1995/7/13 | ② |
| 1810 | 1995-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて | 1995/10/25 | ① |
| 101 | 1995-東京-T008 | 福島第一-6号 | 原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について | 1995/11/25 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|-------------------------------------|------------|--------|
| 1747 | 1993-原電-M005 | 東海第二 | 補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて | 1993/9/15 | ② |
| 1788 | 1994-北陸-M002 | 志賀1号 | 液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩 | 1995/1/10 | ② |
| 1773 | 1994-中部-M005 | 浜岡1号 | 原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1995/3/16 | ② |
| 72 | 1994-東京-T014 | 福島第一-3号 | 循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について | 1995/3/24 | ② |
| 97 | 1995-東京-T003 | 柏崎刈羽5号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1995/7/13 | ② |
| 1810 | 1995-中部-M004 | 浜岡1号 | 原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて | 1995/10/25 | ① |
| 101 | 1995-東京-T008 | 福島第一-6号 | 原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について | 1995/11/25 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 1802 | 1995-原電-M010 | 東海第二 | 高圧復水ポンプ(B)のバランス配管からの微少漏えいについて | 1996/2/4 | ② |
| 1833 | 1996-中部-M002 | 浜岡1号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(A-1)の点検について | 1996/4/25 | ② |
| 1834 | 1996-中部-M003 | 浜岡2号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(B-2)の点検について | 1996/4/28 | ② |
| 1839 | 1996-東京-M003 | 福島第一4号 | 補助ボイラ室での火災について | 1996/6/13 | ② |
| 113 | 1996-原電-T004 | 東海第二 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1996/8/10 | ① |
| 1841 | 1996-東京-M008 | 福島第一4号 | 高圧復水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1996/9/4 | ② |
| 145 | 1997-東京-T005 | 福島第一2号 | 調整運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁ポンプネットシート部からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/6/8 | ① ② |

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 1802 | 1995-原電-M010 | 東海第二 | 高圧復水ポンプ(B)のバランス配管からの微少漏えいについて | 1996/2/4 | ② |
| 1833 | 1996-中部-M002 | 浜岡1号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(A-1)の点検について | 1996/4/25 | ② |
| 1834 | 1996-中部-M003 | 浜岡2号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(B-2)の点検について | 1996/4/28 | ② |
| 1839 | 1996-東京-M003 | 福島第一4号 | 補助ボイラ室での火災について | 1996/6/13 | ② |
| 113 | 1996-原電-T004 | 東海第二 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1996/8/10 | ① |
| 1841 | 1996-東京-M008 | 福島第一4号 | 高圧復水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1996/9/4 | ② |
| 145 | 1997-東京-T005 | 福島第一2号 | 調整運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁ポンプネットシート部からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/6/8 | ① ② |

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 1802 | 1995-原電-M010 | 東海第二 | 高圧復水ポンプ(B)のバランス配管からの微少漏えいについて | 1996/2/4 | ② |
| 1833 | 1996-中部-M002 | 浜岡1号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(A-1)の点検について | 1996/4/25 | ② |
| 1834 | 1996-中部-M003 | 浜岡2号 | 原子炉機器冷却水ポンプ(B-2)の点検について | 1996/4/28 | ② |
| 1839 | 1996-東京-M003 | 福島第一4号 | 補助ボイラ室での火災について | 1996/6/13 | ② |
| 113 | 1996-原電-T004 | 東海第二 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 1996/8/10 | ① |
| 1841 | 1996-東京-M008 | 福島第一4号 | 高圧復水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて | 1996/9/4 | ② |
| 145 | 1997-東京-T005 | 福島第一2号 | 調整運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁ポンプネットシート部からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/6/8 | ① ② |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | 備考 | | | | | |
|----------------------------------|--------------|--------|---|----------------------|----|-------------|--------------|--------------|---|------------|----|-------------|--------------|--------|---|------------|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 1883 | 1997-東京-M007 | 柏崎刈羽7号 | グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて | 1997/7/18 | ② | 1883 | 1997-東京-M007 | 柏崎刈羽7号 | グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて | 1997/7/18 | ② | 1883 | 1997-東京-M007 | 柏崎刈羽7号 | グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて | 1997/7/18 | ② |
| 146 | 1997-東京-T009 | 柏崎刈羽1号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/8/19 | ② | 146 | 1997-東京-T009 | 柏崎刈羽1号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/8/19 | ② | 146 | 1997-東京-T009 | 柏崎刈羽1号 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について | 1997/8/19 | ② |
| 1886 | 1997-東京-M012 | 福島第一2号 | 残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンライフランジパッキンの交換 | 1997/10/24 | ② | 1886 | 1997-東京-M012 | 福島第一2号 | 残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンライフランジパッキンの交換 | 1997/10/24 | ② | 1886 | 1997-東京-M012 | 福島第一2号 | 残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンライフランジパッキンの交換 | 1997/10/24 | ② |
| 1894 | 1997-東京-M026 | 福島第二1号 | 原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて | 1998/3/27 | ① | 1894 | 1997-東京-M026 | 福島第二1号 | 原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて | 1998/3/27 | ① | 1894 | 1997-東京-M026 | 福島第二1号 | 原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて | 1998/3/27 | ① |
| 1895 | 1997-東京-M027 | 福島第二4号 | 残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について | 1998/3/29 | ② | 1895 | 1997-東京-M027 | 福島第二4号 | 残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について | 1998/3/29 | ② | 1895 | 1997-東京-M027 | 福島第二4号 | 残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について | 1998/3/29 | ② |
| 8876 | 1998-中国-M001 | 島根2号 | 2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水 | 1998/5/11 | ② | 8876 | 1998-中国-M001 | 島根2号 | 2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水 | 1998/5/11 | ② | 8876 | 1998-中国-M001 | 島根2号 | 2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水 | 1998/5/11 | ② |
| 1930 | 1998-東京-M002 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について | 1998/6/1 | ① | 1930 | 1998-東京-M002 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について | 1998/6/1 | ① | 1930 | 1998-東京-M002 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について | 1998/6/1 | ① |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | |
|----------------------------------|--------------|--------|--|------------|--------|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | |
| 1931 | 1998-東京-M003 | 福島第二2号 | 原子炉ウエル内における漏えいについて | 1998/7/6 | ① | |
| 168 | 1998-東京-T004 | 福島第二2号 | 調整運転中のタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)蒸気加減弁フランジ部からの漏えいに伴う出力制限について | 1998/7/21 | ① ② | |
| 172 | 1998-東京-T011 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉格納容器内LCWサンプからのオーバーフローについて | 1998/10/8 | ① | |
| 166 | 1998-中部-T003 | 浜岡2号 | 給水ポンプ駆動タービン(B)ケーシングドレン配管用管台部点検に伴う原子炉手動停止について | 1998/11/3 | ② | |
| ブレス リリース | — | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機の原子炉格納容器内配管の漏洩について | 1998/11/14 | ② | |
| 1939 | 1998-東京-M017 | 福島第一4号 | 補機冷却海水系戻り弁からの海水微少漏えいについて | 1999/1/5 | ② | |
| 1940 | 1998-東京-M018 | 福島第一5号 | 給水加熱器(1C)ドレン配管からの漏えいについて | 1999/1/13 | ② | |

| 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|
|----------------------|--|--|--|--|--|--|

| 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | |
|--------------|--------------|--------|--|------------|--------|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | |
| 1931 | 1998-東京-M003 | 福島第二2号 | 原子炉ウエル内における漏えいについて | 1998/7/6 | ① | |
| 168 | 1998-東京-T004 | 福島第二2号 | 調整運転中のタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)蒸気加減弁フランジ部からの漏えいに伴う出力制限について | 1998/7/21 | ① ② | |
| 172 | 1998-東京-T011 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉格納容器内LCWサンプからのオーバーフローについて | 1998/10/8 | ① | |
| 166 | 1998-中部-T003 | 浜岡2号 | 給水ポンプ駆動タービン(B)ケーシングドレン配管用管台部点検に伴う原子炉手動停止について | 1998/11/3 | ② | |
| ブレスリ リース | — | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機の原子炉格納容器内配管の漏洩について | 1998/11/14 | ② | |
| 1939 | 1998-東京-M017 | 福島第一4号 | 補機冷却海水系戻り弁からの海水微少漏えいについて | 1999/1/5 | ② | |
| 1940 | 1998-東京-M018 | 福島第一5号 | 給水加熱器(1C)ドレン配管からの漏えいについて | 1999/1/13 | ② | |

| 備考 | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|
|----|--|--|--|--|--|--|

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | |
|----------------------------------|--------------|--------|---|------------|--------|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | |
| 1959 | 1999-原電-M001 | 東海第二 | 主復水器循環水系バイパス管からの溢水について | 1999/4/20 | ① | |
| 1960 | 1999-原電-M003 | 東海第二 | 燃料プール冷却浄化系プリコトタンクからの溢水について | 1999/5/21 | ① | |
| 1991 | 1999-東京-M015 | 福島第一1号 | 定期検査中のタービン建屋内での油漏えいについて | 1999/10/18 | ① | |
| 227 | 2000-東京-T005 | 柏崎刈羽2号 | タービン系蒸気凝縮水漏えいに伴う原子炉手動停止について | 2000/6/29 | ② | |
| 230 | 2000-東京-T008 | 福島第一2号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 2000/7/23 | ② | |
| 2076 | 2000-東北-M001 | 女川1号 | 復水器過脱塩塔出口配管からの漏えいについて | 2000/9/2 | ② | |
| 2072 | 2000-東京-M015 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉再循環ポンプMGセット(B)電動機側ギヤカクプリング部からのグリース漏れについて | 2000/12/22 | ② | |

| 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | |

| 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | |
|--------------|--------------|--------|---|------------|--------|--|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | |
| 1959 | 1999-原電-M001 | 東海第二 | 主復水器循環水系バイパス管からの溢水について | 1999/4/20 | ① | |
| 1960 | 1999-原電-M003 | 東海第二 | 燃料プール冷却浄化系プリコトタンクからの溢水について | 1999/5/21 | ① | |
| 1991 | 1999-東京-M015 | 福島第一1号 | 定期検査中のタービン建屋内での油漏えいについて | 1999/10/18 | ① | |
| 227 | 2000-東京-T005 | 柏崎刈羽2号 | タービン系蒸気凝縮水漏えいに伴う原子炉手動停止について | 2000/6/29 | ② | |
| 230 | 2000-東京-T008 | 福島第一2号 | タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について | 2000/7/23 | ② | |
| 2076 | 2000-東北-M001 | 女川1号 | 復水器過脱塩塔出口配管からの漏えいについて | 2000/9/2 | ② | |
| 2072 | 2000-東京-M015 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉再循環ポンプMGセット(B)電動機側ギヤカクプリング部からのグリース漏れについて | 2000/12/22 | ② | |

| 備考 | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|------|---|------------|--------|
| 2136 | 2001-北陸-M002 | 志賀1号 | 高圧復水ポンプ(B)メカニカルシールからの漏えいについて | 2001/8/26 | ② |
| 2093 | 2001-原電-M010 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)封水出口配管からの蒸気微量漏えいについて | 2001/12/10 | ② |
| 248 | 2001-東北-T005 | 女川2号 | 復水流量計配管付け根部からの水漏れについて | 2002/3/7 | ② |
| 2187 | 2002-東北-M001 | 女川2号 | 湿分離ドレンタンク水位調節弁ポンネット部からの漏えいについて | 2002/4/2 | ② |
| 2148 | 2002-原電-M002 | 東海第二 | 発電機界磁整流器盤内整流器冷却水ホースからの微量漏えいについて | 2002/5/19 | ② |
| 2150 | 2002-原電-M004 | 東海第二 | 高圧タービン入口配管ドレンラインオリフィーストレーナ下流部からの漏えいについて | 2002/5/29 | ② |
| 2263 | 2002-中部-M002 | 浜岡3号 | 給水ポンプ駆動タービン高圧蒸気加減弁ドレン元弁の点検について | 2002/7/3 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|------|---|------------|--------|
| 2136 | 2001-北陸-M002 | 志賀1号 | 高圧復水ポンプ(B)メカニカルシールからの漏えいについて | 2001/8/26 | ② |
| 2093 | 2001-原電-M010 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)封水出口配管からの蒸気微量漏えいについて | 2001/12/10 | ② |
| 248 | 2001-東北-T005 | 女川2号 | 復水流量計配管付け根部からの水漏れについて | 2002/3/7 | ② |
| 2187 | 2002-東北-M001 | 女川2号 | 湿分離ドレンタンク水位調節弁ポンネット部からの漏えいについて | 2002/4/2 | ② |
| 2148 | 2002-原電-M002 | 東海第二 | 発電機界磁整流器盤内整流器冷却水ホースからの微量漏えいについて | 2002/5/19 | ② |
| 2150 | 2002-原電-M004 | 東海第二 | 高圧タービン入口配管ドレンラインオリフィーストレーナ下流部からの漏えいについて | 2002/5/29 | ② |
| 2263 | 2002-中部-M002 | 浜岡3号 | 給水ポンプ駆動タービン高圧蒸気加減弁ドレン元弁の点検について | 2002/7/3 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|--------|
| 2152 | 2002-原電-M006 | 東海第二 | 原子炉給水ポンプ駆動タービンA号機グラント下部からの凝縮水微少漏えいについて | 2002/7/5 | ② |
| プレス リリース | — | 浜岡4号 | 原子炉建屋1階における水漏れについて | 2002/7/11 | ② |
| 2181 | 2002-東京-M006 | 柏崎刈羽7号 | 低圧ドレンポンプ室での漏水について | 2002/7/12 | ① |
| 2180 | 2002-東京-M007 | 柏崎刈羽6号 | 燃料プール冷却浄化系ポンプ室での水の飛散につ いて | 2002/7/12 | ① |
| 256 | 2002-東京-T009 | 福島第一3号 | 制御棒駆動水圧系配管の不具合 | 2002/8/22 | ② |
| 2184 | 2002-東京-M014 | 福島第一3号 | 格納容器内への水漏れについて | 2002/9/24 | ① |
| 258 | 2002-東京-T019 | 福島第一4号 | 制御棒駆動水圧系挿入引抜配管の不具合 | 2002/10/11 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|--------|
| 2152 | 2002-原電-M006 | 東海第二 | 原子炉給水ポンプ駆動タービンA号機グラント下 部からの凝縮水微少漏えいについて | 2002/7/5 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡4号 | 原子炉建屋1階における水漏れについて | 2002/7/11 | ② |
| 2181 | 2002-東京-M006 | 柏崎刈羽7号 | 低圧ドレンポンプ室での漏水について | 2002/7/12 | ① |
| 2180 | 2002-東京-M007 | 柏崎刈羽6号 | 燃料プール冷却浄化系ポンプ室での水の飛散につ いて | 2002/7/12 | ① |
| 256 | 2002-東京-T009 | 福島第一3号 | 制御棒駆動水圧系配管の不具合 | 2002/8/22 | ② |
| 2184 | 2002-東京-M014 | 福島第一3号 | 格納容器内への水漏れについて | 2002/9/24 | ① |
| 258 | 2002-東京-T019 | 福島第一4号 | 制御棒駆動水圧系挿入引抜配管の不具合 | 2002/10/11 | ② |

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|--------|
| 311 | 2002-東京-M024 | 柏崎刈羽4号 | ほう酸水注入系ドレン受けタンクからの純水のオーバーフローについて | 2002/11/7 | ① |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域外)で発見された水たまりについて | 2002/11/8 | ② |
| 2162 | 2002-原電-M016 | 東海第二 | タービン主塞止弁 No.4 グランド蒸気リークホルダーからの漏えいについて | 2002/12/6 | ① |
| 2190 | 2002-東北-M007 | 女川1号 | 定期検査中の原子炉格納容器内における水の漏えいについて | 2002/12/14 | ① |
| 2269 | 2002-中部-M007 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系サンプリングラック周りの溢水について | 2003/1/15 | ① |
| 295 | 2002-東京-M034 | 柏崎刈羽2号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2003/1/23 | ① |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | タービン建屋2階で発見された水漏れについて | 2003/4/17 | ② |

東海第二発電所 (2018. 9. 18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|--------|
| 311 | 2002-東京-M024 | 柏崎刈羽4号 | ほう酸水注入系ドレン受けタンクからの純水のオーバーフローについて | 2002/11/7 | ① |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | サービス建屋地下1階(放射線管理区域外)で発見された水たまりについて | 2002/11/8 | ② |
| 2162 | 2002-原電-M016 | 東海第二 | タービン主塞止弁 No.4 グランド蒸気リークホルダーからの漏えいについて | 2002/12/6 | ① |
| 2190 | 2002-東北-M007 | 女川1号 | 定期検査中の原子炉格納容器内における水の漏えいについて | 2002/12/14 | ① |
| 2269 | 2002-中部-M007 | 浜岡1号 | 原子炉冷却材浄化系サンプリングラック周りの溢水について | 2003/1/15 | ① |
| 295 | 2002-東京-M034 | 柏崎刈羽2号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2003/1/23 | ① |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | タービン建屋2階で発見された水漏れについて | 2003/4/17 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|------|--------------------------------------|-----------|----|--|--|----------------------|--------------|------|--------------------------------------|-----------|----|--|--|--------------|--------------|------|--------------------------------------|-----------|----|--|--|----|
| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| プレスリリース | — | 浜岡1号 | 復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて | 2003/5/15 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡1号 | 復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて | 2003/5/15 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡1号 | 復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて | 2003/5/15 | ② | | | |
| プレスリリース | — | 浜岡2号 | タービン建屋1階における水漏れについて | 2003/5/21 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡2号 | タービン建屋1階における水漏れについて | 2003/5/21 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡2号 | タービン建屋1階における水漏れについて | 2003/5/21 | ② | | | |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | 補助建屋地下1階における水漏れについて | 2003/5/29 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡3号 | 補助建屋地下1階における水漏れについて | 2003/5/29 | ② | | | プレスリリース | — | 浜岡3号 | 補助建屋地下1階における水漏れについて | 2003/5/29 | ② | | | |
| 272 | 2003-北陸-M001 | 志賀1号 | タービン建屋の漏水について | 2003/5/31 | ① | | | 272 | 2003-北陸-M001 | 志賀1号 | タービン建屋の漏水について | 2003/5/31 | ① | | | 272 | 2003-北陸-M001 | 志賀1号 | タービン建屋の漏水について | 2003/5/31 | ① | | | |
| 2256 | 2003-北陸-M002 | 志賀1号 | 残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について | 2003/6/9 | ② | | | 2256 | 2003-北陸-M002 | 志賀1号 | 残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について | 2003/6/9 | ② | | | 2256 | 2003-北陸-M002 | 志賀1号 | 残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について | 2003/6/9 | ② | | | |
| 2264 | 2003-北陸-M005 | 志賀1号 | タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について | 2003/6/26 | ① | | | 2264 | 2003-北陸-M005 | 志賀1号 | タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について | 2003/6/26 | ① | | | 2264 | 2003-北陸-M005 | 志賀1号 | タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について | 2003/6/26 | ① | | | |
| 2282 | 2003-北陸-M006 | 志賀1号 | ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について | 2003/6/27 | ① | | | 2282 | 2003-北陸-M006 | 志賀1号 | ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について | 2003/6/27 | ① | | | 2282 | 2003-北陸-M006 | 志賀1号 | ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について | 2003/6/27 | ① | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|
| 274 | 2003-東京-T014 | 福島第一2号 | 原子炉建屋内での水漏れについて | 2003/7/24 | ① |
| 2258 | 2003-北陸-M008 | 志賀1号 | 制御棒駆動機構補修室における水漏れについて | 2003/7/30 | ① |
| 2283 | 2003-北陸-M010 | 志賀1号 | ドライクリーニング設備からの水漏れについて | 2003/8/13 | ① |
| プレス リリース | — | 浜岡3号 | タービン建屋地下1階雨水について | 2003/8/15 | ⑤ |
| 2265 | 2003-北陸-M011 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器排水口からの水漏れについて | 2003/8/20 | ① |
| 2284 | 2003-北陸-M012 | 志賀1号 | タービン建屋内での主油タンク油冷却器からの油漏れについて | 2003/8/29 | ① |
| プレス リリース | — | 浜岡1号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2003/9/17 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|
| 274 | 2003-東京-T014 | 福島第一2号 | 原子炉建屋内での水漏れについて | 2003/7/24 | ① |
| 2258 | 2003-北陸-M008 | 志賀1号 | 制御棒駆動機構補修室における水漏れについて | 2003/7/30 | ① |
| 2283 | 2003-北陸-M010 | 志賀1号 | ドライクリーニング設備からの水漏れについて | 2003/8/13 | ① |
| プレスリ リース | — | 浜岡3号 | タービン建屋地下1階雨水について | 2003/8/15 | ⑤ |
| 2265 | 2003-北陸-M011 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器排水口からの水漏れについて | 2003/8/20 | ① |
| 2284 | 2003-北陸-M012 | 志賀1号 | タービン建屋内での主油タンク油冷却器からの油漏れについて | 2003/8/29 | ① |
| プレスリ リース | — | 浜岡1号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2003/9/17 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|-------------------------------------|-----------|----|--|----------------------|--|--|--|--|--|--|--------------|--|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 383 | 2003-東京-M017 | 福島第二1号 | RCIC タービン反カップリング側パッキン箱上部からの水の滴下について | 2003/9/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 370 | 2003-東京-S013 | 福島第二2号 | 原子炉建屋低電導度廃液系サンプピットへの流入について | 2003/9/24 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2267 | 2003-北陸-M016 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内における漏水について | 2003/9/25 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3073 | 2003-東京-M019 | 福島第一1号 | 非常用ディーゼル発電機(D/G1A)の異常について | 2003/9/25 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2270 | 2003-北陸-M017 | 志賀1号 | 残留熱除去系(C)ポンプメカニカルシール部からの水漏れについて | 2003/9/27 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 334 | 2003-東京-M020 | 柏崎刈羽1号 | ほう酸水注入系ドレン配管からの漏えいについて | 2003/9/30 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 372 | 2003-東京-S017 | 福島第二2号 | タービン建屋2階工具棚からの微量な油だれの発生について | 2003/10/6 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 383 | 2003-東京-M017 | 福島第二1号 | RCIC タービン反カップリング側パッキン箱上部からの水の滴下について | 2003/9/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 370 | 2003-東京-S013 | 福島第二2号 | 原子炉建屋低電導度廃液系サンプピットへの流入について | 2003/9/24 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2267 | 2003-北陸-M016 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内における漏水について | 2003/9/25 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3073 | 2003-東京-M019 | 福島第一1号 | 非常用ディーゼル発電機(D/G1A)の異常について | 2003/9/25 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2270 | 2003-北陸-M017 | 志賀1号 | 残留熱除去系(C)ポンプメカニカルシール部からの水漏れについて | 2003/9/27 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 334 | 2003-東京-M020 | 柏崎刈羽1号 | ほう酸水注入系ドレン配管からの漏えいについて | 2003/9/30 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 372 | 2003-東京-S017 | 福島第二2号 | タービン建屋2階工具棚からの微量な油だれの発生について | 2003/10/6 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|---|------------|----|
| 380 | 2003-東京-M025 | 福島第二2号 | 残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について | 2003/10/7 | ② |
| 367 | 2003-東京-S018 | 福島第二 | 補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて | 2003/10/8 | ② |
| 369 | 2003-東京-S022 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について | 2003/10/14 | ② |
| 338 | 2003-東京-S023 | 柏崎刈羽1号 | RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ | 2003/10/18 | ① |
| プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて | 2003/10/26 | ② |
| 373 | 2003-東京-S025 | 福島第二1号 | 1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について | 2003/10/27 | ② |
| 2271 | 2003-北陸-M018 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて | 2003/11/12 | ① |

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|---|------------|----|
| 380 | 2003-東京-M025 | 福島第二2号 | 残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について | 2003/10/7 | ② |
| 367 | 2003-東京-S018 | 福島第二 | 補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて | 2003/10/8 | ② |
| 369 | 2003-東京-S022 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について | 2003/10/14 | ② |
| 338 | 2003-東京-S023 | 柏崎刈羽1号 | RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ | 2003/10/18 | ① |
| プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて | 2003/10/26 | ② |
| 373 | 2003-東京-S025 | 福島第二1号 | 1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について | 2003/10/27 | ② |
| 2271 | 2003-北陸-M018 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて | 2003/11/12 | ① |

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|---|------------|----|
| 380 | 2003-東京-M025 | 福島第二2号 | 残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について | 2003/10/7 | ② |
| 367 | 2003-東京-S018 | 福島第二 | 補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて | 2003/10/8 | ② |
| 369 | 2003-東京-S022 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について | 2003/10/14 | ② |
| 338 | 2003-東京-S023 | 柏崎刈羽1号 | RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ | 2003/10/18 | ① |
| プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて | 2003/10/26 | ② |
| 373 | 2003-東京-S025 | 福島第二1号 | 1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について | 2003/10/27 | ② |
| 2271 | 2003-北陸-M018 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて | 2003/11/12 | ① |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|----------------------------------|------------|----|--|----------------------|--------------|--------|----------------------------------|------------|----|--|--------------|--------------|--------|----------------------------------|------------|----|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 323 | 2003-東京-S028 | 福島第二2号 | 原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について | 2003/11/14 | ① | | 323 | 2003-東京-S028 | 福島第二2号 | 原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について | 2003/11/14 | ① | | 323 | 2003-東京-S028 | 福島第二2号 | 原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について | 2003/11/14 | ① | | |
| プレスリリース | — | 浜岡3号 | タービン建屋2階における水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | プレスリリース | — | 浜岡4号 | タービン建屋2階における水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | プレスリリース | — | 浜岡4号 | タービン建屋2階における水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | |
| 350 | 2003-東京-S034 | 福島第一4号 | 原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | 350 | 2003-東京-S034 | 福島第一4号 | 原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | 350 | 2003-東京-S034 | 福島第一4号 | 原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて | 2003/11/26 | ② | | |
| 2213 | 2003-東京-S040 | 柏崎刈羽5号 | RHRリークテスト弁からの漏えい | 2003/12/2 | ① | | 2213 | 2003-東京-S040 | 柏崎刈羽5号 | RHRリークテスト弁からの漏えい | 2003/12/2 | ① | | 2213 | 2003-東京-S040 | 柏崎刈羽5号 | RHRリークテスト弁からの漏えい | 2003/12/2 | ① | | |
| 342 | 2003-東京-M038 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2003/12/5 | ① | | 342 | 2003-東京-M038 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2003/12/5 | ① | | 342 | 2003-東京-M038 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2003/12/5 | ① | | |
| 10229 | 2003-東京-M037 | 福島第一5号 | 高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて | 2003/12/5 | ② | | 10229 | 2003-東京-M037 | 福島第一5号 | 高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて | 2003/12/5 | ② | | 10229 | 2003-東京-M037 | 福島第一5号 | 高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて | 2003/12/5 | ② | | |
| 364 | 2003-東京-S045 | 福島第一4号 | 定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて | 2003/12/12 | ② | | 364 | 2003-東京-S045 | 福島第一4号 | 定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて | 2003/12/12 | ② | | 364 | 2003-東京-S045 | 福島第一4号 | 定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて | 2003/12/12 | ② | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---|------------|----|--|----------------------|--------------|--------|---|------------|----|--|--------------|--------------|--------|---|------------|----|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 360 | 2003-東京-S046 | 福島第二4号 | 定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて | 2003/12/16 | ② | | 360 | 2003-東京-S046 | 福島第二4号 | 定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて | 2003/12/16 | ② | | 360 | 2003-東京-S046 | 福島第二4号 | 定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて | 2003/12/16 | ② | | |
| 3030 | 2003-東京-S047 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/17 | ① | | 3030 | 2003-東京-S047 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/17 | ① | | 3030 | 2003-東京-S047 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/17 | ① | | |
| 3029 | 2003-東京-S053 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/24 | ① | | 3029 | 2003-東京-S053 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/24 | ① | | 3029 | 2003-東京-S053 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2003/12/24 | ① | | |
| 3027 | 2003-東京-S054 | 福島第一5号 | タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて | 2003/12/27 | ② | | 3027 | 2003-東京-S054 | 福島第一5号 | タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて | 2003/12/27 | ② | | 3027 | 2003-東京-S054 | 福島第一5号 | タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて | 2003/12/27 | ② | | |
| 2228 | 2003-東京-M041 | 福島第二3号 | 残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について | 2004/1/19 | ② | | 2228 | 2003-東京-M041 | 福島第二3号 | 残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について | 2004/1/19 | ② | | 2228 | 2003-東京-M041 | 福島第二3号 | 残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について | 2004/1/19 | ② | | |
| 2383 | 2003-東京-S065 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2004/1/25 | ① | | 2383 | 2003-東京-S065 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2004/1/25 | ① | | 2383 | 2003-東京-S065 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2004/1/25 | ① | | |
| プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2004/2/5 | ② | | プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2004/2/5 | ② | | プレス リリース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2004/2/5 | ② | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2 号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 2232 | 2003-東京-M047 | 福島第二3号 | 高圧炉心スプレイ系注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について | 2004/2/7 | ② |
| 2294 | 2003-東京-S090 | 福島第二2号 | タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて | 2004/3/3 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋格納容器内における水漏れについて | 2004/3/11 | ② |
| 2321 | 2003-中国-T007 | 島根2号 | 原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止 | 2004/3/17 | ② |
| 2447 | 2004-東京-S003 | 柏崎刈羽5号 | 大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ | 2004/4/13 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡1号 | 原子炉建屋地下2階における水漏れについて | 2004/4/27 | ② |
| 2405 | 2004-東京-S013 | 福島第二 | 廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて | 2004/5/20 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 2232 | 2003-東京-M047 | 福島第二3号 | 高圧炉心スプレイ系注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について | 2004/2/7 | ② |
| 2294 | 2003-東京-S090 | 福島第二2号 | タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて | 2004/3/3 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋格納容器内における水漏れについて | 2004/3/11 | ② |
| 2321 | 2003-中国-T007 | 島根2号 | 原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止 | 2004/3/17 | ② |
| 2447 | 2004-東京-S003 | 柏崎刈羽5号 | 大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ | 2004/4/13 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡1号 | 原子炉地下2階における水漏れについて | 2004/4/27 | ② |
| 2405 | 2004-東京-S013 | 福島第二 | 廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて | 2004/5/20 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 2232 | 2003-東京-M047 | 福島第二3号 | 高圧炉心スプレイ系注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について | 2004/2/7 | ② |
| 2294 | 2003-東京-S090 | 福島第二2号 | タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて | 2004/3/3 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡2号 | 原子炉建屋格納容器内における水漏れについて | 2004/3/11 | ② |
| 2321 | 2003-中国-T007 | 島根2号 | 原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止 | 2004/3/17 | ② |
| 2447 | 2004-東京-S003 | 柏崎刈羽5号 | 大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ | 2004/4/13 | ② |
| プレスリ リース | — | 浜岡1号 | 原子炉地下2階における水漏れについて | 2004/4/27 | ② |
| 2405 | 2004-東京-S013 | 福島第二 | 廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて | 2004/5/20 | ① |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|--|----------------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|--|--------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 2415 | 2004-東京-S019 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/2 | ① | | 2415 | 2004-東京-S019 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/2 | ① | | 2415 | 2004-東京-S019 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/2 | ① | | |
| 2425 | 2004-東京-S021 | 福島第一2号 | 原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れにつ いて | 2004/6/9 | ② | | 2425 | 2004-東京-S021 | 福島第一2号 | 原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れにつ いて | 2004/6/9 | ② | | 2425 | 2004-東京-S021 | 福島第一2号 | 原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れにつ いて | 2004/6/9 | ② | | |
| 2733 | 2004-北陸-M002 | 志賀1号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/10 | ① | | 2733 | 2004-北陸-M002 | 志賀1号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/10 | ① | | 2733 | 2004-北陸-M002 | 志賀1号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/6/10 | ① | | |
| 2774 | 2004-東京-S022 | 福島第二2号 | 復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏 えいについて | 2004/6/16 | ① | | 2774 | 2004-東京-S022 | 福島第二2号 | 復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏 えいについて | 2004/6/16 | ① | | 2774 | 2004-東京-S022 | 福島第二2号 | 復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏 えいについて | 2004/6/16 | ① | | |
| 2463 | 2004-中部-S004 | 浜岡3号 | タービン建屋3階における油の漏えいについて | 2004/6/22 | ② | | 2463 | 2004-中部-S004 | 浜岡3号 | タービン建屋3階における油の漏えいについて | 2004/6/22 | ② | | 2463 | 2004-中部-S004 | 浜岡3号 | タービン建屋3階における油の漏えいについて | 2004/6/22 | ② | | |
| 2476 | 2004-東京-S026 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏 れについて | 2004/7/16 | ② | | 2476 | 2004-東京-S026 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏 れについて | 2004/7/16 | ② | | 2476 | 2004-東京-S026 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水 漏れについて | 2004/7/16 | ② | | |
| 2499 | 2004-東京-S028 | 福島第二 | サイトバンカ建屋における水の滴下について | 2004/7/28 | ② | | 2499 | 2004-東京-S028 | 福島第二 | サイトバンカ建屋における水の滴下について | 2004/7/28 | ② | | 2499 | 2004-東京-S028 | 福島第二 | サイトバンカ建屋における水の滴下について | 2004/7/28 | ② | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 2498 | 2004-東京-M023 | 福島第一6号 | 制御棒駆動水圧系配管取り付け部からの水の漏れについて | 2004/8/5 | ② |
| 2502 | 2004-中部-S012 | 浜岡4号 | タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について | 2004/8/6 | ② |
| 2495 | 2004-東京-M024 | 福島第二2号 | 原子炉起動時における原子炉水位高事象の発生について | 2004/8/7 | ① |
| 2493 | 2004-東京-S029 | 柏崎刈羽6号 | 高圧制御油圧ユニット室内での油漏れについて | 2004/8/9 | ① |
| 2531 | 2004-中部-S014 | 浜岡5号 | タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて | 2004/8/27 | ② |
| プレス リリース | — | 女川3号 | タービン建屋地下1階復水器室における配管からの結露水滴下 | 2004/8/27 | — |
| 2517 | 2004-東北-M005 | 女川3号 | 高圧第2 給水加熱器(B)胴側逃がし弁フランジ部からの微量な漏えいについて | 2004/8/29 | ① ② |

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|--------|--------------------------------------|-----------|--------|
| 2498 | 2004-東京-M023 | 福島第一6号 | 制御棒駆動水圧系配管取り付け部からの水の漏れについて | 2004/8/5 | ② |
| 2502 | 2004-中部-S012 | 浜岡4号 | タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について | 2004/8/6 | ② |
| 2495 | 2004-東京-M024 | 福島第二2号 | 原子炉起動時における原子炉水位高事象の発生について | 2004/8/7 | ① |
| 2493 | 2004-東京-S029 | 柏崎刈羽6号 | 高圧制御油圧ユニット室内での油漏れについて | 2004/8/9 | ① |
| 2531 | 2004-中部-S014 | 浜岡5号 | タービン建屋地下1階配管室における水漏れについて | 2004/8/27 | ② |
| プレスリ リース | — | 女川3号 | タービン建屋地下1階復水器室における配管からの結露水滴下 | 2004/8/27 | — |
| 2517 | 2004-東北-M005 | 女川3号 | 高圧第2給水加熱器(B)胴側逃がし弁フランジ部からの微量な漏えいについて | 2004/8/29 | ① ② |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---|-----------|----|-------------|--------------|----------------------|---|-----------|----|-------------|--------------|--------|---|--------------|----|----|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 備考 | | | | | | |
| 2567 | 2004-東京-S039 | 福島第二 | 1, 2号機廃棄物処理建屋における水溜まり等の発見について | 2004/8/29 | ② | 2567 | 2004-東京-S039 | 福島第二 | 1, 2号機廃棄物処理建屋における水溜まり等の発見について | 2004/8/29 | ② | 2567 | 2004-東京-S039 | 福島第二 | 1, 2号機廃棄物処理建屋における水溜まり等の発見について | 2004/8/29 | ② | | | | | | | |
| 2535 | 2004-東京-S040 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 軽油タンク防油堤内作業時における軽油の漏えいについて | 2004/8/30 | ① | 2535 | 2004-東京-S040 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 軽油タンク防油堤内作業時における軽油の漏えいについて | 2004/8/30 | ① | 2535 | 2004-東京-S040 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 軽油タンク防油堤内作業時における軽油の漏えいについて | 2004/8/30 | ① | | | | | | | |
| 2525 | 2004-東京-S044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(A)出入口差圧計につながらる配管継ぎ手部からの漏えいについて | 2004/9/4 | ② | 2525 | 2004-東京-S044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(A)出入口差圧計につながらる配管継ぎ手部からの漏えいについて | 2004/9/4 | ② | 2525 | 2004-東京-S044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(A)出入口差圧計につながらる配管継ぎ手部からの漏えいについて | 2004/9/4 | ② | | | | | | | |
| 2579 | 2004-東京-S045 | 福島第一3号 | 定期検査中の3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2004/9/5 | ① | 2579 | 2004-東京-S045 | 福島第一3号 | 定期検査中の3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2004/9/5 | ① | 2579 | 2004-東京-S045 | 福島第一3号 | 定期検査中の3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2004/9/5 | ① | | | | | | | |
| 2576 | 2004-東京-S049 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機タービン建屋内の油漏れについて | 2004/9/14 | ① | 2576 | 2004-東京-S049 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機タービン建屋内の油漏れについて | 2004/9/14 | ① | 2576 | 2004-東京-S049 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機タービン建屋内の油漏れについて | 2004/9/14 | ① | | | | | | | |
| 2549 | 2004-東京-S055 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器内における水漏れについて | 2004/9/26 | ① | 2549 | 2004-東京-S055 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器内における水漏れについて | 2004/9/26 | ① | 2549 | 2004-東京-S055 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器内における水漏れについて | 2004/9/26 | ① | | | | | | | |
| 2566 | 2004-東京-S059 | 福島第二1号 | タービン建屋内の油漏れについて | 2004/10/3 | ② | 2566 | 2004-東京-S059 | 福島第二1号 | タービン建屋内の油漏れについて | 2004/10/3 | ② | 2566 | 2004-東京-S059 | 福島第二1号 | タービン建屋内の油漏れについて | 2004/10/3 | ② | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|--------------------------------|------------|----|--|----------------------|--------------|--------|--------------------------------|------------|----|--|--------------|--------------|--------|--------------------------------|------------|----|--|----|
| ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 2588 | 2004-中部-S022 | 浜岡3号 | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について | 2004/10/9 | ⑤ | | 2588 | 2004-中部-S022 | 浜岡3号 | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について | 2004/10/9 | ⑤ | | 2588 | 2004-中部-S022 | 浜岡3号 | サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について | 2004/10/9 | ⑤ | | |
| 2615 | 2004-東京-S063 | 福島第一4号 | 制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ | 2004/10/18 | ② | | 2615 | 2004-東京-S063 | 福島第一4号 | 制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ | 2004/10/18 | ② | | 2615 | 2004-東京-S063 | 福島第一4号 | 制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ | 2004/10/18 | ② | | |
| 2808 | 2004-北陸-M013 | 志賀1号 | 補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて | 2004/10/20 | ① | | 2808 | 2004-北陸-M013 | 志賀1号 | 補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて | 2004/10/20 | ① | | 2808 | 2004-北陸-M013 | 志賀1号 | 補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて | 2004/10/20 | ① | | |
| 2627 | 2004-東京-S064 | 福島第一5号 | 電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて | 2004/10/20 | ② | | 2627 | 2004-東京-S064 | 福島第一5号 | 電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて | 2004/10/20 | ② | | 2627 | 2004-東京-S064 | 福島第一5号 | 電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて | 2004/10/20 | ② | | |
| 2640 | 2004-東北-S019 | 女川1号 | 原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて | 2004/10/21 | ① | | 2640 | 2004-東北-S019 | 女川1号 | 原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて | 2004/10/21 | ① | | 2640 | 2004-東北-S019 | 女川1号 | 原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて | 2004/10/21 | ① | | |
| 2600 | 2004-中部-S024 | 浜岡3号 | タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について | 2004/10/27 | ② | | 2600 | 2004-中部-S024 | 浜岡3号 | タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について | 2004/10/27 | ② | | 2600 | 2004-中部-S024 | 浜岡3号 | タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について | 2004/10/27 | ② | | |
| 2981 | 2004-東京-S069 | 柏崎刈羽7号 | タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて | 2004/11/4 | ② | | 2981 | 2004-東京-S069 | 柏崎刈羽7号 | タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて | 2004/11/4 | ② | | 2981 | 2004-東京-S069 | 柏崎刈羽7号 | タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて | 2004/11/4 | ② | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|--|------------|----|--|----------------------|--------------|--------|--|------------|----|--|--------------|--------------|--------|--|------------|----|--|----|
| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 2623 | 2004-東京-M044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計配管継ぎ手部分からの漏えいについて | 2004/11/8 | ② | | 2623 | 2004-東京-M044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計配管継ぎ手部分からの漏えいについて | 2004/11/8 | ② | | 2623 | 2004-東京-M044 | 福島第二2号 | 原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計配管継ぎ手部分からの漏えいについて | 2004/11/8 | ② | | |
| 2628 | 2004-中部-S027 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について | 2004/11/16 | ② | | 2628 | 2004-中部-S027 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について | 2004/11/16 | ② | | 2628 | 2004-中部-S027 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について | 2004/11/16 | ② | | |
| 2650 | 2004-中部-S028 | 浜岡5号 | タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて | 2004/11/17 | ② | | 2650 | 2004-中部-S028 | 浜岡5号 | タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて | 2004/11/17 | ② | | 2650 | 2004-中部-S028 | 浜岡5号 | タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて | 2004/11/17 | ② | | |
| 2779 | 2004-東京-S077 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れ | 2004/11/18 | ① | | 2779 | 2004-東京-S077 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れ | 2004/11/18 | ① | | 2779 | 2004-東京-S077 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れ | 2004/11/18 | ① | | |
| 2884 | 2004-東京-M047 | 福島第一6号 | 原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について | 2004/11/26 | ② | | 2884 | 2004-東京-M047 | 福島第一6号 | 原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について | 2004/11/26 | ② | | 2884 | 2004-東京-M047 | 福島第一6号 | 原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について | 2004/11/26 | ② | | |
| 2646 | 2004-東京-S080 | 福島第一2号 | 高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて | 2004/11/30 | ② | | 2646 | 2004-東京-S080 | 福島第一2号 | 高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて | 2004/11/30 | ② | | 2646 | 2004-東京-S080 | 福島第一2号 | 高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて | 2004/11/30 | ② | | |
| 2712 | 2004-東京-S082 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/12/4 | ① | | 2712 | 2004-東京-S082 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/12/4 | ① | | 2712 | 2004-東京-S082 | 福島第一1号 | 定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2004/12/4 | ① | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | 復水系統スラッジ混合ポンプ(B)室での復水補給水の漏えい | 2004/12/6 | ① |
| 2705 | 2004-東京-M051 | 福島第一-4号 | 福島第一原子力発電所4号機の原子炉手動停止について | 2004/12/8 | ② |
| 2665 | 2004-東京-M050 | 福島第一-2号 | 過分離器ドレンタンク配管付近の水漏れに伴う原子炉手動停止 | 2004/12/8 | ② |
| 2663 | 2004-東京-S086 | 福島第一-5号 | タービン建屋近傍洞道内配管からの水漏れ(飲料水)について | 2004/12/12 | ② |
| 2715 | 2004-東京-S087 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2004/12/14 | ① |
| 2714 | 2004-東京-S088 | 福島第一-3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れについて | 2004/12/19 | ① |
| 2679 | 2004-東京-S089 | 福島第一-5号 | タービン建屋内における水漏れ | 2004/12/22 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|------------------------------|------------|----|
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | 復水系統スラッジ混合ポンプ(B)室での復水補給水の漏えい | 2004/12/6 | ① |
| 2705 | 2004-東京-M051 | 福島第一-4号 | 福島第一原子力発電所4号機の原子炉手動停止について | 2004/12/8 | ② |
| 2665 | 2004-東京-M050 | 福島第一-2号 | 過分離器ドレンタンク配管付近の水漏れに伴う原子炉手動停止 | 2004/12/8 | ② |
| 2663 | 2004-東京-S086 | 福島第一-5号 | タービン建屋近傍洞道内配管からの水漏れ(飲料水)について | 2004/12/12 | ② |
| 2715 | 2004-東京-S087 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2004/12/14 | ① |
| 2714 | 2004-東京-S088 | 福島第一-3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れについて | 2004/12/19 | ① |
| 2679 | 2004-東京-S089 | 福島第一-5号 | タービン建屋内における水漏れ | 2004/12/22 | ① |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|-------------------------------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|----|-------------|--------------|-------------------------|---------------------------------------|-----------|----|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|--------------|----|--|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | |
| 2716 | 2004-中部-S035 | 浜岡3号 | 補助建屋中地下1階における水漏れについて | 2005/1/5 | ② | 2716 | 2004-中部-S035 | 浜岡3号 | 補助建屋中地下1階における水漏れについて | 2005/1/5 | ② | 2716 | 2004-中部-S035 | 浜岡3号 | 補助建屋中地下1階における水漏れについて | 2005/1/5 | ② | | | | | | | |
| 2695 | 2004-東京-S091 | 福島第二1号 | タービン建屋における油漏れ | 2005/1/7 | ① | 2695 | 2004-東京-S091 | 福島第二1号 | タービン建屋における油漏れ | 2005/1/7 | ① | 2695 | 2004-東京-S091 | 福島第二1号 | タービン建屋における油漏れ | 2005/1/7 | ① | | | | | | | |
| 2696 | 2004-東京-S092 | 福島第一3号 | タービン建屋における水漏れ | 2005/1/11 | ② | 2696 | 2004-東京-S092 | 福島第一3号 | タービン建屋における水漏れ | 2005/1/11 | ② | 2696 | 2004-東京-S092 | 福島第一3号 | タービン建屋における水漏れ | 2005/1/11 | ② | | | | | | | |
| 2757 | 2004-東京-S094 | 福島第二1号 | 原子炉建屋内での水漏れ | 2005/1/18 | ① | 2757 | 2004-東京-S094 | 福島第二1号 | 原子炉建屋内での水漏れ | 2005/1/18 | ① | 2757 | 2004-東京-S094 | 福島第二1号 | 原子炉建屋内での水漏れ | 2005/1/18 | ① | | | | | | | |
| 2776 | 2004-東京-T058 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う 原子炉手動停止について | 2005/2/4 | ② | 2776 | 2004-東京-T058 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う 原子炉手動停止について | 2005/2/4 | ② | 2776 | 2004-東京-T058 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う 原子炉手動停止について | 2005/2/4 | ② | | | | | | | |
| 2758 | 2004-東京-S103 | 福島第二3号 | 主変圧器点検作業中の油漏れ | 2005/2/7 | ① | 2758 | 2004-東京-S103 | 福島第二3号 | 主変圧器点検作業中の油漏れ | 2005/2/7 | ① | 2758 | 2004-東京-S103 | 福島第二3号 | 主変圧器点検作業中の油漏れ | 2005/2/7 | ① | | | | | | | |
| 2768 | 2004-東京-S106 | 福島第二3号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/2/11 | ① | 2768 | 2004-東京-S106 | 福島第二3号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/2/11 | ① | 2768 | 2004-東京-S106 | 福島第二3号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/2/11 | ① | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|----------|------------------------------------|-----------|----|--|--|----------------------|--------------|----------|------------------------------------|-----------|----|--|--|--------------|--------------|----------|------------------------------------|-----------|----|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 2810 | 2004-東京-M061 | 福島第一3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れ | 2005/3/1 | ② | | | 2810 | 2004-東京-M061 | 福島第一3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れ | 2005/3/1 | ② | | | 2810 | 2004-東京-M061 | 福島第一3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れ | 2005/3/1 | ② | | | |
| 2826 | 2004-東京-S115 | 福島第二3,4号 | 3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2005/3/2 | ① | | | 2826 | 2004-東京-S115 | 福島第二3,4号 | 3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2005/3/2 | ① | | | 2826 | 2004-東京-S115 | 福島第二3,4号 | 3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2005/3/2 | ① | | | |
| 2834 | 2004-東京-S120 | 福島第二3号 | タービン建屋における海水の漏えい | 2005/3/7 | ① | | | 2834 | 2004-東京-S120 | 福島第二3号 | タービン建屋における海水の漏えい | 2005/3/7 | ① | | | 2834 | 2004-東京-S120 | 福島第二3号 | タービン建屋における海水の漏えい | 2005/3/7 | ① | | | |
| 2831 | 2004-東京-S122 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/3/8 | ① | | | 2831 | 2004-東京-S122 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/3/8 | ① | | | 2831 | 2004-東京-S122 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/3/8 | ① | | | |
| 2841 | 2004-東京-S124 | 福島第一3号 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ | 2005/3/12 | ① | | | 2841 | 2004-東京-S124 | 福島第一3号 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ | 2005/3/12 | ① | | | 2841 | 2004-東京-S124 | 福島第一3号 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ | 2005/3/12 | ① | | | |
| 2862 | 2004-東京-S129 | 柏崎刈羽3号 | 屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて | 2005/3/16 | ② | | | 2862 | 2004-東京-S129 | 柏崎刈羽3号 | 屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて | 2005/3/16 | ② | | | 2862 | 2004-東京-S129 | 柏崎刈羽3号 | 屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて | 2005/3/16 | ② | | | |
| 2877 | 2004-東京-S135 | 柏崎刈羽3号 | タービン建屋における油漏れについて | 2005/3/28 | ① | | | 2877 | 2004-東京-S135 | 柏崎刈羽3号 | タービン建屋における油漏れについて | 2005/3/28 | ① | | | 2877 | 2004-東京-S135 | 柏崎刈羽3号 | タービン建屋における油漏れについて | 2005/3/28 | ① | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|------------------------------|-----------|----|--|----------------------|--------------|--------|------------------------------|-----------|----|-------------|--------------|--------|------------------------------|-----------|----|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 2883 | 2004-東北-S042 | 女川1号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/3/30 | ① | | 2883 | 2004-東北-S042 | 女川1号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/3/30 | ① | 2883 | 2004-東北-S042 | 女川1号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2005/3/30 | ① | | | |
| 2908 | 2004-東京-S137 | 福島第一5号 | タービン建屋内における水漏れについて | 2005/3/31 | ① | | 2908 | 2004-東京-S137 | 福島第一5号 | タービン建屋内における水漏れについて | 2005/3/31 | ① | 2908 | 2004-東京-S137 | 福島第一5号 | タービン建屋内における水漏れについて | 2005/3/31 | ① | | | |
| 2910 | 2004-東京-S138 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2005/3/31 | ② | | 2910 | 2004-東京-S138 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2005/3/31 | ② | 2910 | 2004-東京-S138 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2005/3/31 | ② | | | |
| 2915 | 2005-東北-S004 | 東通1号 | 制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水 | 2005/4/6 | ① | | 2915 | 2005-東北-S004 | 東通1号 | 制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水 | 2005/4/6 | ① | 2915 | 2005-東北-S004 | 東通1号 | 制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水 | 2005/4/6 | ① | | | |
| 2969 | 2005-北陸-S001 | 志賀2号 | 2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて | 2005/4/16 | ① | | 2969 | 2005-北陸-S001 | 志賀2号 | 2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて | 2005/4/16 | ① | 2969 | 2005-北陸-S001 | 志賀2号 | 2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて | 2005/4/16 | ① | | | |
| 2921 | 2005-東京-S002 | 福島第一6号 | 6号機タービン建屋内における蒸気漏れ | 2005/4/17 | ② | | 2921 | 2005-東京-S002 | 福島第一6号 | 6号機タービン建屋内における蒸気漏れ | 2005/4/17 | ② | 2921 | 2005-東京-S002 | 福島第一6号 | 6号機タービン建屋内における蒸気漏れ | 2005/4/17 | ② | | | |
| 2951 | 2005-東北-S008 | 東通1号 | 復水器水室からの海水の溢水 | 2005/5/4 | ① | | 2951 | 2005-東北-S008 | 東通1号 | 復水器水室からの海水の溢水 | 2005/5/4 | ① | 2951 | 2005-東北-S008 | 東通1号 | 復水器水室からの海水の溢水 | 2005/5/4 | ① | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|----|--|----------------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|----|--|--------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|----|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 2948 | 2005-東京-S008 | 福島第一2号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2005/5/7 | ① | | 2948 | 2005-東京-S008 | 福島第一2号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2005/5/7 | ① | | 2948 | 2005-東京-S008 | 福島第一2号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2005/5/7 | ① | | |
| 3012 | 2005-東北-S009 | 女川2号 | タービン排気室マンホール養生部からの水の漏えいについて | 2005/5/9 | ① | | 3012 | 2005-東北-S009 | 女川2号 | タービン排気室マンホール養生部からの水の漏えいについて | 2005/5/9 | ① | | 3012 | 2005-東北-S009 | 女川2号 | タービン排気室マンホール養生部からの水の漏えいについて | 2005/5/9 | ① | | |
| 3023 | 2005-東京-S010 | 福島第一2号 | タービン建屋内での油漏れについて | 2005/5/13 | ② | | 3023 | 2005-東京-S010 | 福島第一2号 | タービン建屋内での油漏れについて | 2005/5/13 | ② | | 3023 | 2005-東京-S010 | 福島第一2号 | タービン建屋内での油漏れについて | 2005/5/13 | ② | | |
| 2960 | 2005-東京-S011 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れ | 2005/5/14 | ② | | 2960 | 2005-東京-S011 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れ | 2005/5/14 | ② | | 2960 | 2005-東京-S011 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋内における水漏れ | 2005/5/14 | ② | | |
| 2984 | 2005-東京-S013 | 柏崎刈羽1号 | 再循環MGセット油冷却器からの油漏れ | 2005/5/31 | ② | | 2984 | 2005-東京-S013 | 柏崎刈羽1号 | 再循環MGセット油冷却器からの油漏れ | 2005/5/31 | ② | | 2984 | 2005-東京-S013 | 柏崎刈羽1号 | 再循環MGセット油冷却器からの油漏れ | 2005/5/31 | ② | | |
| 2992 | 2005-東京-S014 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋試験採取ラック室内での水漏れについて | 2005/6/5 | ② | | 2992 | 2005-東京-S014 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋試験採取ラック室内での水漏れについて | 2005/6/5 | ② | | 2992 | 2005-東京-S014 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋試験採取ラック室内での水漏れについて | 2005/6/5 | ② | | |
| 3052 | 2005-中部-S004 | 浜岡5号 | タービン機器冷却水熱交換器内における冷却水(淡水)の海水側への流出について | 2005/6/9 | ② | | 3052 | 2005-中部-S004 | 浜岡5号 | タービン機器冷却水熱交換器内における冷却水(淡水)の海水側への流出について | 2005/6/9 | ② | | 3052 | 2005-中部-S004 | 浜岡5号 | タービン機器冷却水熱交換器内における冷却水(淡水)の海水側への流出について | 2005/6/9 | ② | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|-----------------------------------|-----------|----|-------------|--------------|----------------------|-----------------------------------|-----------|----|-------------|--------------|--------|-----------------------------------|--------------|----|----|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 備考 | | | | | | |
| 3018 | 2005-東京-S017 | 福島第一2号 | タービン建屋内における水漏れ | 2005/6/11 | ① | 3018 | 2005-東京-S017 | 福島第一2号 | タービン建屋内における水漏れ | 2005/6/11 | ① | 3018 | 2005-東京-S017 | 福島第一2号 | タービン建屋内における水漏れ | 2005/6/11 | ① | | | | | | | |
| 3072 | 2005-東京-S020 | 柏崎刈羽1号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について | 2005/6/24 | ① | 3072 | 2005-東京-S020 | 柏崎刈羽1号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について | 2005/6/24 | ① | 3072 | 2005-東京-S020 | 柏崎刈羽1号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について | 2005/6/24 | ① | | | | | | | |
| 3067 | 2005-東京-S021 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて | 2005/6/27 | ① | 3067 | 2005-東京-S021 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて | 2005/6/27 | ① | 3067 | 2005-東京-S021 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて | 2005/6/27 | ① | | | | | | | |
| 3077 | 2005-東京-M013 | 福島第一2号 | 高圧注水系における微少な蒸気漏れ | 2005/6/30 | ① | 3077 | 2005-東京-M013 | 福島第一2号 | 高圧注水系における微少な蒸気漏れ | 2005/6/30 | ① | 3077 | 2005-東京-M013 | 福島第一2号 | 高圧注水系における微少な蒸気漏れ | 2005/6/30 | ① | | | | | | | |
| 3106 | 2005-東京-S025 | 柏崎刈羽6号 | FPCポンプ室内の溢水について | 2005/7/7 | ① | 3106 | 2005-東京-S025 | 柏崎刈羽6号 | FPCポンプ室内の溢水について | 2005/7/7 | ① | 3106 | 2005-東京-S025 | 柏崎刈羽6号 | FPCポンプ室内の溢水について | 2005/7/7 | ① | | | | | | | |
| 3128 | 2005-東京-S028 | 福島第一1号 | 原子炉再循環系配管の排水弁不具合 | 2005/7/15 | ② | 3128 | 2005-東京-S028 | 福島第一1号 | 原子炉再循環系配管の排水弁不具合 | 2005/7/15 | ② | 3128 | 2005-東京-S028 | 福島第一1号 | 原子炉再循環系配管の排水弁不具合 | 2005/7/15 | ② | | | | | | | |
| 3136 | 2005-中部-S007 | 浜岡3号 | 給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について | 2005/7/24 | ② | 3136 | 2005-中部-S007 | 浜岡3号 | 給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について | 2005/7/24 | ② | 3136 | 2005-中部-S007 | 浜岡3号 | 給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について | 2005/7/24 | ② | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|----------|--|-----------|----|--|----------------------|--------------|----------|--|-----------|----|-------------|--------------|----------|--|-----------|----|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 3185 | 2005-北陸-S004 | 志賀2号 | 電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違いについて | 2005/7/27 | ① | | 3185 | 2005-北陸-S004 | 志賀2号 | 電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違いについて | 2005/7/27 | ① | 3185 | 2005-北陸-S004 | 志賀2号 | 電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違いについて | 2005/7/27 | ① | | | |
| 3162 | 2005-東京-M022 | 福島第一1号 | 復水器洗浄装置制御御盤の火災について | 2005/8/4 | ② | | 3162 | 2005-東京-M022 | 福島第一1号 | 復水器洗浄装置制御御盤の火災について | 2005/8/4 | ② | 3162 | 2005-東京-M022 | 福島第一1号 | 復水器洗浄装置制御御盤の火災について | 2005/8/4 | ② | | | |
| 3190 | 2005-東京-M021 | 福島第一1号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/8/4 | ② | | 3190 | 2005-東京-M021 | 福島第一1号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/8/4 | ② | 3190 | 2005-東京-M021 | 福島第一1号 | タービン建屋内での水漏れについて | 2005/8/4 | ② | | | |
| 3178 | 2005-東京-M025 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて | 2005/8/6 | ② | | 3178 | 2005-東京-M025 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて | 2005/8/6 | ② | 3178 | 2005-東京-M025 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて | 2005/8/6 | ② | | | |
| 3191 | 2005-東京-S039 | 福島第一1号 | 1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて | 2005/8/12 | ② | | 3191 | 2005-東京-S039 | 福島第一1号 | 1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて | 2005/8/12 | ② | 3191 | 2005-東京-S039 | 福島第一1号 | 1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて | 2005/8/12 | ② | | | |
| 3195 | 2005-東京-S042 | 福島第二4号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | | 3195 | 2005-東京-S042 | 福島第二4号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | 3195 | 2005-東京-S042 | 福島第二4号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | | | |
| 3196 | 2005-東京-S041 | 福島第一2,6号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | | 3196 | 2005-東京-S041 | 福島第一2,6号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | 3196 | 2005-東京-S041 | 福島第一2,6号 | 地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について | 2005/8/16 | ③ | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|----|
| 3211 | 2005-東京-S043 | 福島第一 | 高温焼却炉設備用燃料供給ポンプの軸封部からの油漏れについて | 2005/8/19 | ② |
| 3239 | 2005-東京-M029 | 柏崎刈羽5号 | 使用済燃料プールの水位低下による運転上の制限の逸脱について | 2005/9/1 | ② |
| 7913 | 2005-東京-M030 | 柏崎刈羽3号 | タービン建屋低電導度廃液系サンプ(A)の監視について | 2005/9/15 | ② |
| 7908 | 2005-中部-S014 | 浜岡4号 | 浜岡4号機 タービン軸振動計取付け部の監視措置について | 2005/9/28 | ② |
| 7909 | 2005-東京-S056 | 福島第二1号 | 1号機におけるタービン建屋低電導度廃液系サンプポンプの起動回数の増加について | 2005/9/29 | ② |
| 7916 | 2005-東京-M034 | 福島第一4号 | 残留熱除去系海水配管からの海水漏えいについて | 2005/10/3 | ② |
| 7937 | 2005-東京-M037 | 福島第一4号 | 給水加熱器ドレンポンプ(C)の点検状況について | 2005/10/12 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|----|
| 3211 | 2005-東京-S043 | 福島第一 | 高温焼却炉設備用燃料供給ポンプの軸封部からの油漏れについて | 2005/8/19 | ② |
| 3239 | 2005-東京-M029 | 柏崎刈羽5号 | 使用済燃料プールの水位低下による運転上の制限の逸脱について | 2005/9/1 | ② |
| 7913 | 2005-東京-M030 | 柏崎刈羽3号 | タービン建屋低電導度廃液系サンプ(A)の監視について | 2005/9/15 | ② |
| 7908 | 2005-中部-S014 | 浜岡4号 | 浜岡4号機 タービン軸振動計取付け部の監視措置について | 2005/9/28 | ② |
| 7909 | 2005-東京-S056 | 福島第二1号 | 1号機におけるタービン建屋低電導度廃液系サンプポンプの起動回数の増加について | 2005/9/29 | ② |
| 7916 | 2005-東京-M034 | 福島第一4号 | 残留熱除去系海水配管からの海水漏えいについて | 2005/10/3 | ② |
| 7937 | 2005-東京-M037 | 福島第一4号 | 給水加熱器ドレンポンプ(C)の点検状況について | 2005/10/12 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|----|-------------|--------------|----------------------|---------------------------------------|------------|----|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|--------------|----|----|--|--|--|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 備考 | | | | | | |
| 7953 | 2005-東京-S062 | 福島第二2号 | 屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて | 2005/10/18 | ② | 7953 | 2005-東京-S062 | 福島第二2号 | 屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて | 2005/10/18 | ② | 7953 | 2005-東京-S062 | 福島第二2号 | 屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて | 2005/10/18 | ② | | | | | | | |
| 7948 | 2005-東京-S066 | 福島第二3号 | 原子炉建屋における水溜まりの発見について | 2005/10/25 | ① | 7948 | 2005-東京-S066 | 福島第二3号 | 原子炉建屋における水溜まりの発見について | 2005/10/25 | ① | 7948 | 2005-東京-S066 | 福島第二3号 | 原子炉建屋における水溜まりの発見について | 2005/10/25 | ① | | | | | | | |
| 7959 | 2005-東京-S068 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて | 2005/11/1 | ② | 7959 | 2005-東京-S068 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて | 2005/11/1 | ② | 7959 | 2005-東京-S068 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて | 2005/11/1 | ② | | | | | | | |
| 7962 | 2005-東京-S070 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について | 2005/11/2 | ② | 7962 | 2005-東京-S070 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について | 2005/11/2 | ② | 7962 | 2005-東京-S070 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について | 2005/11/2 | ② | | | | | | | |
| 7964 | 2005-東京-S069 | 福島第一4号 | タービン建屋内における水たまりの発見について | 2005/11/2 | ② | 7964 | 2005-東京-S069 | 福島第一4号 | タービン建屋内における水たまりの発見について | 2005/11/2 | ② | 7964 | 2005-東京-S069 | 福島第一4号 | タービン建屋内における水たまりの発見について | 2005/11/2 | ② | | | | | | | |
| 8215 | 2005-東北-S041 | 女川3号 | スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて | 2005/11/21 | ① | 8215 | 2005-東北-S041 | 女川3号 | スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて | 2005/11/21 | ① | 8215 | 2005-東北-S041 | 女川3号 | スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて | 2005/11/21 | ① | | | | | | | |
| 8005 | 2005-東京-S079 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内での溢水について | 2005/12/5 | ② | 8005 | 2005-東京-S079 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内での溢水について | 2005/12/5 | ② | 8005 | 2005-東京-S079 | 柏崎刈羽1号 | タービン建屋内での溢水について | 2005/12/5 | ② | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|----|
| 8012 | 2005-東京-M044 | 福島第一4号 | 高圧復水ポンプ入口ヘッダーのサンプリング配管溶接部からのにじみ | 2005/12/10 | ② |
| 8015 | 2005-東京-S081 | 福島第二2号 | 福島第二原子力発電所2号機屋外消火栓付近における水漏れについて | 2005/12/13 | ② |
| 8035 | 2005-東京-S084 | 福島第二1,2号 | 福島第二原子力発電所1,2号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について | 2005/12/21 | ② |
| 8080 | 2005-東京-S090 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内での水漏れについて | 2006/1/12 | ① |
| 8079 | 2005-東京-S095 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/1/18 | ② |
| 8088 | 2005-東京-M050 | 福島第一6号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2006/1/27 | ② |
| 8110 | 2005-東京-S100 | 福島第二1号 | タービン建屋低電導度廃液サンプ(A)の監視について | 2006/2/16 | ② |

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|----|
| 8012 | 2005-東京-M044 | 福島第一4号 | 高圧復水ポンプ入口ヘッダーのサンプリング配管溶接部からのにじみ | 2005/12/10 | ② |
| 8015 | 2005-東京-S081 | 福島第二2号 | 福島第二原子力発電所2号機屋外消火栓付近における水漏れについて | 2005/12/13 | ② |
| 8035 | 2005-東京-S084 | 福島第二1,2号 | 福島第二原子力発電所1,2号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について | 2005/12/21 | ② |
| 8080 | 2005-東京-S090 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内での水漏れについて | 2006/1/12 | ① |
| 8079 | 2005-東京-S095 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/1/18 | ② |
| 8088 | 2005-東京-M050 | 福島第一6号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2006/1/27 | ② |
| 8110 | 2005-東京-S100 | 福島第二1号 | タービン建屋低電導度廃液サンプ(A)の監視について | 2006/2/16 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|----------|---|-----------|----|
| 8161 | 2005-東北-S056 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系および非常用補機冷却海水系(B)における海水の滴下について | 2006/2/23 | ① |
| 8251 | 2005-東北-S059 | 女川1号 | ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて | 2006/3/2 | ② |
| 8254 | 2005-東北-S064 | 女川1号 | 復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について | 2006/3/7 | ② |
| 8141 | 2005-東京-S104 | 福島第二1,2号 | 福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2006/3/7 | ① |
| 8143 | 2005-東京-S105 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/3/9 | ① |
| 8169 | 2005-東京-S106 | 福島第二 | 廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて | 2006/3/25 | ② |
| 8157 | 2005-東京-S107 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における海水漏えいについて | 2006/3/25 | ① |

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|-----------|------------------------------------|-----------|----|
| 8161 | 2005-東北-S056 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系(B)における海水の滴下について | 2006/2/23 | ① |
| 8251 | 2005-東北-S059 | 女川1号 | ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて | 2006/3/2 | ② |
| 8254 | 2005-東北-S064 | 女川1号 | 復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について | 2006/3/7 | ② |
| 8141 | 2005-東京-S104 | 福島第二1, 2号 | 福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2006/3/7 | ① |
| 8143 | 2005-東京-S105 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/3/9 | ① |
| 8169 | 2005-東京-S106 | 福島第二 | 廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて | 2006/3/25 | ② |
| 8157 | 2005-東京-S107 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における海水漏えいについて | 2006/3/25 | ① |

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|-----------|------------------------------------|-----------|----|
| 8161 | 2005-東北-S056 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系(B)における海水の滴下について | 2006/2/23 | ① |
| 8251 | 2005-東北-S059 | 女川1号 | ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて | 2006/3/2 | ② |
| 8254 | 2005-東北-S064 | 女川1号 | 復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について | 2006/3/7 | ② |
| 8141 | 2005-東京-S104 | 福島第二1, 2号 | 福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2006/3/7 | ① |
| 8143 | 2005-東京-S105 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/3/9 | ① |
| 8169 | 2005-東京-S106 | 福島第二 | 廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて | 2006/3/25 | ② |
| 8157 | 2005-東京-S107 | 福島第一6号 | 原子炉建屋における海水漏えいについて | 2006/3/25 | ① |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|--------------------------------------|-----------|----|--|----------------------|--------------|--------|--------------------------------------|-----------|----|--|--------------|--------------|--------|--------------------------------------|-----------|----|--|----|
| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 8178 | 2006-東京-S002 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて | 2006/4/7 | ① | | 8178 | 2006-東京-S002 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて | 2006/4/7 | ① | | 8178 | 2006-東京-S002 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて | 2006/4/7 | ① | | |
| 8210 | 2006-東京-S005 | 福島第一3号 | 原子炉建屋主蒸気隔離弁室における水漏れについて | 2006/4/27 | ① | | 8210 | 2006-東京-S005 | 福島第一3号 | 原子炉建屋主蒸気隔離弁室における水漏れについて | 2006/4/27 | ① | | 8210 | 2006-東京-S005 | 福島第一3号 | 原子炉建屋主蒸気隔離弁室における水漏れについて | 2006/4/27 | ① | | |
| 8213 | 2006-東京-S007 | 福島第一3号 | 原子炉建屋における水漏れ | 2006/5/7 | ① | | 8213 | 2006-東京-S007 | 福島第一3号 | 原子炉建屋における水漏れ | 2006/5/7 | ① | | 8213 | 2006-東京-S007 | 福島第一3号 | 原子炉建屋における水漏れ | 2006/5/7 | ① | | |
| 8224 | 2006-東京-M005 | 福島第二4号 | 相分離母線ダクト部からの油滴下に伴う原子炉手動停止について | 2006/5/15 | ② | | 8224 | 2006-東京-M005 | 福島第二4号 | 相分離母線ダクト部からの油滴下に伴う原子炉手動停止について | 2006/5/15 | ② | | 8224 | 2006-東京-M005 | 福島第二4号 | 相分離母線ダクト部からの油滴下に伴う原子炉手動停止について | 2006/5/15 | ② | | |
| 8242 | 2006-東京-M007 | 福島第一6号 | MS系弁間ドレン弁グラウンド部からの漏えい | 2006/5/22 | ② | | 8242 | 2006-東京-M007 | 福島第一6号 | MS系弁間ドレン弁グラウンド部からの漏えい | 2006/5/22 | ② | | 8242 | 2006-東京-M007 | 福島第一6号 | MS系弁間ドレン弁グラウンド部からの漏えい | 2006/5/22 | ② | | |
| 8295 | 2006-北陸-S001 | 志賀1号 | 低圧復水ポンプA号機電動機上部軸受潤滑油への水混入について | 2006/5/25 | ② | | 8295 | 2006-北陸-S001 | 志賀1号 | 低圧復水ポンプA号機電動機上部軸受潤滑油への水混入について | 2006/5/25 | ② | | 8295 | 2006-北陸-S001 | 志賀1号 | 低圧復水ポンプA号機電動機上部軸受潤滑油への水混入について | 2006/5/25 | ② | | |
| 8308 | 2006-東京-S017 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/6/20 | ② | | 8308 | 2006-東京-S017 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/6/20 | ② | | 8308 | 2006-東京-S017 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋における水漏れについて | 2006/6/20 | ② | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|
| 8313 | 2006-東京-S019 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における重油漏れについて | 2006/6/23 | ② |
| 8346 | 2006-東京-S024 | 福島第二1号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/7/16 | ② |
| 8341 | 2006-東京-S023 | 福島第一6号 | 所内ボイラ室における火災警報の発生ならびに非放射性の水の漏えい | 2006/7/16 | ① |
| 8348 | 2006-東京-S025 | 福島第二1号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/7/23 | ① |
| 8376 | 2006-東北-T009 | 女川2号 | 原子炉建屋地下3階トールラス室における漏えいについて | 2006/8/3 | ① |
| 8379 | 2006-東京-S028 | 福島第一4号 | 福島第一原子力発電所4号機廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2006/8/8 | ① |
| 8388 | 2006-東京-S029 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋内での水漏れについて | 2006/8/15 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|----------------------------------|-----------|----|
| 8313 | 2006-東京-S019 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における重油漏れについて | 2006/6/23 | ② |
| 8346 | 2006-東京-S024 | 福島第二1号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/7/16 | ② |
| 8341 | 2006-東京-S023 | 福島第一6号 | 所内ボイラ室における火災警報の発生ならびに非放射性の水の漏えい | 2006/7/16 | ① |
| 8348 | 2006-東京-S025 | 福島第二1号 | 原子炉建屋における水漏れについて | 2006/7/23 | ① |
| 8376 | 2006-東北-T009 | 女川2号 | 原子炉建屋地下3階トールラス室における漏えいについて | 2006/8/3 | ① |
| 8379 | 2006-東京-S028 | 福島第一4号 | 福島第一原子力発電所4号機廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2006/8/8 | ① |
| 8388 | 2006-東京-S029 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋内での水漏れについて | 2006/8/15 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 8404 | 2006-東京-S030 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2006/8/17 | ① |
| 8409 | 2006-東京-M023 | 福島第二-1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて | 2006/8/21 | ② |
| 8408 | 2006-東京-S034 | 福島第一-5号 | 原子炉建屋地下階における水漏れについて | 2006/8/24 | ② |
| 8484 | 2006-東北-S034 | 女川2号 | 残留熱除去系(A)流量制限逆止弁端子ボックス内の油たまりについて | 2006/9/2 | ② |
| 8423 | 2006-東京-M027 | 福島第二-3号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて | 2006/9/10 | ② |
| 8430 | 2006-東京-S038 | 福島第一-5号 | 福島第一原子力発電所5号機タービン建屋内における非放射性的の水漏れについて | 2006/9/14 | ① ② |
| 8450 | 2006-東京-M030 | 福島第一-2号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2006/9/26 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|---------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 8404 | 2006-東京-S030 | 福島第一-5号 | 原子炉格納容器内における水漏れについて | 2006/8/17 | ① |
| 8409 | 2006-東京-M023 | 福島第二-1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて | 2006/8/21 | ② |
| 8408 | 2006-東京-S034 | 福島第一-5号 | 原子炉建屋地下階における水漏れについて | 2006/8/24 | ② |
| 8484 | 2006-東北-S034 | 女川2号 | 残留熱除去系(A)流量制限逆止弁端子ボックス内の油たまりについて | 2006/9/2 | ② |
| 8423 | 2006-東京-M027 | 福島第二-3号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて | 2006/9/10 | ② |
| 8430 | 2006-東京-S038 | 福島第一-5号 | 福島第一原子力発電所5号機タービン建屋内における非放射性的の水漏れについて | 2006/9/14 | ① ② |
| 8450 | 2006-東京-M030 | 福島第一-2号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2006/9/26 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 8480 | 2006-中部-S016 | 浜岡3号 | 3号機 所内蒸気の漏えいによる自動火災報知設備の作動(非火災報)について | 2006/10/12 | ② |
| 8542 | 2006-中国-M001 | 島根2号 | 主蒸気圧力検出器の点検について | 2006/10/13 | ② |
| 8506 | 2006-東京-S050 | 福島第二1,2号 | 福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2006/11/2 | ① |
| 8575 | 2006-東京-S052 | 福島第一2号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2006/11/6 | ① |
| 8547 | 2006-東京-S053 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉建屋付属棟内(非管理区域)における水道水漏れについて | 2006/11/16 | ② |
| 8545 | 2006-東京-S055 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機サービズ建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2006/11/18 | ② |
| 8589 | 2006-中部-S017 | 浜岡1号 | 1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて | 2006/11/20 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 8480 | 2006-中部-S016 | 浜岡3号 | 3号機 所内蒸気の漏えいによる自動火災報知設備の作動(非火災報)について | 2006/10/12 | ② |
| 8542 | 2006-中国-M001 | 島根2号 | 主蒸気圧力検出器の点検について | 2006/10/13 | ② |
| 8506 | 2006-東京-S050 | 福島第二1,2号 | 福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて | 2006/11/2 | ① |
| 8575 | 2006-東京-S052 | 福島第一2号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2006/11/6 | ① |
| 8547 | 2006-東京-S053 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉建屋付属棟内(非管理区域)における水道水漏れについて | 2006/11/16 | ② |
| 8545 | 2006-東京-S055 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機サービズ建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2006/11/18 | ② |
| 8589 | 2006-中部-S017 | 浜岡1号 | 1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて | 2006/11/20 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 8555 | 2006-東京-S057 | 柏崎刈羽5号 | 定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ | 2006/11/25 | ② |
| 8607 | 2006-東北-S054 | 女川1号 | 制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて | 2006/12/5 | ② |
| 8608 | 2006-東北-S055 | 女川2号 | 起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて | 2006/12/5 | ① |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて | 2007/2/21 | ① |
| 8612 | 2006-東京-M040 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて | 2007/1/16 | ② |
| 8631 | 2006-東京-S072 | 福島第二3,4号 | 廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて | 2007/2/4 | ② |
| 9027 | 2006-東北-S087 | 東通1号 | 復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について | 2007/2/7 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 8555 | 2006-東京-S057 | 柏崎刈羽5号 | 定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ | 2006/11/25 | ② |
| 8607 | 2006-東北-S054 | 女川1号 | 制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて | 2006/12/5 | ② |
| 8608 | 2006-東北-S055 | 女川2号 | 起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて | 2006/12/5 | ① |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて | 2007/2/21 | ① |
| 8612 | 2006-東京-M040 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて | 2007/1/16 | ② |
| 8631 | 2006-東京-S072 | 福島第二3,4号 | 廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて | 2007/2/4 | ② |
| 9027 | 2006-東北-S087 | 東通1号 | 復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について | 2007/2/7 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 8555 | 2006-東京-S057 | 柏崎刈羽5号 | 定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ | 2006/11/25 | ② |
| 8607 | 2006-東北-S054 | 女川1号 | 制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて | 2006/12/5 | ② |
| 8608 | 2006-東北-S055 | 女川2号 | 起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて | 2006/12/5 | ① |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて | 2007/2/21 | ① |
| 8612 | 2006-東京-M040 | 福島第二1号 | 原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて | 2007/1/16 | ② |
| 8631 | 2006-東京-S072 | 福島第二3,4号 | 廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて | 2007/2/4 | ② |
| 9027 | 2006-東北-S087 | 東通1号 | 復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について | 2007/2/7 | ① |

| 備考 |
|----|
| |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 8661 | 2006-中部-M017 | 浜岡4号 | 4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について | 2007/2/9 | ② |
| 8655 | 2006-東京-S078 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋における水漏れ | 2007/2/16 | ① |
| 8919 | 2006-東北-S093 | 女川1号 | タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について | 2007/2/20 | ② |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて | 2007/2/21 | ② |
| 8673 | 2006-東京-M049 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について | 2007/2/21 | ④ |
| 8683 | 2006-東京-S080 | 柏崎刈羽2号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2007/2/23 | - |
| 8920 | 2006-東北-S099 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて | 2007/2/27 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 8661 | 2006-中部-M017 | 浜岡4号 | 4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について | 2007/2/9 | ② |
| 8655 | 2006-東京-S078 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋における水漏れ | 2007/2/16 | ① |
| 8919 | 2006-東北-S093 | 女川1号 | タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について | 2007/2/20 | ② |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて | 2007/2/21 | ② |
| 8673 | 2006-東京-M049 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について | 2007/2/21 | ④ |
| 8683 | 2006-東京-S080 | 柏崎刈羽2号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2007/2/23 | - |
| 8920 | 2006-東北-S099 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて | 2007/2/27 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 8661 | 2006-中部-M017 | 浜岡4号 | 4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について | 2007/2/9 | ② |
| 8655 | 2006-東京-S078 | 福島第一5号 | 廃棄物処理建屋における水漏れ | 2007/2/16 | ① |
| 8919 | 2006-東北-S093 | 女川1号 | タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について | 2007/2/20 | ② |
| 8805 | 2006-原電-M024 | 東海第二 | タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて | 2007/2/21 | ② |
| 8673 | 2006-東京-M049 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について | 2007/2/21 | ④ |
| 8683 | 2006-東京-S080 | 柏崎刈羽2号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2007/2/23 | - |
| 8920 | 2006-東北-S099 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて | 2007/2/27 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|-----------------------------------|-----------|----|
| 9201 | 2006-東北-S104 | 女川3号 | 残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて | 2007/3/3 | ② |
| 8701 | 2006-東京-M050 | 福島第一1号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況 | 2007/3/5 | ② |
| 8754 | 2006-北陸-S006 | 志賀1号 | 使用済燃料貯蔵プールからの水飛散について | 2007/3/25 | ③ |
| 8771 | 2006-北陸-S009 | 志賀2号 | 原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について | 2007/3/30 | ① |
| 8774 | 2006-中部-M022 | 浜岡3号 | 3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について | 2007/3/31 | ② |
| 8932 | 2007-東北-S005 | 女川1号 | ドライウェル機器ドレンサンポンプ(A)軸封部からの水の飛散について | 2007/4/9 | ① |
| 8782 | 2007-東京-S003 | 福島第一4号 | タービン建屋内における油漏れについて | 2007/4/9 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|-----------------------------------|-----------|----|
| 9201 | 2006-東北-S104 | 女川3号 | 残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて | 2007/3/3 | ② |
| 8701 | 2006-東京-M050 | 福島第一1号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況 | 2007/3/5 | ② |
| 8754 | 2006-北陸-S006 | 志賀1号 | 使用済燃料貯蔵プールからの水飛散について | 2007/3/25 | ③ |
| 8771 | 2006-北陸-S009 | 志賀2号 | 原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について | 2007/3/30 | ① |
| 8774 | 2006-中部-M022 | 浜岡3号 | 3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について | 2007/3/31 | ② |
| 8932 | 2007-東北-S005 | 女川1号 | ドライウェル機器ドレンサンポンプ(A)軸封部からの水の飛散について | 2007/4/9 | ① |
| 8782 | 2007-東京-S003 | 福島第一4号 | タービン建屋内における油漏れについて | 2007/4/9 | ① |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 8933 | 2007-東北-S006 | 女川 | 原子炉補機冷却海水系ドレン弁から下流側配管への海水の微少なしみ出しについて | 2007/4/10 | ② |
| 8934 | 2007-東北-S007 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系入口計器元弁軸封部からの海水の滴下について | 2007/4/11 | ② |
| 8781 | 2007-東京-S004 | 福島第二3号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2007/4/11 | ① |
| 8930 | 2007-東北-S010 | 女川1号 | 復水器過脱塩塔(E)プリコート入口弁の軸封部からの水の滴下について | 2007/4/16 | ② |
| 8929 | 2007-東北-S009 | 女川1号 | 機器ドレン系密封ファンネルからの水の漏えいについて | 2007/4/16 | ② |
| 8926 | 2007-東北-S011 | 女川1号 | 原子炉給水ポンプ吸込弁の軸封部からの水の滴下について | 2007/4/17 | ② |
| 8796 | 2007-東京-M005 | 柏崎刈羽6号 | 6号機タービン建屋内での水漏れについて | 2007/4/25 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 8933 | 2007-東北-S006 | 女川 | 原子炉補機冷却海水系ドレン弁から下流側配管への海水の微少なしみ出しについて | 2007/4/10 | ② |
| 8934 | 2007-東北-S007 | 女川1号 | 原子炉補機冷却海水系入口計器元弁軸封部からの海水の滴下について | 2007/4/11 | ② |
| 8781 | 2007-東京-S004 | 福島第二3号 | 原子炉建屋内における水漏れについて | 2007/4/11 | ① |
| 8930 | 2007-東北-S010 | 女川1号 | 復水器過脱塩塔(E)プリコート入口弁の軸封部からの水の滴下について | 2007/4/16 | ② |
| 8929 | 2007-東北-S009 | 女川1号 | 機器ドレン系密封ファンネルからの水の漏えいについて | 2007/4/16 | ② |
| 8926 | 2007-東北-S011 | 女川1号 | 原子炉給水ポンプ吸込弁の軸封部からの水の滴下について | 2007/4/17 | ② |
| 8796 | 2007-東京-M005 | 柏崎刈羽6号 | 6号機タービン建屋内での水漏れについて | 2007/4/25 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|----------|-----------------------------------|-----------|--------|
| 8808 | 2007-東京-S013 | 福島第二3,4号 | 3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて | 2007/4/26 | ② |
| 8807 | 2007-東京-S014 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2007/4/26 | ① |
| プレス リリース | — | 女川3号 | 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて | 2007/5/11 | ② |
| 8822 | 2007-東京-S017 | 福島第一6号 | 屋外における非放射性的の水漏れについて | 2007/5/15 | ① |
| 8824 | 2007-東京-M007 | 福島第一1号 | 使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱 | 2007/5/17 | ① |
| 8840 | 2007-中部-M003 | 浜岡4号 | 4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について | 2007/5/21 | ② |
| 8866 | 2007-東京-S020 | 福島第一3号 | 廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2007/5/30 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|----------|-----------------------------------|-----------|--------|
| 8808 | 2007-東京-S013 | 福島第二3,4号 | 3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて | 2007/4/26 | ② |
| 8807 | 2007-東京-S014 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2007/4/26 | ① |
| プレス リリース | — | 女川3号 | 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて | 2007/5/11 | ② |
| 8822 | 2007-東京-S017 | 福島第一6号 | 屋外における非放射性的の水漏れについて | 2007/5/15 | ① |
| 8824 | 2007-東京-M007 | 福島第一1号 | 使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱 | 2007/5/17 | ① |
| 8840 | 2007-中部-M003 | 浜岡4号 | 4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について | 2007/5/21 | ② |
| 8866 | 2007-東京-S020 | 福島第一3号 | 廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2007/5/30 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|----------|-----------------------------------|-----------|--------|
| 8808 | 2007-東京-S013 | 福島第二3,4号 | 3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて | 2007/4/26 | ② |
| 8807 | 2007-東京-S014 | 福島第二3号 | タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について | 2007/4/26 | ① |
| プレス リリース | — | 女川3号 | 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて | 2007/5/11 | ② |
| 8822 | 2007-東京-S017 | 福島第一6号 | 屋外における非放射性的の水漏れについて | 2007/5/15 | ① |
| 8824 | 2007-東京-M007 | 福島第一1号 | 使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱 | 2007/5/17 | ① |
| 8840 | 2007-中部-M003 | 浜岡4号 | 4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について | 2007/5/21 | ② |
| 8866 | 2007-東京-S020 | 福島第一3号 | 廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2007/5/30 | ① |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|------------------------------------|-----------|----|
| 8956 | 2007-東京-S024 | 柏崎刈羽6号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて | 2007/6/13 | ① |
| 8957 | 2007-東京-M014 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機の原子炉手動停止について | 2007/6/14 | ② |
| 8996 | 2007-東京-S027 | 柏崎刈羽6号 | 定期検査中における原子炉建屋内での水漏れ | 2007/6/19 | ① |
| 9168 | 2007-東北-S033 | 女川3号 | 原子炉格納容器内での水漏れについて | 2007/6/26 | ① |
| 9209 | 2007-東北-S037 | 女川3号 | 残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて | 2007/7/3 | ① |
| 9121 | 2007-東京-S030 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中環境施設内における非放射性の水漏れについて | 2007/7/6 | ② |
| 9123 | 2007-東京-S031 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機屋外における消火栓配管からの水漏れについて | 2007/7/9 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|------------------------------------|-----------|----|
| 8956 | 2007-東京-S024 | 柏崎刈羽6号 | 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて | 2007/6/13 | ① |
| 8957 | 2007-東京-M014 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機の原子炉手動停止について | 2007/6/14 | ② |
| 8996 | 2007-東京-S027 | 柏崎刈羽6号 | 定期検査中における原子炉建屋内での水漏れ | 2007/6/19 | ① |
| 9168 | 2007-東北-S033 | 女川3号 | 原子炉格納容器内での水漏れについて | 2007/6/26 | ① |
| 9209 | 2007-東北-S037 | 女川3号 | 残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて | 2007/7/3 | ① |
| 9121 | 2007-東京-S030 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中環境施設内における非放射性の水漏れについて | 2007/7/6 | ② |
| 9123 | 2007-東京-S031 | 福島第一6号 | 福島第一原子力発電所6号機屋外における消火栓配管からの水漏れについて | 2007/7/9 | ① |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------------------|--|-----------|----|--|----------------------|--------------|--------------------|--|-----------|----|-------------|--------------|--------------------|--|-----------|----|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 9129 | 2007-東京-S032 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉建屋付属棟(非管理区域)における換気空調機器結露水の溢水について | 2007/7/11 | ② | | 9129 | 2007-東京-S032 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉建屋付属棟(非管理区域)における換気空調機器結露水の溢水について | 2007/7/11 | ② | 9129 | 2007-東京-S032 | 柏崎刈羽5号 | 原子炉建屋付属棟(非管理区域)における換気空調機器結露水の溢水について | 2007/7/11 | ② | | | |
| 10030 | 2007-東京-M027 | 柏崎刈羽2号 | 【新潟県中越沖地震】タービン建屋原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン主油タンク(B)タンク室床に油たまり | 2007/7/16 | ③ | | 10030 | 2007-東京-M027 | 柏崎刈羽2号 | 【新潟県中越沖地震】タービン建屋原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン主油タンク(B)タンク室床に油たまり | 2007/7/16 | ③ | 10030 | 2007-東京-M027 | 柏崎刈羽2号 | 【新潟県中越沖地震】タービン建屋原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン主油タンク(B)タンク室床に油たまり | 2007/7/16 | ③ | | | |
| 10002 | 2007-東京-M025 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい | 2007/7/16 | ③ | | 10002 | 2007-東京-M025 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい | 2007/7/16 | ③ | 10002 | 2007-東京-M025 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい | 2007/7/16 | ③ | | | |
| 9134 | 2007-東京-T035 | 柏崎刈羽6号 | 【新潟県中越沖地震】6号機の放射性物質の漏えいについて | 2007/7/16 | ③ | | 9134 | 2007-東京-T035 | 柏崎刈羽6号 | 【新潟県中越沖地震】6号機の放射性物質の漏えいについて | 2007/7/16 | ③ | 9134 | 2007-東京-T035 | 柏崎刈羽6号 | 【新潟県中越沖地震】6号機の放射性物質の漏えいについて | 2007/7/16 | ③ | | | |
| 9150 | 2007-東京-T031 | 柏崎刈羽1,2,3,4,5,6,7号 | 【新潟県中越沖地震】1~7号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける溢水 | 2007/7/16 | ③ | | 9150 | 2007-東京-T031 | 柏崎刈羽1,2,3,4,5,6,7号 | 【新潟県中越沖地震】1~7号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける溢水 | 2007/7/16 | ③ | 9150 | 2007-東京-T031 | 柏崎刈羽1,2,3,4,5,6,7号 | 【新潟県中越沖地震】1~7号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける溢水 | 2007/7/16 | ③ | | | |
| 10029 | 2007-東京-M026 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】消火設備配管の損傷について | 2007/7/16 | ③ | | 10029 | 2007-東京-M026 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】消火設備配管の損傷について | 2007/7/16 | ③ | 10029 | 2007-東京-M026 | 柏崎刈羽1号 | 【新潟県中越沖地震】消火設備配管の損傷について | 2007/7/16 | ③ | | | |
| 9260 | 2007-東京-M022 | 柏崎刈羽1,2,3号 | 【新潟県中越沖地震】1~3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について | 2007/7/16 | ③ | | 9260 | 2007-東京-M022 | 柏崎刈羽1,2,3号 | 【新潟県中越沖地震】1~3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について | 2007/7/16 | ③ | 9260 | 2007-東京-M022 | 柏崎刈羽1,2,3号 | 【新潟県中越沖地震】1~3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について | 2007/7/16 | ③ | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|------------------------------|---|-----------|-------------|
| 10066 | 2007-東京-M033 | 柏崎刈羽 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号 | 新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所で発生した不適合事象 (Bグレード以上 80件) について | 2007/7/16 | ② ③ ⑤ |
| 9149 | 2007-東京-S036 | 福島第一 4号 | 廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2007/7/25 | ① ② |
| 9156 | 2007-東京-S037 | 福島第二 3号 | 福島第二原子力発電所 3号機原子炉建屋付属棟における油漏れについて | 2007/7/27 | ② |
| 9161 | 2007-東京-S039 | 福島第二 2号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2007/7/30 | ① ② |
| 9172 | 2007-東京-S040 | 福島第二 2号 | 福島第二原子力発電所 2号機 屋外軽油タンクの防油堤内における油漏れについて | 2007/8/2 | ② |
| 9378 | 2007-東北-S054 | 女川 3号 | 原子炉再循環系の水張り時における冷却水の溢水について | 2007/8/7 | ① |
| 9195 | 2007-東京-S044 | 福島第二 2号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機における原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2007/8/16 | ① ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|---------------------------|---|-----------|-------------|
| 9260 | 2007-東京-M022 | 柏崎刈羽 1, 2, 3号 | 【新潟県中越沖地震】 1～3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について | 2007/7/16 | ③ |
| 10066 | 2007-東京-M033 | 柏崎刈羽 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号 | 新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所で発生した不適合事象 (Bグレード以上 80件) について | 2007/7/16 | ② ③ ⑤ |
| 9149 | 2007-東京-S036 | 福島第一 4号 | 廃棄物処理建屋における水漏れについて | 2007/7/25 | ① ② |
| 9156 | 2007-東京-S037 | 福島第二 3号 | 福島第二原子力発電所 3号機原子炉建屋付属棟における油漏れについて | 2007/7/27 | ② |
| 9161 | 2007-東京-S039 | 福島第二 2号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について | 2007/7/30 | ① ② |
| 9172 | 2007-東京-S040 | 福島第二 2号 | 福島第二原子力発電所 2号機 屋外軽油タンクの防油堤内における油漏れについて | 2007/8/2 | ② |
| 9378 | 2007-東北-S054 | 女川 3号 | 原子炉再循環系の水張り時における冷却水の溢水について | 2007/8/7 | ① |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|----------|--|-----------|----|
| 9218 | 2007-東京-S047 | 福島第二1,2号 | 廃棄物処理建屋内の低電導度廃液系収集ポンプ(B)室における水漏れについて | 2007/8/21 | ② |
| 9291 | 2007-原電-M008 | 東海第二 | 高圧炉心スプレイスライダージェル発電機 冷却水系圧力スイッチ元弁付近からの水の漏えいについて | 2007/9/4 | ② |
| 9284 | 2007-東京-S060 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉複合建屋(非管理区域)における潤滑油漏れ | 2007/9/10 | ② |
| 8919 | 2006-東北-S093 | 女川1号 | タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について | 2007/2/20 | ② |
| プレス リリース | — | 東海第二 | 高圧復水ポンプ(A)ケーシングの空気抜き配管の取替えについて | 2007/9/23 | ② |
| 9338 | 2007-東京-M054 | 福島第一3号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2007/9/26 | ② |
| 9339 | 2007-東京-S067 | 福島第二1号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンピットへの水の流入について | 2007/9/27 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|----------|---|-----------|--------|
| 9195 | 2007-東京-S044 | 福島第二2号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所2号機における原子炉建屋低電導度廃液サンピットへの水の流入について | 2007/8/16 | ① ② |
| 9218 | 2007-東京-S047 | 福島第二1,2号 | 廃棄物処理建屋内の低電導度廃液系収集ポンプ(B)室における水漏れについて | 2007/8/21 | ② |
| 9291 | 2007-原電-M008 | 東海第二 | 高圧炉心スプレイスライダージェル発電機 冷却水系圧力スイッチ元弁付近からの水の漏えいについて | 2007/9/4 | ② |
| 9284 | 2007-東京-S060 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉複合建屋(非管理区域)における潤滑油漏れ | 2007/9/10 | ② |
| 8919 | 2006-東北-S093 | 女川1号 | タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について | 2007/2/20 | ② |
| プレス リリース | — | 東海第二 | 高圧復水ポンプ(A)ケーシングの空気抜き配管の取替えについて | 2007/9/23 | ② |
| 9338 | 2007-東京-M054 | 福島第一3号 | 給水加熱器ドレンポンプの点検状況について | 2007/9/26 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|--|------------|--------|--|----------------------|--------------|--------|--|------------|--------|--|--------------|--------------|--------|--|------------|--------|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | |
| 9349 | 2007-東京-S070 | 福島第一1号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について | 2007/10/2 | ① ② | | 9339 | 2007-東京-S067 | 福島第二1号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンプルへの水の流入について | 2007/9/27 | ① | | 9339 | 2007-東京-S067 | 福島第二1号 | 定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンプルへの水の流入について | 2007/9/27 | ① | | |
| 9353 | 2007-東京-S072 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について | 2007/10/5 | ③ | | 9349 | 2007-東京-S070 | 福島第一1号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について | 2007/10/2 | ① ② | | 9349 | 2007-東京-S070 | 福島第一1号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について | 2007/10/2 | ① ② | | |
| 9357 | 2007-東京-M056 | 柏崎刈羽7号 | 【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について | 2007/10/8 | ② | | 9353 | 2007-東京-S072 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について | 2007/10/5 | ③ | | 9353 | 2007-東京-S072 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について | 2007/10/5 | ③ | | |
| 9452 | 2007-東北-S065 | 女川3号 | 女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について | 2007/10/9 | ② | | 9357 | 2007-東京-M056 | 柏崎刈羽7号 | 【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について | 2007/10/8 | ② | | 9357 | 2007-東京-M056 | 柏崎刈羽7号 | 【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について | 2007/10/8 | ② | | |
| 9369 | 2007-東京-S075 | 福島第一1号 | タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて | 2007/10/10 | ① | | 9452 | 2007-東北-S065 | 女川3号 | 女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について | 2007/10/9 | ② | | 9452 | 2007-東北-S065 | 女川3号 | 女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について | 2007/10/9 | ② | | |
| 9374 | 2007-東京-S077 | 福島第一6号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて | 2007/10/11 | ① | | 9369 | 2007-東京-S075 | 福島第一1号 | タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて | 2007/10/10 | ① | | 9369 | 2007-東京-S075 | 福島第一1号 | タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて | 2007/10/10 | ① | | |
| 9448 | 2007-東北-S067 | 女川2号 | 女川原子力発電所第2号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について | 2007/10/12 | ② | | 9374 | 2007-東京-S077 | 福島第一6号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて | 2007/10/11 | ① | | 9374 | 2007-東京-S077 | 福島第一6号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて | 2007/10/11 | ① | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|----------|--|------------|----|
| 9411 | 2007-東京-M060 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れ | 2007/10/25 | ① |
| 9442 | 2007-北陸-M004 | 志賀1号 | 固体廃棄物貯蔵庫におけるドラム缶からの析出物 確認について | 2007/10/30 | ② |
| 9431 | 2007-東京-S084 | 福島第二1,2号 | 1・2号機廃棄物処理建屋内の洗濯廃液収集タンク (A・B)室における水漏れについて | 2007/11/1 | ② |
| 9427 | 2007-東京-S086 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋内における 水漏れについて | 2007/11/3 | ① |
| 9459 | 2007-東京-S092 | 福島第一3号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所3号機原子炉格 納容器内における水漏れについて | 2007/11/19 | ① |
| 9470 | 2007-東京-S096 | 福島第一6号 | 定期検査中の原子炉建屋内における水漏れ | 2007/11/22 | ① |
| 9548 | 2007-東北-S089 | 女川2号 | 換気空調補機非常用冷却水系弁からのにじみにつ いて | 2007/12/25 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|--------------|--------------|----------|---|------------|----|
| 9448 | 2007-東北-S067 | 女川2号 | 女川原子力発電所第2号機制御棒駆動水圧系水圧 制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下につ いて | 2007/10/12 | ② |
| 9411 | 2007-東京-M060 | 福島第一6号 | 原子炉建屋内における水漏れ | 2007/10/25 | ① |
| 9442 | 2007-北陸-M004 | 志賀1号 | 固体廃棄物貯蔵庫におけるドラム缶からの析出物 確認について | 2007/10/30 | ② |
| 9431 | 2007-東京-S084 | 福島第二1,2号 | 1・2号機廃棄物処理建屋内の洗濯廃液収集タンク (A・B)室における水漏れについて | 2007/11/1 | ② |
| 9427 | 2007-東京-S086 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋内におけ る水漏れについて | 2007/11/3 | ① |
| 9459 | 2007-東京-S092 | 福島第一3号 | 定期検査中の福島第一原子力発電所3号機原子炉 格納容器内における水漏れについて | 2007/11/19 | ① |
| 9470 | 2007-東京-S096 | 福島第一6号 | 定期検査中の原子炉建屋内における水漏れ | 2007/11/22 | ① |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 9536 | 2007-中部-S013 | 浜岡2号 | 原子炉建屋1階における水の漏えいについて | 2008/1/4 | ② |
| 9550 | 2007-東京-M077 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋発電機下部における油漏れについて | 2008/1/16 | ① |
| 9563 | 2007-東京-M079 | 柏崎刈羽2号 | 2号機・3号機間の地下連絡通路内(管理区域)における水漏れについて | 2008/1/28 | ② |
| 9628 | 2007-東北-S102 | 女川1号 | 原子炉建屋サンプリングラック室内における原子炉水の漏えいについて | 2008/2/15 | ① ② |
| 9669 | 2007-東京-S127 | 福島第二4号 | 定期検査中の4号機タービン建屋における油漏れの確認について | 2008/3/31 | ① |
| 9682 | 2008-東京-S003 | 柏崎刈羽6号 | 原子炉建屋(非管理区域)における非常用ディーゼル発電機からの油漏れについて | 2008/4/4 | ② |
| 東北 提供情報 | — | 東通1号 | 主タービン油冷却器(A)フランジからの漏えい | 2008/4/19 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---------------------------------------|------------|--------|
| 9548 | 2007-東北-S089 | 女川2号 | 換気空調補機非常用冷却水系弁からのにじみについて | 2007/12/25 | ② |
| 9536 | 2007-中部-S013 | 浜岡2号 | 原子炉建屋1階における水の漏えいについて | 2008/1/4 | ② |
| 9550 | 2007-東京-M077 | 柏崎刈羽7号 | タービン建屋発電機下部における油漏れについて | 2008/1/16 | ① |
| 9563 | 2007-東京-M079 | 柏崎刈羽2号 | 2号機・3号機間の地下連絡通路内(管理区域)における水漏れについて | 2008/1/28 | ② |
| 9628 | 2007-東北-S102 | 女川1号 | 原子炉建屋サンプリングラック室内における原子炉水の漏えいについて | 2008/2/15 | ① ② |
| 9669 | 2007-東京-S127 | 福島第二4号 | 定期検査中の4号機タービン建屋における油漏れの確認について | 2008/3/31 | ① |
| 9682 | 2008-東京-S003 | 柏崎刈羽6号 | 原子炉建屋(非管理区域)における非常用ディーゼル発電機からの油漏れについて | 2008/4/4 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 10846 | 2008-東京-M002 | 柏崎刈羽1号 | 改造工事中の洗濯廃液系主配管での漏えいの原因と対策について | 2008/4/24 | ② |
| 9731 | 2008-北陸-M003 | 志賀1号 | 残留熱除去系からの水漏れについて | 2008/4/25 | ① |
| 9824 | 2008-東京-M004 | 福島第一4号 | 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2008/5/7 | ② |
| 9765 | 2008-東京-S007 | 福島第一2号 | 定期検査中のタービン建屋内における水漏れについて | 2008/5/8 | ② |
| 9774 | 2008-東京-S008 | 柏崎刈羽7号 | 軽油タンク(B)における油漏れについて | 2008/5/19 | ① |
| 9788 | 2008-東京-T007 | 福島第一5号 | 起動操作中の5号機高圧注水系と原子炉隔離時冷却系不具合による手動停止について | 2008/5/25 | ① |
| 9848 | 2008-東北-S018 | 東通1号 | タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について | 2008/5/26 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 東北 提供情報 | — | 東通1号 | 主タービン油冷却器(A)フランジからの漏えい | 2008/4/19 | ① |
| 10846 | 2008-東京-M002 | 柏崎刈羽1号 | 改造工事中の洗濯廃液系主配管での漏えいの原因と対策について | 2008/4/24 | ② |
| 9731 | 2008-北陸-M003 | 志賀1号 | 残留熱除去系からの水漏れについて | 2008/4/25 | ① |
| 9824 | 2008-東京-M004 | 福島第一4号 | 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2008/5/7 | ② |
| 9765 | 2008-東京-S007 | 福島第一2号 | 定期検査中のタービン建屋内における水漏れについて | 2008/5/8 | ② |
| 9774 | 2008-東京-S008 | 柏崎刈羽7号 | 軽油タンク(B)における油漏れについて | 2008/5/19 | ① |
| 9788 | 2008-東京-T007 | 福島第一5号 | 起動操作中の5号機高圧注水系と原子炉隔離時冷却系不具合による手動停止について | 2008/5/25 | ① |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|----------|---------------------------------|-----------|----|
| 9810 | 2008-北陸-S001 | 志賀1号 | 原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて | 2008/5/30 | ① |
| 9809 | 2008-東京-S012 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2008/6/4 | ① |
| 9827 | 2008-東京-M009 | 福島第二2,4号 | 岩手・宮城内陸地震の影響について | 2008/6/14 | ③ |
| 9873 | 2008-北陸-M005 | 志賀2号 | 燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について | 2008/6/17 | ② |
| 9874 | 2008-北陸-M006 | 志賀2号 | 発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて | 2008/6/23 | ② |
| 9884 | 2008-東京-S016 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋内における水漏れ(結露水)について | 2008/7/11 | ② |
| 9905 | 2008-中部-M011 | 浜岡5号 | タービン付建屋地下1階における水漏れについて | 2008/7/23 | ② |

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|----------|---------------------------------|-----------|----|
| 9848 | 2008-東北-S018 | 東通1号 | タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について | 2008/5/26 | ① |
| 9810 | 2008-北陸-S001 | 志賀1号 | 原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて | 2008/5/30 | ① |
| 9809 | 2008-東京-S012 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2008/6/4 | ① |
| 9827 | 2008-東京-M009 | 福島第二2,4号 | 岩手・宮城内陸地震の影響について | 2008/6/14 | ③ |
| 9873 | 2008-北陸-M005 | 志賀2号 | 燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について | 2008/6/17 | ② |
| 9874 | 2008-北陸-M006 | 志賀2号 | 発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて | 2008/6/23 | ② |
| 9884 | 2008-東京-S016 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋内における水漏れ(結露水)について | 2008/7/11 | ② |

| ニューシア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|---------|--------------|----------|---------------------------------|-----------|----|
| 9848 | 2008-東北-S018 | 東通1号 | タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について | 2008/5/26 | ① |
| 9810 | 2008-北陸-S001 | 志賀1号 | 原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて | 2008/5/30 | ① |
| 9809 | 2008-東京-S012 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2008/6/4 | ① |
| 9827 | 2008-東京-M009 | 福島第二2,4号 | 岩手・宮城内陸地震の影響について | 2008/6/14 | ③ |
| 9873 | 2008-北陸-M005 | 志賀2号 | 燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について | 2008/6/17 | ② |
| 9874 | 2008-北陸-M006 | 志賀2号 | 発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて | 2008/6/23 | ② |
| 9884 | 2008-東京-S016 | 柏崎刈羽6号 | タービン建屋内における水漏れ(結露水)について | 2008/7/11 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---|------------|--------|
| 9895 | 2008-東北-S043 | 女川3号 | 女川原子力発電所3号機サービス建屋における水たまりについて | 2008/7/24 | - |
| 9997 | 2008-東京-S024 | 柏崎刈羽3号 | 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2008/8/29 | ① |
| 10041 | 2008-東京-S032 | 柏崎刈羽1号 | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | 2008/10/27 | ⑤ |
| 10081 | 2008-原電-M032 | 東海第二 | 屋外硫酸貯蔵タンク堰内での漏えい事象について | 2008/11/9 | ② |
| 10101 | 2008-東京-S053 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機タービン建屋(管理区域)における堆積物の確認について | 2008/12/3 | ① |
| 10107 | 2008-東京-S041 | 柏崎刈羽2号 | 柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2008/12/14 | ① |
| 10160 | 2008-東北-S070 | 女川3号 | タービンバイパス弁用サーボ弁からの油にじみについて | 2009/1/15 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|--------|---|------------|--------|
| 9905 | 2008-中部-M011 | 浜岡5号 | タービン付属建屋地下1階における水漏れについて | 2008/7/23 | ② |
| 9895 | 2008-東北-S043 | 女川3号 | 女川原子力発電所3号機サービス建屋における水たまりについて | 2008/7/24 | - |
| 9997 | 2008-東京-S024 | 柏崎刈羽3号 | 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2008/8/29 | ① |
| 10041 | 2008-東京-S032 | 柏崎刈羽1号 | 海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について | 2008/10/27 | ⑤ |
| 10081 | 2008-原電-M032 | 東海第二 | 屋外硫酸貯蔵タンク堰内での漏えい事象について | 2008/11/9 | ② |
| 10101 | 2008-東京-S053 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機タービン建屋(管理区域)における堆積物の確認について | 2008/12/3 | ① |
| 10107 | 2008-東京-S041 | 柏崎刈羽2号 | 柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2008/12/14 | ① |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|------------------|---|-----------|--------|
| 10307 | 2009-東京-S003 | 福島第一 1, 2, 3, 4号 | 1~4号機側屋外重油移送配管における油漏れの発見 | 2009/4/10 | ② |
| 10309 | 2009-東京-S004 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における油のじみについて | 2009/4/15 | ① ② |
| 10345 | 2009-東京-M005 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2009/5/6 | ② |
| 10581 | 2009-東京-S009 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋内における水漏れについて | 2009/5/24 | ① |
| 10400 | 2009-東北-S019 | 女川2号 | 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットからの水の漏えいについて | 2009/5/25 | ② |
| 10362 | 2009-東京-M009 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機 原子炉格納容器スプレイ海水系からの海水漏れについて | 2009/5/27 | ② |
| 10363 | 2009-東京-S011 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉付属建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2009/5/28 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|------------------|--|-----------|--------|
| 10160 | 2008-東北-S070 | 女川3号 | タービンバイパス弁用サーボ弁からの油のじみについて | 2009/1/15 | ② |
| 10307 | 2009-東京-S003 | 福島第一 1, 2, 3, 4号 | 1~4号機側屋外重油移送配管における油漏れの発見 | 2009/4/10 | ② |
| 10309 | 2009-東京-S004 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における油のじみについて | 2009/4/15 | ① ② |
| 10345 | 2009-東京-M005 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2009/5/6 | ② |
| 10983 | 2010-東京-S004 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における潤滑油の漏れについて | 2010/5/26 | ① |
| 10581 | 2009-東京-S009 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋内における水漏れについて | 2009/5/24 | ① |
| 10400 | 2009-東北-S019 | 女川2号 | 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットからの水の漏えいについて | 2009/5/25 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---|-----------|--------|--|----------------------|--------------|--------|--|-----------|--------|-------------|--------------|--------|---|-----------|--------|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 10412 | 2009-東京-S012 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋地下における火災報知器の発報について | 2009/5/29 | ① | | 10362 | 2009-東京-M009 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機 原子炉格納容器スプレイ海水系からの海水漏れについて | 2009/5/27 | ② | 10363 | 2009-東京-S011 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉付属建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2009/5/28 | ① | | | |
| 10594 | 2009-東京-S013 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 高圧ヒータードレンポンプ(C)のモーターとポンプの軸結合部からの潤滑油のじみについて | 2009/6/2 | ② | | 10412 | 2009-東京-S012 | 福島第一2号 | 福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋地下における火災報知器の発報について | 2009/5/29 | ① | 10416 | 2009-東京-S019 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて | 2009/6/22 | ② | | | |
| 10567 | 2009-東京-S014 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 プラント全体の機能試験におけるタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)吐出弁からの漏えいについて | 2009/6/6 | ② | | 10594 | 2009-東京-S013 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 高圧ヒータードレンポンプ(C)のモーターとポンプの軸結合部からの潤滑油のじみについて | 2009/6/2 | ② | 10410 | 2009-東北-M003 | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機の発電機と励磁機の接合部不具合による原子炉停止について | 2009/6/11 | ① ② | | | |
| 10410 | 2009-東北-M003 | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機の発電機と励磁機の接合部不具合による原子炉停止について | 2009/6/11 | ① ② | | 10430 | 2009-東京-M013 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水の流入について | 2009/6/30 | ① ② | 10416 | 2009-東京-S019 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて | 2009/6/22 | ② | | | |
| 10416 | 2009-東京-S019 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて | 2009/6/22 | ② | | 10524 | 2009-北陸-M004 | 志賀2号 | タービン潤滑油の漏えいについて | 2009/7/16 | ① | | | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 10479 | 2009-東京-S023 | 福島第二4号 | 福島第二原子力発電所4号機 タービン建屋における油漏れについて | 2009/8/3 | ① |
| 10512 | 2009-東京-S024 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2009/8/10 | ① |
| 10624 | 2009-中部-S012 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクの水位低下について | 2009/8/17 | ② |
| 10552 | 2009-東京-S026 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機タービン建屋における油漏れについて | 2009/9/7 | ① ② |
| 10573 | 2009-東京-M027 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2009/9/15 | ② |
| 10574 | 2009-東京-S029 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中環境施設用の屋外重油配管における油漏れの発見について | 2009/9/17 | ① |
| 10600 | 2009-北陸-M008 | 志賀2号 | 原子炉格納容器内での溢水について | 2009/9/26 | ① |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|
| 10430 | 2009-東京-M013 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水の流入について | 2009/6/30 | ① ② |
| 10524 | 2009-北陸-M004 | 志賀2号 | タービン潤滑油の漏えいについて | 2009/7/16 | ① |
| 10479 | 2009-東京-S023 | 福島第二4号 | 福島第二原子力発電所4号機 タービン建屋における油漏れについて | 2009/8/3 | ① |
| 10512 | 2009-東京-S024 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2009/8/10 | ① |
| 10624 | 2009-中部-S012 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクの水位低下について | 2009/8/17 | ② |
| 10552 | 2009-東京-S026 | 福島第二1号 | 福島第二原子力発電所1号機タービン建屋における油漏れについて | 2009/9/7 | ① ② |
| 10573 | 2009-東京-M027 | 福島第一5号 | 福島第一原子力発電所5号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について | 2009/9/15 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|---|------------|--------|
| 10613 | 2009-東京-M029 | 福島第一 4号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2009/10/2 | ① |
| 10629 | 2009-中部-M024 | 浜岡3号 | タービン建屋内への海水の浸入について | 2009/10/8 | ⑤ |
| 10643 | 2009-東京-S034 | 福島第一 4号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2009/10/16 | ① |
| 10642 | 2009-東京-S035 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋(非管理区域) 残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて | 2009/10/17 | ② |
| 10689 | 2009-北陸-T011 | 志賀2号 | 志賀原子力発電所2号機の手動停止について | 2009/11/13 | ② |
| 10711 | 2009-北陸-M012 | 志賀2号 | 非常用ディーゼル発電機A号機の確認試験中におけるインジケータ弁からの潤滑油漏れについて | 2009/12/6 | ② |
| 10713 | 2009-東京-M038 | 福島第一 1号 | 福島第一原子力発電所1号機 主復水器の点検に伴う出力降下について | 2009/12/7 | ② |

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------|---|------------|--------|
| 10574 | 2009-東京-S029 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中環境施設用の屋外重油配管における油漏れの見について | 2009/9/17 | ① |
| 10600 | 2009-北陸-M008 | 志賀2号 | 原子炉格納容器内での溢水について | 2009/9/26 | ① |
| 10613 | 2009-東京-M029 | 福島第一 4号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2009/10/2 | ① |
| 10629 | 2009-中部-M024 | 浜岡3号 | タービン建屋内への海水の浸入について | 2009/10/8 | ⑤ |
| 10643 | 2009-東京-S034 | 福島第一 4号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2009/10/16 | ① |
| 10642 | 2009-東京-S035 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋(非管理区域) 残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて | 2009/10/17 | ② |
| 10689 | 2009-北陸-T011 | 志賀2号 | 志賀原子力発電所2号機の手動停止について | 2009/11/13 | ② |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|--------|---|-----------|--------|--|--|----------------------|--------------|--------|---|-----------|--------|--|--|--------------|--------------|--------|--------------------------------------|-----------|----|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 10851 | 2009-東京-M048 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機における廃棄物処理建屋内の水漏れについて | 2010/2/21 | ① ② | | | 10711 | 2009-北陸-M012 | 志賀2号 | 非常用ディーゼル発電機A号機の確認試験中におけるインジケータ弁からの潤滑油漏れについて | 2009/12/6 | ② | | | 10713 | 2009-東京-M038 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機主復水器の点検に伴う出力降下について | 2009/12/7 | ② | | | |
| 10875 | 2009-東北-S065 | 女川1号 | 制御棒駆動水圧系圧力制御ユニット内の弁からの水漏れ等について | 2010/2/23 | ① | | | 10851 | 2009-東京-M048 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所3号機における廃棄物処理建屋内の水漏れについて | 2010/2/21 | ① ② | | | 10875 | 2009-東北-S065 | 女川1号 | 制御棒駆動水圧系圧力制御ユニット内の弁からの水漏れ等について | 2010/2/23 | ① | | | |
| 10906 | 2009-中部-S022 | 浜岡3号 | サービス建屋地下一階での漏水について | 2010/3/1 | ② | | | 10906 | 2009-中部-S022 | 浜岡3号 | サービス建屋地下一階での漏水について | 2010/3/1 | ② | | | 10870 | 2009-東京-S049 | 福島第二2号 | 福島第二原子力発電所定期検査中の2号機タービン建屋における油漏れについて | 2010/3/8 | ① | | | |
| 10870 | 2009-東京-S049 | 福島第二2号 | 福島第二原子力発電所定期検査中の2号機タービン建屋における油漏れについて | 2010/3/8 | ① | | | 10878 | 2009-東京-S050 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所荒浜側重油タンク(屋外)付近からの重油漏れについて | 2010/3/10 | ② | | | 10878 | 2009-東京-S050 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所荒浜側重油タンク(屋外)付近からの重油漏れについて | 2010/3/10 | ② | | | |
| 10878 | 2009-東京-S050 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所荒浜側重油タンク(屋外)付近からの重油漏れについて | 2010/3/10 | ② | | | 10936 | 2010-東京-S002 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋(管理区域)における水漏れについて | 2010/4/26 | ① | | | | | | | | | | | |
| 10983 | 2010-東京-S004 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機タービン建屋(管理区域)における潤滑油の漏れについて | 2010/5/26 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|-----------|----|
| 10982 | 2010-東京-S005 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2010/5/27 | ① |
| 10981 | 2010-東京-S006 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋(非管理区域)における油漏れについて | 2010/5/28 | ① |
| 11062 | 2010-中国-S005 | 島根2号 | 原子炉補機海水系ドレン配管からの漏えいについて | 2010/6/28 | ② |
| 11046 | 2010-東京-S017 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機における原子炉自動スクラム(B系)警報の発生について | 2010/7/24 | ② |
| プレス リリース | — | 東海第二 | タービン建屋 所内ボイラ室における油漏えいについて | 2010/7/28 | ① |
| 11056 | 2010-東京-M009 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について | 2010/8/12 | ② |
| 11059 | 2010-北陸-M005 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内における水の漏えいについて | 2010/8/13 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 10936 | 2010-東京-S002 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 タービン建屋(管理区域)における水漏れについて | 2010/4/26 | ① |
| 10983 | 2010-東京-S004 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における潤滑油の漏れについて | 2010/5/26 | ① |
| 10982 | 2010-東京-S005 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて | 2010/5/27 | ① |
| 10981 | 2010-東京-S006 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋(非管理区域)における油漏れについて | 2010/5/28 | ① |
| 11062 | 2010-中国-S005 | 島根2号 | 原子炉補機海水系ドレン配管からの漏えいについて | 2010/6/28 | ② |
| 11046 | 2010-東京-S017 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機における原子炉自動スクラム(B系)警報の発生について | 2010/7/24 | ② |
| プレス リリース | — | 東海第二 | タービン建屋 所内ボイラ室における油漏えいについて | 2010/7/28 | ① |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|----|
| 11068 | 2010-東京-S022 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2010/8/24 | ① |
| 東北 提供情報 | — | 女川3号 | 復水系水張り時のサンブからの漏えいについて | 2010/9/14 | ① |
| 11157 | 2010-東北-S020 | 女川3号 | CRD系水圧制御ユニットアキユムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ | 2010/9/27 | ② |
| 11125 | 2010-中部-M010 | 浜岡2号 | タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて | 2010/9/28 | ② |
| 11130 | 2010-東京-S027 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて | 2010/10/20 | ② |
| 11142 | 2010-中部-M014 | 浜岡2号 | 原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて | 2010/10/29 | ② |
| 11195 | 2010-中部-S018 | 浜岡4号 | タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて | 2010/11/8 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|----|
| 11056 | 2010-東京-M009 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について | 2010/8/12 | ② |
| 11059 | 2010-北陸-M005 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内における水の漏えいについて | 2010/8/13 | ② |
| 11068 | 2010-東京-S022 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2010/8/24 | ① |
| 東北 提供情報 | — | 女川3号 | 提供情報 復水系水張り時のサンブからの漏えいについて | 2010/9/14 | ① |
| 11157 | 2010-東北-S020 | 女川3号 | CRD系水圧制御ユニットアキユムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ | 2010/9/27 | ② |
| 11125 | 2010-中部-M010 | 浜岡2号 | タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて | 2010/9/28 | ② |
| 11130 | 2010-東京-S027 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて | 2010/10/20 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|------------|----|
| 11056 | 2010-東京-M009 | 福島第一1号 | 福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について | 2010/8/12 | ② |
| 11059 | 2010-北陸-M005 | 志賀1号 | 原子炉格納容器内における水の漏えいについて | 2010/8/13 | ② |
| 11068 | 2010-東京-S022 | 福島第一3号 | 福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて | 2010/8/24 | ① |
| 東北 提供情報 | — | 女川3号 | 提供情報 復水系水張り時のサンブからの漏えいについて | 2010/9/14 | ① |
| 11157 | 2010-東北-S020 | 女川3号 | CRD系水圧制御ユニットアキユムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ | 2010/9/27 | ② |
| 11125 | 2010-中部-M010 | 浜岡2号 | タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて | 2010/9/28 | ② |
| 11130 | 2010-東京-S027 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて | 2010/10/20 | ② |

| 備考 |
|----|
| |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|------------|-----|
| 11153 | 2010-東京-S034 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/9 | ① |
| 11165 | 2010-東京-M020 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/16 | ① |
| 11178 | 2010-北陸-M009 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2010/12/1 | ① ② |
| 11179 | 2010-東京-S035 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて | 2010/12/1 | ① |
| 11203 | 2010-北陸-M011 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について | 2010/12/7 | ① |
| 11205 | 2010-東京-S040 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/12 | ② |
| 11214 | 2010-東京-S041 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/27 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|------------|-----|
| 11142 | 2010-中部-M014 | 浜岡2号 | 原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて | 2010/10/29 | ② |
| 11195 | 2010-中部-S018 | 浜岡4号 | タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて | 2010/11/8 | ① |
| 11153 | 2010-東京-S034 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/9 | ① |
| 11165 | 2010-東京-M020 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/16 | ① |
| 11178 | 2010-北陸-M009 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2010/12/1 | ① ② |
| 11179 | 2010-東京-S035 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて | 2010/12/1 | ① |
| 11203 | 2010-北陸-M011 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について | 2010/12/7 | ① |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|------------|-----|
| 11142 | 2010-中部-M014 | 浜岡2号 | 原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて | 2010/10/29 | ② |
| 11195 | 2010-中部-S018 | 浜岡4号 | タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて | 2010/11/8 | ① |
| 11153 | 2010-東京-S034 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/9 | ① |
| 11165 | 2010-東京-M020 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて | 2010/11/16 | ① |
| 11178 | 2010-北陸-M009 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2010/12/1 | ① ② |
| 11179 | 2010-東京-S035 | 柏崎刈羽4号 | 柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて | 2010/12/1 | ① |
| 11203 | 2010-北陸-M011 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について | 2010/12/7 | ① |

備考

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------------|------------------|--|-----------|--------|--|----------------------|--------------|--------|--|-----------|--------|-------------|--------------|--------|--|-----------|--------|--|--|----|
| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | |
| 11225 | 2010-東京-S043 | 福島第一4号 | 福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2011/2/10 | ① | | 11205 | 2010-東京-S040 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/12 | ② | 11205 | 2010-東京-S040 | 柏崎刈羽1号 | 柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/12 | ② | | | |
| 11245 | 2010-北陸-M015 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2011/2/28 | ① ② | | 11214 | 2010-東京-S041 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/27 | ① | 11214 | 2010-東京-S041 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2011/1/27 | ① | | | |
| 11436 | 2010-原電-M015 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | | 11225 | 2010-東京-S043 | 福島第一4号 | 福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2011/2/10 | ① | 11225 | 2010-東京-S043 | 福島第一4号 | 福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて | 2011/2/10 | ① | | | |
| 11457 | 2010-原電-S014 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | | 11245 | 2010-北陸-M015 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2011/2/28 | ① ② | 11245 | 2010-北陸-M015 | 志賀1号 | 原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について | 2011/2/28 | ① ② | | | |
| 11284 | 2010-東北-T010 | 女川2号 | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | 2011/3/11 | ⑤ | | 11436 | 2010-原電-M015 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | 11436 | 2010-原電-M015 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | | | |
| 11408 | 2010-東京-T035 | 福島第二1,2,3,4号 | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | 2011/3/11 | ⑤ | | 11457 | 2010-原電-S014 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | 11457 | 2010-原電-S014 | 東海第二 | 【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散 | 2011/3/11 | ③ | | | |
| 11296 | 2010-東京-T032 | 福島第一1,2,3,4,5,6号 | 【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について | 2011/3/11 | - | | 11284 | 2010-東北-T010 | 女川2号 | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | 2011/3/11 | ⑤ | 11284 | 2010-東北-T010 | 女川2号 | 【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水 | 2011/3/11 | ⑤ | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|-----------------------------|--|-----------|--------|
| 11625 | 2010-東京-T043 | 福 島 第 1, 2, 3, 4, 5, 6 号 | 【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて (追補) | 2011/3/11 | - |
| 11596 | 2010-東京-M041 | 福島第二 1, 2, 3, 4 号 | 東北地方太平洋沖地震による福島第二原子力発電 所で発生した不適合事象について | 2011/3/11 | ⑤ |
| 11282 | 2010-原電-T013 | 東海第二 | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について | 2011/3/18 | ⑤ |
| 11283 | 2010-原電-T012 | 東海第二 | 【東日本大震災関連】125V 蓄電池 2B 室における溢 水について | 2011/3/28 | ⑤ |
| 11298 | 2011-東京-S001 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 共用設備 重油移送ポンプ 室 (非管理区域) における油漏れについて | 2011/4/15 | ② |
| 11291 | 2011-東京-S004 | 柏崎刈羽 | 補助ボイラ建屋 (非管理区域) における油漏れにつ いて | 2011/4/30 | ② |
| 11308 | 2011-東京-M003 | 柏崎刈羽 7号 | 柏崎刈羽原子力発電所 7号機 タービン建屋にお ける制御油の漏れについて | 2011/5/15 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 |
|-------------|--------------|---------------------------|--|-----------|--------|
| 11408 | 2010-東京-T035 | 福島第二 1, 2, 3, 4号 | 【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて | 2011/3/11 | ⑤ |
| 11296 | 2010-東京-T032 | 福島第一 1, 2, 3, 4, 5, 6号 | 【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて | 2011/3/11 | - |
| 11625 | 2010-東京-T043 | 福島第一 1, 2, 3, 4, 5, 6号 | 【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて (追補) | 2011/3/11 | - |
| 11596 | 2010-東京-M041 | 福島第二 1, 2, 3, 4号 | 東北地方太平洋沖地震による福島第二原子力発電 所で発生した不適合事象について | 2011/3/11 | ⑤ |
| 11282 | 2010-原電-T013 | 東海第二 | 【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について | 2011/3/18 | ⑤ |
| 11283 | 2010-原電-T012 | 東海第二 | 【東日本大震災関連】125V蓄電池 2B 室における 溢水について | 2011/3/28 | ⑤ |
| 11298 | 2011-東京-S001 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 共用設備 重油移送ポンプ 室 (非管理区域) における油漏れについて | 2011/4/15 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|--|-----------|----|
| 11489 | 2011-中部-M004 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について | 2011/11/8 | ② |
| 11722 | 2011-東京-M016 | 柏崎刈羽7号 | 残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて | 2012/1/3 | ② |
| 11469 | 2011-東京-S023 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2012/2/1 | ① |
| 11478 | 2011-東京-S028 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について | 2012/2/25 | ① |
| 11565 | 2011-原電-M016 | 東海第二 | 残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について | 2012/3/3 | ② |
| 11516 | 2012-東京-S003 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2012/4/13 | ① |
| 11569 | 2012-原電-S004 | 東海第二 | 非管理区域における重油の漏えいについて | 2012/7/4 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|-----------|----|
| — | — | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機 台風 15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 2011/9/21 | ⑤ |
| 11438 | 2011-東京-M012 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における非常用ディーゼルの発電機の弁の不具合について | 2011/11/4 | ② |
| 11489 | 2011-中部-M004 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について | 2011/11/8 | ② |
| 11722 | 2011-東京-M016 | 柏崎刈羽7号 | 残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて | 2012/1/3 | ② |
| 11469 | 2011-東京-S023 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2012/2/1 | ① |
| 11478 | 2011-東京-S028 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について | 2012/2/25 | ① |
| 11565 | 2011-原電-M016 | 東海第二 | 残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について | 2012/3/3 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|-----------|----|
| — | — | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機 台風 15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 2011/9/21 | ⑤ |
| 11438 | 2011-東京-M012 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における非常用ディーゼルの発電機の弁の不具合について | 2011/11/4 | ② |
| 11489 | 2011-中部-M004 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について | 2011/11/8 | ② |
| 11722 | 2011-東京-M016 | 柏崎刈羽7号 | 残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて | 2012/1/3 | ② |
| 11469 | 2011-東京-S023 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2012/2/1 | ① |
| 11478 | 2011-東京-S028 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について | 2012/2/25 | ① |
| 11565 | 2011-原電-M016 | 東海第二 | 残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について | 2012/3/3 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|--------|---|-----------|----|
| — | — | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機 台風 15号によるタービン建屋への雨水の流入について | 2011/9/21 | ⑤ |
| 11438 | 2011-東京-M012 | 柏崎刈羽7号 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における非常用ディーゼルの発電機の弁の不具合について | 2011/11/4 | ② |
| 11489 | 2011-中部-M004 | 浜岡3号 | タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について | 2011/11/8 | ② |
| 11722 | 2011-東京-M016 | 柏崎刈羽7号 | 残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて | 2012/1/3 | ② |
| 11469 | 2011-東京-S023 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2012/2/1 | ① |
| 11478 | 2011-東京-S028 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について | 2012/2/25 | ① |
| 11565 | 2011-原電-M016 | 東海第二 | 残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について | 2012/3/3 | ② |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2 号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|--------|
| 11558 | 2012-中部-M001 | 浜岡 5 号 | 浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/7/30 | ② |
| 11573 | 2012-中部-S003 | 浜岡 3 号 | 浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて | 2012/8/31 | ① ② |
| 11585 | 2012-東京-M032 | 柏崎刈羽 4 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて | 2012/9/16 | ② |
| プレス リリース | — | 浜岡 5 号 | タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/11/1 | ② |
| 11645 | 2012-東京-M030 | 柏崎刈羽 2 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて | 2012/12/14 | ① ② |
| 11701 | 2012-東北-S034 | 東通 1 号 | 浄化系沈降分離槽スラッジポンプ室ファンネルからの溢水 | 2013/3/8 | ① ② |
| 11736 | 2012-東京-M031 | 柏崎刈羽 5 号 | 所内蒸気系 (非放射性) 凝縮水受けタンク内における放射性物質の検出について | 2013/3/11 | ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|--------|
| 11516 | 2012-東京-S003 | 柏崎刈羽 5 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 5 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて | 2012/4/13 | ① |
| 11569 | 2012-原電-S004 | 東海第二 | 非管理区域における重油の漏えいについて | 2012/7/4 | ② |
| 11558 | 2012-中部-M001 | 浜岡 5 号 | 浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/7/30 | ② |
| 11573 | 2012-中部-S003 | 浜岡 3 号 | 浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて | 2012/8/31 | ① ② |
| 11585 | 2012-東京-M032 | 柏崎刈羽 4 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて | 2012/9/16 | ② |
| プレス リリース | — | 浜岡 5 号 | タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/11/1 | ② |
| 11645 | 2012-東京-M030 | 柏崎刈羽 2 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて | 2012/12/14 | ① ② |

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|--------|
| 11516 | 2012-東京-S003 | 柏崎刈羽 5 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 5 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて | 2012/4/13 | ① |
| 11569 | 2012-原電-S004 | 東海第二 | 非管理区域における重油の漏えいについて | 2012/7/4 | ② |
| 11558 | 2012-中部-M001 | 浜岡 5 号 | 浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/7/30 | ② |
| 11573 | 2012-中部-S003 | 浜岡 3 号 | 浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて | 2012/8/31 | ① ② |
| 11585 | 2012-東京-M032 | 柏崎刈羽 4 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて | 2012/9/16 | ② |
| プレス リリース | — | 浜岡 5 号 | タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて | 2012/11/1 | ② |
| 11645 | 2012-東京-M030 | 柏崎刈羽 2 号 | 柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて | 2012/12/14 | ① ② |

| 備考 |
|----|
| |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | | | | | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | | | | | 島根原子力発電所 2号炉 | | | | | 備考 | | |
|----------------------------------|--------------|----------|---|------------|----------------------|--------------|--------------|--------|--|--------------|--------|--------------|--------------|----------|--|------------|----|
| ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | ニューシニア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
| 11730 | 2013-東北-S002 | 東通1号 | 原子炉建屋原子炉棟1階RHR(B)バルブ室床ファンネルからの漏えい | 2013/4/23 | - | 11701 | 2012-東北-S034 | 東通1号 | 浄化系沈降分離槽スラッジポンプ室ファンネルからの溢水 | 2013/3/8 | ① ② | 11736 | 2012-東京-M031 | 柏崎刈羽5号 | 所内蒸気系(非放射性)凝縮水受けタンク内における放射性物質の検出について | 2013/3/11 | ② |
| 11740 | 2013-東京-M039 | 柏崎刈羽6,7号 | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | 2013/6/19 | ⑤ | 11730 | 2013-東北-S002 | 東通1号 | 原子炉建屋原子炉棟1階RHR(B)バルブ室床ファンネルからの漏えい | 2013/4/23 | - | 11740 | 2013-東京-M039 | 柏崎刈羽6,7号 | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について | 2013/6/19 | ⑤ |
| 11761 | 2013-東京-S024 | 柏崎刈羽6号 | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2013/7/23 | ② | 11761 | 2013-東京-S024 | 柏崎刈羽6号 | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2013/7/23 | ② | 11761 | 2013-東京-S024 | 柏崎刈羽6号 | 柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて | 2013/7/23 | ② |
| 11793 | 2013-中部-M003 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機起動変圧器(B)冷却ファン羽の一部脱落および絶縁油の漏えいについて | 2013/8/9 | ② | 11793 | 2013-中部-M003 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機起動変圧器(B)冷却ファン羽の一部脱落および絶縁油の漏えいについて | 2013/8/9 | ② | 11793 | 2013-中部-M003 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機起動変圧器(B)冷却ファン羽の一部脱落および絶縁油の漏えいについて | 2013/8/9 | ② |
| 11838 | 2013-東京-S058 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2013/10/15 | ① | 11838 | 2013-東京-S058 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2013/10/15 | ① | 11838 | 2013-東京-S058 | 柏崎刈羽3号 | 柏崎刈羽原子力発電所3号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて | 2013/10/15 | ① |
| 11839 | 2013-中部-S005 | 浜岡 | 廃棄物減容処理装置建屋(第2建屋)(放射線管理区域内)における活性炭を含んだ水の漏えいについて | 2013/10/28 | ② | | | | | | | | | | | | |
| 11849 | 2013-東京-M038 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所ガスタービン発電機車(屋外)燃料タンク接続部からの油漏れについて | 2013/11/17 | ② | | | | | | | | | | | | |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|-----------|----|
| 11941 | 2013-東京-S088 | 柏崎刈羽 | 建設中の補助ボイラー設備における水の漏えいおよび給水タンクの損傷について | 2014/3/10 | ① |
| 12031 | 2014-北陸-S001 | 志賀2号 | 原子炉建屋内における水の漏えいについて | 2014/4/15 | ① |
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | サンプポンプ試運転時におけるサンプからの水の漏えいについて | 2014/7/4 | ① |
| 12076 | 2014-東京-S039 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉複合建屋（非管理区域）における油漏れについて | 2014/7/18 | ② |
| 12108 | 2014-東京-S049 | 福島第二3,4号 | 福島第二原子力発電所3,4号機サービスマンビルにおける放射線管理区域内トイレの洗浄水の漏えいについて | 2014/9/12 | ② |
| 12105 | 2014-中部-S004 | 浜岡 | 浜岡原子力発電所 災害対策用の軽油ドラム缶からの油の漏えいについて | 2014/9/16 | ② |
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | C/B 2F 非常用D/G発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れについて | 2014/9/19 | ⑤ |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

| ニューシア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|----------|--|------------|----|
| 11839 | 2013-中部-S005 | 浜岡 | 廃棄物減容処理装置設置建屋（第2建屋）（放射線管理区域内）における活性炭を含んだ水の漏えいについて | 2013/10/28 | ② |
| 11849 | 2013-東京-M038 | 柏崎刈羽 | 柏崎刈羽原子力発電所 ガスタービン発電機車（屋外）燃料タンク接続部からの油漏れについて | 2013/11/17 | ② |
| 11941 | 2013-東京-S088 | 柏崎刈羽 | 建設中の補助ボイラー設備における水の漏えいおよび給水タンクの損傷について | 2014/3/10 | ① |
| 12031 | 2014-北陸-S001 | 志賀2号 | 原子炉建屋内における水の漏えいについて | 2014/4/15 | ① |
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | サンプポンプ試運転時におけるサンプからの水の漏えいについて | 2014/7/4 | ① |
| 12076 | 2014-東京-S039 | 柏崎刈羽1号 | 原子炉複合建屋（非管理区域）における油漏れについて | 2014/7/18 | ② |
| 12108 | 2014-東京-S049 | 福島第二3,4号 | 福島第二原子力発電所3,4号機サービスマンビルにおける放射線管理区域内トイレの洗浄水の漏えいについて | 2014/9/12 | ② |

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

| ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|------|------------------------------------|-----------|----|
| 12122 | 2014-中部-M005 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋への雨水の浸入について | 2014/10/6 | ⑤ |
| 12191 | 2014-四国-S010 | 伊方3号 | 伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機補機室内における溢水について | 2015/3/20 | ② |

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

| ニュースア 通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 |
|-------------|--------------|------|--|------------|----|
| 12105 | 2014-中部-S004 | 浜岡 | 浜岡原子力発電所 災害対策用の軽油ドラム缶からの油の漏えいについて | 2014/9/16 | ② |
| 東北 提供情報 | — | 女川1号 | C/B 2F 非常用D/G発電機 燃料デイトンク(B) 室軽油漏れについて | 2014/9/19 | ⑤ |
| 12122 | 2014-中部-M005 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋への雨水の浸入について | 2014/10/6 | ⑤ |
| 12191 | 2014-四国-S010 | 伊方3号 | 伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機補機室内における溢水について | 2015/3/20 | ② |
| 12210 | 2015-東北-S006 | 東通1号 | 原子炉冷却材浄化系設備のポンプ(B) 試運転準備時における原子炉冷却材浄化系設備ポンプ(B)パージライン逃がし弁の動作 | 2015/04/23 | ① |
| 12211 | 2015-東北-S005 | 東通1号 | 原子炉冷却材浄化系設備(B) 吐出逆止弁後第一ドレン弁グラウンド部からの漏えい | 2015/04/23 | ① |
| 12213 | 2015-東京-T001 | 福島第一 | 1000トン鋼製角形タンク群から3号機タービン建屋への貯留水移送ホースからの漏えい(構内排水路から港湾内への放射性物質の漏えい) | 2015/05/29 | ② |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|---|---|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|--------|--|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|-------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|---------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|----------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|-----------------------------------|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 1419 1816 1539">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1733 1245 1816 1419">報告書番号</th> <th data-bbox="1733 1066 1816 1245">ユニット</th> <th data-bbox="1733 583 1816 1066">件名</th> <th data-bbox="1733 390 1816 583">事象発生日</th> <th data-bbox="1733 342 1816 390">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1816 1419 1911 1539">12215</td> <td data-bbox="1816 1245 1911 1419">2015-東京-S006</td> <td data-bbox="1816 1066 1911 1245">柏崎刈羽5号</td> <td data-bbox="1816 583 1911 1066">柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて</td> <td data-bbox="1816 390 1911 583">2015/06/04</td> <td data-bbox="1816 342 1911 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1911 1419 2006 1539">12244</td> <td data-bbox="1911 1245 2006 1419">2015-東京-S016</td> <td data-bbox="1911 1066 2006 1245">福島第一</td> <td data-bbox="1911 583 2006 1066">福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1911 390 2006 583">2015/07/17</td> <td data-bbox="1911 342 2006 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2006 1419 2101 1539">12256</td> <td data-bbox="2006 1245 2101 1419">2015-東京-S019</td> <td data-bbox="2006 1066 2101 1245">福島第一</td> <td data-bbox="2006 583 2101 1066">福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="2006 390 2101 583">2015/08/12</td> <td data-bbox="2006 342 2101 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2101 1419 2196 1539">12301</td> <td data-bbox="2101 1245 2196 1419">2015-中部-M004</td> <td data-bbox="2101 1066 2196 1245">浜岡3号</td> <td data-bbox="2101 583 2196 1066">浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 390 2196 583">2015/09/22</td> <td data-bbox="2101 342 2196 390">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2196 1419 2291 1539">12322</td> <td data-bbox="2196 1245 2291 1419">2015-東京-S027</td> <td data-bbox="2196 1066 2291 1245">福島第一</td> <td data-bbox="2196 583 2291 1066">福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて</td> <td data-bbox="2196 390 2291 583">2015/09/29</td> <td data-bbox="2196 342 2291 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2291 1419 2386 1539">12312</td> <td data-bbox="2291 1245 2386 1419">2015-中部-M007</td> <td data-bbox="2291 1066 2386 1245">浜岡3号</td> <td data-bbox="2291 583 2386 1066">浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2291 390 2386 583">2015/10/08</td> <td data-bbox="2291 342 2386 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2386 1419 2481 1539">12313</td> <td data-bbox="2386 1245 2481 1419">2015-中部-M008</td> <td data-bbox="2386 1066 2481 1245">浜岡4号</td> <td data-bbox="2386 583 2481 1066">浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて</td> <td data-bbox="2386 390 2481 583">2015/10/10</td> <td data-bbox="2386 342 2481 390">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12215 | 2015-東京-S006 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて | 2015/06/04 | ② | 12244 | 2015-東京-S016 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて | 2015/07/17 | ② | 12256 | 2015-東京-S019 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて | 2015/08/12 | ② | 12301 | 2015-中部-M004 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて | 2015/09/22 | ① | 12322 | 2015-東京-S027 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて | 2015/09/29 | ② | 12312 | 2015-中部-M007 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて | 2015/10/08 | ② | 12313 | 2015-中部-M008 | 浜岡4号 | 浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて | 2015/10/10 | ② | |
| ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12215 | 2015-東京-S006 | 柏崎刈羽5号 | 柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて | 2015/06/04 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12244 | 2015-東京-S016 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて | 2015/07/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12256 | 2015-東京-S019 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて | 2015/08/12 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12301 | 2015-中部-M004 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて | 2015/09/22 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12322 | 2015-東京-S027 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて | 2015/09/29 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12312 | 2015-中部-M007 | 浜岡3号 | 浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて | 2015/10/08 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12313 | 2015-中部-M008 | 浜岡4号 | 浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて | 2015/10/10 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|---|---|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|------|--------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|--------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|----------------------------|------------|---|-------|--------------|------|-------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|--------------------------------|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1739 1419 1813 1535">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1739 1241 1813 1419">報告書番号</th> <th data-bbox="1739 1062 1813 1241">ユニット</th> <th data-bbox="1739 583 1813 1062">件名</th> <th data-bbox="1739 394 1813 583">事象発生日</th> <th data-bbox="1739 348 1813 394">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1813 1419 1908 1535">12340</td> <td data-bbox="1813 1241 1908 1419">2016-中部-M004</td> <td data-bbox="1813 1062 1908 1241">浜岡3号</td> <td data-bbox="1813 583 1908 1062">福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1813 394 1908 583">2016/04/11</td> <td data-bbox="1813 348 1908 394">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1908 1419 2003 1535">12358</td> <td data-bbox="1908 1241 2003 1419">2016-東北-M001</td> <td data-bbox="1908 1062 2003 1241">東通1号</td> <td data-bbox="1908 583 2003 1062">福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1908 394 2003 583">2016/04/14</td> <td data-bbox="1908 348 2003 394">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2003 1419 2098 1535">12372</td> <td data-bbox="2003 1241 2098 1419">2015-東京-S046</td> <td data-bbox="2003 1062 2098 1241">福島第一</td> <td data-bbox="2003 583 2098 1062">敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて</td> <td data-bbox="2003 394 2098 583">2016/03/23</td> <td data-bbox="2003 348 2098 394">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2098 1419 2193 1535">12377</td> <td data-bbox="2098 1241 2193 1419">2016-東京-S004</td> <td data-bbox="2098 1062 2193 1241">福島第一</td> <td data-bbox="2098 583 2193 1062">福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて</td> <td data-bbox="2098 394 2193 583">2016/04/21</td> <td data-bbox="2098 348 2193 394">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2193 1419 2288 1535">12409</td> <td data-bbox="2193 1241 2288 1419">2016-東北-S002</td> <td data-bbox="2193 1062 2288 1241">東通1号</td> <td data-bbox="2193 583 2288 1062">補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい</td> <td data-bbox="2193 394 2288 583">2016/04/08</td> <td data-bbox="2193 348 2288 394">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2288 1419 2383 1535">12411</td> <td data-bbox="2288 1241 2383 1419">2016-原電-T001</td> <td data-bbox="2288 1062 2383 1241">東海第二</td> <td data-bbox="2288 583 2383 1062">補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい</td> <td data-bbox="2288 394 2383 583">2016/06/02</td> <td data-bbox="2288 348 2383 394">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2383 1419 2478 1535">12413</td> <td data-bbox="2383 1241 2478 1419">2016-東北-M002</td> <td data-bbox="2383 1062 2478 1241">女川2号</td> <td data-bbox="2383 583 2478 1062">福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="2383 394 2478 583">2016/06/16</td> <td data-bbox="2383 348 2478 394">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12340 | 2016-中部-M004 | 浜岡3号 | 福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて | 2016/04/11 | ② | 12358 | 2016-東北-M001 | 東通1号 | 福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて | 2016/04/14 | ② | 12372 | 2015-東京-S046 | 福島第一 | 敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて | 2016/03/23 | ② | 12377 | 2016-東京-S004 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて | 2016/04/21 | ② | 12409 | 2016-東北-S002 | 東通1号 | 補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい | 2016/04/08 | ① | 12411 | 2016-原電-T001 | 東海第二 | 補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい | 2016/06/02 | ⑤ | 12413 | 2016-東北-M002 | 女川2号 | 福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて | 2016/06/16 | ② | |
| ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12340 | 2016-中部-M004 | 浜岡3号 | 福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて | 2016/04/11 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12358 | 2016-東北-M001 | 東通1号 | 福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて | 2016/04/14 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12372 | 2015-東京-S046 | 福島第一 | 敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて | 2016/03/23 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12377 | 2016-東京-S004 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて | 2016/04/21 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12409 | 2016-東北-S002 | 東通1号 | 補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい | 2016/04/08 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12411 | 2016-原電-T001 | 東海第二 | 補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい | 2016/06/02 | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12413 | 2016-東北-M002 | 女川2号 | 福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて | 2016/06/16 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|--|---|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|----------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|-------------------------|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 352 1813 401">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1813 352 1908 401">報告書番号</th> <th data-bbox="1908 352 2003 401">ユニット</th> <th data-bbox="2003 352 2098 401">件名</th> <th data-bbox="2098 352 2193 401">事象発生日</th> <th data-bbox="2193 352 2288 401">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1733 401 1813 468">12414</td> <td data-bbox="1813 401 1908 468">2016-中部-M004</td> <td data-bbox="1908 401 2003 468">浜岡3号</td> <td data-bbox="2003 401 2098 468">非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい</td> <td data-bbox="2098 401 2193 468">2016/04/11</td> <td data-bbox="2193 401 2288 468">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 468 1813 535">12420</td> <td data-bbox="1813 468 1908 535">2016-東北-M001</td> <td data-bbox="1908 468 2003 535">東通1号</td> <td data-bbox="2003 468 2098 535">東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて</td> <td data-bbox="2098 468 2193 535">2016/04/14</td> <td data-bbox="2193 468 2288 535">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 535 1813 602">12428</td> <td data-bbox="1813 535 1908 602">2015-東京-S046</td> <td data-bbox="1908 535 2003 602">福島第一</td> <td data-bbox="2003 535 2098 602">福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="2098 535 2193 602">2016/03/23</td> <td data-bbox="2193 535 2288 602">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 602 1813 669">12433</td> <td data-bbox="1813 602 1908 669">2016-東京-S004</td> <td data-bbox="1908 602 2003 669">福島第一</td> <td data-bbox="2003 602 2098 669">福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について</td> <td data-bbox="2098 602 2193 669">2016/04/21</td> <td data-bbox="2193 602 2288 669">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 669 1813 737">12441</td> <td data-bbox="1813 669 1908 737">2016-東北-S002</td> <td data-bbox="1908 669 2003 737">東通1号</td> <td data-bbox="2003 669 2098 737">R C I C タービンポンプ室における漏えい</td> <td data-bbox="2098 669 2193 737">2016/04/08</td> <td data-bbox="2193 669 2288 737">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 737 1813 804">12445</td> <td data-bbox="1813 737 1908 804">2016-原電-T001</td> <td data-bbox="1908 737 2003 804">東海第二</td> <td data-bbox="2003 737 2098 804">廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について</td> <td data-bbox="2098 737 2193 804">2016/06/02</td> <td data-bbox="2193 737 2288 804">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 804 1813 871">12449</td> <td data-bbox="1813 804 1908 871">2016-東北-M002</td> <td data-bbox="1908 804 2003 871">女川2号</td> <td data-bbox="2003 804 2098 871">女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2098 804 2193 871">2016/06/16</td> <td data-bbox="2193 804 2288 871">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12414 | 2016-中部-M004 | 浜岡3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい | 2016/04/11 | ② | 12420 | 2016-東北-M001 | 東通1号 | 東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて | 2016/04/14 | ② | 12428 | 2015-東京-S046 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて | 2016/03/23 | ② | 12433 | 2016-東京-S004 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について | 2016/04/21 | ② | 12441 | 2016-東北-S002 | 東通1号 | R C I C タービンポンプ室における漏えい | 2016/04/08 | ① | 12445 | 2016-原電-T001 | 東海第二 | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について | 2016/06/02 | ⑤ | 12449 | 2016-東北-M002 | 女川2号 | 女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて | 2016/06/16 | ② | |
| ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12414 | 2016-中部-M004 | 浜岡3号 | 非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい | 2016/04/11 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12420 | 2016-東北-M001 | 東通1号 | 東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて | 2016/04/14 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12428 | 2015-東京-S046 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて | 2016/03/23 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12433 | 2016-東京-S004 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について | 2016/04/21 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12441 | 2016-東北-S002 | 東通1号 | R C I C タービンポンプ室における漏えい | 2016/04/08 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12445 | 2016-原電-T001 | 東海第二 | 廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について | 2016/06/02 | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12449 | 2016-東北-M002 | 女川2号 | 女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて | 2016/06/16 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|---|--|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|------|--------------------------|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|---------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|---------------------|------------|---|-------|--------------|------|--------------------------------------|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 352 1816 1575">ニューシ ア通番</th> <th data-bbox="1816 352 1911 1575">報告書番号</th> <th data-bbox="1911 352 2006 1575">ユニット</th> <th data-bbox="2006 352 2101 1575">件名</th> <th data-bbox="2101 352 2196 1575">事象発生日</th> <th data-bbox="2196 352 2291 1575">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12482</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S005</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡4号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/08/24</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12483</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S004</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡3号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/08/29</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12504</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-北陸-M002</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">志賀2号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">志賀原子力発電所2号機 原子炉建屋内への雨水流入について</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/09/28</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12545</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東北-S036</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">女川1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">女川原子力発電所1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/11/28</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12550</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東北-S039</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">東通1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/10/21</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12561</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S008</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">原子炉建屋2階 排水枳からの水の漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/12/20</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 352 1816 1575">12576</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東京-S030</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">福島第一</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/12/06</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニューシ ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12482 | 2016-中部-S005 | 浜岡4号 | スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい | 2016/08/24 | ② | 12483 | 2016-中部-S004 | 浜岡3号 | タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい | 2016/08/29 | ② | 12504 | 2016-北陸-M002 | 志賀2号 | 志賀原子力発電所2号機 原子炉建屋内への雨水流入について | 2016/09/28 | ⑤ | 12545 | 2016-東北-S036 | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について | 2016/11/28 | ① | 12550 | 2016-東北-S039 | 東通1号 | CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい | 2016/10/21 | ② | 12561 | 2016-中部-S008 | 浜岡1号 | 原子炉建屋2階 排水枳からの水の漏えい | 2016/12/20 | ② | 12576 | 2016-東京-S030 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて | 2016/12/06 | ② | |
| ニューシ ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12482 | 2016-中部-S005 | 浜岡4号 | スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい | 2016/08/24 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12483 | 2016-中部-S004 | 浜岡3号 | タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい | 2016/08/29 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12504 | 2016-北陸-M002 | 志賀2号 | 志賀原子力発電所2号機 原子炉建屋内への雨水流入について | 2016/09/28 | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12545 | 2016-東北-S036 | 女川1号 | 女川原子力発電所1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について | 2016/11/28 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12550 | 2016-東北-S039 | 東通1号 | CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい | 2016/10/21 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12561 | 2016-中部-S008 | 浜岡1号 | 原子炉建屋2階 排水枳からの水の漏えい | 2016/12/20 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12576 | 2016-東京-S030 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて | 2016/12/06 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|--|--|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|---------------------------------------|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|-----------------------------|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 346 1816 1579">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1816 346 1899 1579">報告書番号</th> <th data-bbox="1899 346 1982 1579">ユニット</th> <th data-bbox="1982 346 2101 1579">件名</th> <th data-bbox="2101 346 2184 1579">事象発生日</th> <th data-bbox="2184 346 2267 1579">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12579</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S031</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2016/12/14</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12580</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S032</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2016/12/15</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12582</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S033</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2016/12/17</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12585</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S036</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2017/01/09</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12587</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S038</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2017/01/11</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12589</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-東京-S039</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">福島第一</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2017/01/12</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 346 1816 1579">12590</td> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">2016-中部-M008</td> <td data-bbox="1899 346 1982 1579">浜岡5号</td> <td data-bbox="1982 346 2101 1579">タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">2017/02/01</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12579 | 2016-東京-S031 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて | 2016/12/14 | ② | 12580 | 2016-東京-S032 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて | 2016/12/15 | ② | 12582 | 2016-東京-S033 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について | 2016/12/17 | ② | 12585 | 2016-東京-S036 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて | 2017/01/09 | ② | 12587 | 2016-東京-S038 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて | 2017/01/11 | ② | 12589 | 2016-東京-S039 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて | 2017/01/12 | ② | 12590 | 2016-中部-M008 | 浜岡5号 | タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔 | 2017/02/01 | ② | |
| ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12579 | 2016-東京-S031 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて | 2016/12/14 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12580 | 2016-東京-S032 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて | 2016/12/15 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12582 | 2016-東京-S033 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について | 2016/12/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12585 | 2016-東京-S036 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて | 2017/01/09 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12587 | 2016-東京-S038 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて | 2017/01/11 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12589 | 2016-東京-S039 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて | 2017/01/12 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12590 | 2016-中部-M008 | 浜岡5号 | タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔 | 2017/02/01 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|--|--|------------|------|----|-------|----|-------|--------------|------|-------------------------|------------|---|-------|--------------|----------|---|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|---|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|--|------------|---|-------|--------------|------|--------------------------------|------------|---|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 1419 1816 1541">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1733 1247 1816 1419">報告書番号</th> <th data-bbox="1733 1075 1816 1247">ユニット</th> <th data-bbox="1733 579 1816 1075">件名</th> <th data-bbox="1733 386 1816 579">事象発生日</th> <th data-bbox="1733 336 1816 386">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1816 1419 1911 1541">12608</td> <td data-bbox="1816 1247 1911 1419">2016-中部-S009</td> <td data-bbox="1816 1075 1911 1247">浜岡1号</td> <td data-bbox="1816 579 1911 1075">復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい</td> <td data-bbox="1816 386 1911 579">2017/02/19</td> <td data-bbox="1816 336 1911 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1911 1419 2006 1541">12610</td> <td data-bbox="1911 1247 2006 1419">2016-東京-S040</td> <td data-bbox="1911 1075 2006 1247">柏崎刈羽6,7号</td> <td data-bbox="1911 579 2006 1075">柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について</td> <td data-bbox="1911 386 2006 579">2017/02/23</td> <td data-bbox="1911 336 2006 386">④</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2006 1419 2101 1541">12620</td> <td data-bbox="2006 1247 2101 1419">2016-東京-S044</td> <td data-bbox="2006 1075 2101 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2006 579 2101 1075">福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて</td> <td data-bbox="2006 386 2101 579">2017/02/17</td> <td data-bbox="2006 336 2101 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2101 1419 2196 1541">12621</td> <td data-bbox="2101 1247 2196 1419">2016-東京-S045</td> <td data-bbox="2101 1075 2196 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2101 579 2196 1075">福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について</td> <td data-bbox="2101 386 2196 579">2017/03/02</td> <td data-bbox="2101 336 2196 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2196 1419 2291 1541">12630</td> <td data-bbox="2196 1247 2291 1419">2016-東北-M005</td> <td data-bbox="2196 1075 2291 1247">女川2号</td> <td data-bbox="2196 579 2291 1075">女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について</td> <td data-bbox="2196 386 2291 579">2017/03/27</td> <td data-bbox="2196 336 2291 386">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2291 1419 2386 1541">12644</td> <td data-bbox="2291 1247 2386 1419">2017-東京-S003</td> <td data-bbox="2291 1075 2386 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2291 579 2386 1075">福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について</td> <td data-bbox="2291 386 2386 579">2017/04/10</td> <td data-bbox="2291 336 2386 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2386 1419 2481 1541">12662</td> <td data-bbox="2386 1247 2481 1419">2017-中部-S001</td> <td data-bbox="2386 1075 2481 1247">浜岡3号</td> <td data-bbox="2386 579 2481 1075">サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい</td> <td data-bbox="2386 386 2481 579">2017/05/08</td> <td data-bbox="2386 336 2481 386">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | 12608 | 2016-中部-S009 | 浜岡1号 | 復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい | 2017/02/19 | ② | 12610 | 2016-東京-S040 | 柏崎刈羽6,7号 | 柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について | 2017/02/23 | ④ | 12620 | 2016-東京-S044 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて | 2017/02/17 | ② | 12621 | 2016-東京-S045 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について | 2017/03/02 | ② | 12630 | 2016-東北-M005 | 女川2号 | 女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について | 2017/03/27 | ① | 12644 | 2017-東京-S003 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について | 2017/04/10 | ② | 12662 | 2017-中部-S001 | 浜岡3号 | サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい | 2017/05/08 | ② | |
| ニュース ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12608 | 2016-中部-S009 | 浜岡1号 | 復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい | 2017/02/19 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12610 | 2016-東京-S040 | 柏崎刈羽6,7号 | 柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について | 2017/02/23 | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12620 | 2016-東京-S044 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて | 2017/02/17 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12621 | 2016-東京-S045 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について | 2017/03/02 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12630 | 2016-東北-M005 | 女川2号 | 女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について | 2017/03/27 | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12644 | 2017-東京-S003 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について | 2017/04/10 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12662 | 2017-中部-S001 | 浜岡3号 | サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい | 2017/05/08 | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|--|---|------------|--------|----|-------|--------|-------|--------------|------|---|------------|---|--|
| | | <table border="1" data-bbox="2015 359 2190 1619"> <thead> <tr> <th data-bbox="2015 1493 2095 1619">ニューシ ア通番</th> <th data-bbox="2015 1304 2095 1493">報告書番号</th> <th data-bbox="2015 1115 2095 1304">ユニット</th> <th data-bbox="2015 611 2095 1115">件名</th> <th data-bbox="2015 401 2095 611">事象発生日</th> <th data-bbox="2015 359 2095 401">分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="2095 1493 2190 1619">12668</td> <td data-bbox="2095 1304 2190 1493">2017-東京-S007</td> <td data-bbox="2095 1115 2190 1304">福島第一</td> <td data-bbox="2095 611 2190 1115">福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について</td> <td data-bbox="2095 401 2190 611">2017/05/12</td> <td data-bbox="2095 359 2190 401">②</td> </tr> </tbody> </table> | ニューシ ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | 12668 | 2017-東京-S007 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について | 2017/05/12 | ② | |
| ニューシ ア通番 | 報告書番号 | ユニット | 件名 | 事象発生日 | 分 類 | | | | | | | | | | |
| 12668 | 2017-東京-S007 | 福島第一 | 福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について | 2017/05/12 | ② | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------------------|-------------------------|------------------|------|-----------------------------|-----|-------------|-----|--|--|--------|--------------|-------------------------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|--|-----------------------|---------------------------|-------|--------|------|-------|--------|------|--|--|---|
| <p style="text-align: right;">補足説明資料9</p> <p>「防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に関する補足</p> <p><u>9.1 配管の想定破損による溢水量と消火水の放水による溢水量が地震に起因する溢水量に包含されることについて</u></p> <p>9.1.1 配管の想定破損による溢水</p> <p>(1) タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）</p> <p>＜評価条件＞</p> <table border="1" data-bbox="160 741 905 1092"> <tr><td>破損箇所</td><td>復水器入口弁部伸縮継手1箇所</td></tr> <tr><td>選定根拠</td><td>伸縮継手の破損高さが最も低いため</td></tr> <tr><td>破損面積</td><td>(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)</td></tr> <tr><td>水頭圧</td><td>破損箇所の最高使用圧力</td></tr> <tr><td>溢水量</td><td>①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照)</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">補足第9.1.1-1表 破損箇所の諸元</p> <table border="1" data-bbox="178 1192 896 1310"> <thead> <tr> <th></th> <th>内径D[m]</th> <th>伸縮継手凸部厚さt[m]</th> <th>溢水流量[m³/分]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>2.6</td> <td>0.025</td> <td>約21.6</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>2.6</td> <td>0.030</td> <td>約25.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第9.1.1-2表に示す。</p> <p style="text-align: center;">(溢水流量) × (溢水停止までの所要時間80分)</p> <p>= (溢水量)</p> <p style="text-align: center;">補足第9.1.1-2表 配管の想定破損による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="213 1654 860 1793"> <thead> <tr> <th></th> <th>①溢水量[m³]</th> <th>②復水器保有水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約1,723</td> <td>約580</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約2,039</td> <td>約548</td> </tr> </tbody> </table> | 破損箇所 | 復水器入口弁部伸縮継手1箇所 | 選定根拠 | 伸縮継手の破損高さが最も低いため | 破損面積 | (配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2) | 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照) | | 内径D[m] | 伸縮継手凸部厚さt[m] | 溢水流量[m ³ /分] | 【6号炉】 | 2.6 | 0.025 | 約21.6 | 【7号炉】 | 2.6 | 0.030 | 約25.5 | | ①溢水量[m ³] | ②復水器保有水量[m ³] | 【6号炉】 | 約1,723 | 約580 | 【7号炉】 | 約2,039 | 約548 | | <p style="text-align: right;">補足説明資料9</p> <p>「溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に関する補足</p> | <p>(東海第二は本文12.に記載)</p> <p>・島根2号炉の各事象の溢水量の比較については、「別添1本文9.溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に記載</p> <p>【柏崎6/7】</p> |
| 破損箇所 | 復水器入口弁部伸縮継手1箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選定根拠 | 伸縮継手の破損高さが最も低いため | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 破損面積 | (配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 内径D[m] | 伸縮継手凸部厚さt[m] | 溢水流量[m ³ /分] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 2.6 | 0.025 | 約21.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 2.6 | 0.030 | 約25.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①溢水量[m ³] | ②復水器保有水量[m ³] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 約1,723 | 約580 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 約2,039 | 約548 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------|----------------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|------|-------------------|------|--------------------------|------|-----------------------------|-----|-------------|-----|---|--|--|--|
| <p>配管の想定破損による溢水量と地震に起因する溢水量の比較を補足第9.1.1-3表に示す。配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少ないことから、地震による溢水量に包含される。</p> <p>補足第9.1.1-3表 溢水量の比較</p> <table border="1" data-bbox="261 533 813 678"> <thead> <tr> <th></th> <th>配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³]</th> <th>地震に起因する溢水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約2,303</td> <td>約17,580</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約2,586</td> <td>約23,730</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="166 751 908 1087" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: right; font-size: small;">黒枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません</p> </div> <p>補足第9.1.1-1 図 復水器出入口弁閉後の溢水範囲【7号炉の例】</p> <p>(2) タービン建屋循環水ポンプエリア <評価条件></p> <table border="1" data-bbox="166 1304 914 1656"> <tbody> <tr> <td>破損箇所</td> <td>循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所</td> </tr> <tr> <td>選定根拠</td> <td>配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため</td> </tr> <tr> <td>破損面積</td> <td>(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)</td> </tr> <tr> <td>水頭圧</td> <td>破損箇所の最高使用圧力</td> </tr> <tr> <td>溢水量</td> <td>①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照)</td> </tr> </tbody> </table> | | 配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³] | 地震に起因する溢水量[m³] | 【6号炉】 | 約2,303 | 約17,580 | 【7号炉】 | 約2,586 | 約23,730 | 破損箇所 | 循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所 | 選定根拠 | 配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため | 破損面積 | (配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2) | 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照) | | | |
| | 配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³] | 地震に起因する溢水量[m³] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 約2,303 | 約17,580 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 約2,586 | 約23,730 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 破損箇所 | 循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選定根拠 | 配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 破損面積 | (配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

補足第 9. 1. 1-4 表 破損箇所の諸元

| | 内径 D[m] | 伸縮継手凸部厚さ t[m] | 溢水流量[m ³ /分] |
|-------|---------|---------------|-------------------------|
| 【6号炉】 | 3.6 | 0.030 | 約 34.8 |
| 【7号炉】 | 3.4 | 0.038 | 約 40.5 |

①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第 9. 1. 1-5 表に示す。

$$(\text{溢水流量}) \times (\text{溢水停止までの所要時間 } 80 \text{ 分}) = (\text{溢水量})$$

補足第 9. 1. 1-5 表 配管の想定破損による溢水量

| | ①溢水量[m ³] | ②循環水配管保有水量[m ³] |
|-------|-----------------------|-----------------------------|
| 【6号炉】 | 約 2,784 | 約 358 |
| 【7号炉】 | 約 3,234 | 約 337 |

黒枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません

補足第 9. 1. 1-2 図 循環水ポンプ停止後の溢水範囲【7号炉の例】

配管の想定破損による溢水量と地震に起因する溢水量の比較を補足第 9. 1. 1-6 表に示す。配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少ないことから、地震による溢水量に包含される。

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---------------------------------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|------|----------------------------|------|-------------|------|---------------------------|-----|-------------|-----|---|--|---------|-----------|-------------------------|-------|-------|---------|--------|-------|-------|---------|--------|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">補足第 9. 1. 1-6 表 溢水量の比較</p> <table border="1" data-bbox="201 359 872 537"> <thead> <tr> <th></th> <th>配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m³]</th> <th>地震に起因する 溢水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 3, 141</td> <td>約 9, 910</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 3, 570</td> <td>約 9, 740</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) タービン建屋海水熱交換器エリア <評価条件></p> <table border="1" data-bbox="163 716 911 1031"> <tr> <td>破損箇所</td> <td>タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所</td> </tr> <tr> <td>選定根拠</td> <td>破損高さが最も低いため</td> </tr> <tr> <td>破損面積</td> <td>(配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2)</td> </tr> <tr> <td>水頭圧</td> <td>破損箇所の最高使用圧力</td> </tr> <tr> <td>溢水量</td> <td>①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">補足第 9. 1. 1-7 表 破損箇所の諸元</p> <table border="1" data-bbox="163 1163 902 1304"> <thead> <tr> <th></th> <th>内径 D[m]</th> <th>配管厚さ t[m]</th> <th>溢水流量[m³/分]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>0. 85</td> <td>0. 0095</td> <td>約 3. 6</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>0. 85</td> <td>0. 0127</td> <td>約 4. 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第 9. 1. 1-8 表に示す。</p> <p>(溢水流量) × (溢水停止までの所要時間 80 分) = (溢水量)</p> | | 配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m ³] | 地震に起因する 溢水量[m ³] | 【6号炉】 | 約 3, 141 | 約 9, 910 | 【7号炉】 | 約 3, 570 | 約 9, 740 | 破損箇所 | タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所 | 選定根拠 | 破損高さが最も低いため | 破損面積 | (配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2) | 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量 | | 内径 D[m] | 配管厚さ t[m] | 溢水流量[m ³ /分] | 【6号炉】 | 0. 85 | 0. 0095 | 約 3. 6 | 【7号炉】 | 0. 85 | 0. 0127 | 約 4. 6 | | | |
| | 配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m ³] | 地震に起因する 溢水量[m ³] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 約 3, 141 | 約 9, 910 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 約 3, 570 | 約 9, 740 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 破損箇所 | タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選定根拠 | 破損高さが最も低いため | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 破損面積 | (配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水頭圧 | 破損箇所の最高使用圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溢水量 | ①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 内径 D[m] | 配管厚さ t[m] | 溢水流量[m ³ /分] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 0. 85 | 0. 0095 | 約 3. 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 0. 85 | 0. 0127 | 約 4. 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

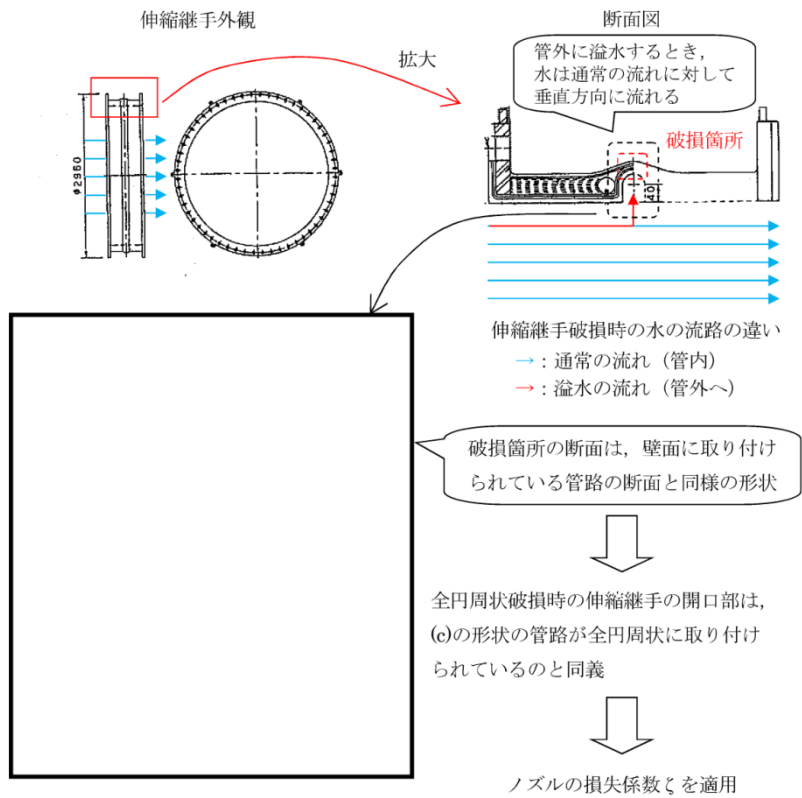
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|---|----------------------|--|---------------|-------------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|--|--|---|
| <p>補足第 9. 1. 1-8 表 配管の想定破損による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="207 315 869 487"> <thead> <tr> <th></th> <th>①溢水量[m³]</th> <th>②タービン補機冷却海水系 保有水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 284</td> <td>約 177</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 365</td> <td>約 182</td> </tr> </tbody> </table> <p>配管の想定破損による溢水の浸水水位と地震に起因する溢水の浸水水位の比較を補足第 9. 1. 1-9 表に示す。配管の想定破損による溢水の浸水水位は地震による溢水の浸水水位より低いことから、配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少なく、地震による溢水量に包含される。</p> <p>補足第 9. 1. 1-9 表 浸水水位の比較</p> <table border="1" data-bbox="207 846 878 1035"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m³]</th> <th colspan="2">浸水水位 T. M. S. L. [m]</th> </tr> <tr> <th>想定破損 による溢水</th> <th>地震 による溢水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 461</td> <td>約-4.0</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 547</td> <td>約-3.8</td> <td>8.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 1. 2 消火水の放水による溢水</p> <p>消火水の放水による溢水量は、「6. 消火水評価に用いる各項目の算出及び影響評価」より 54m³ であり、6 号及び 7 号炉のいずれのエリアにおいても、9. 1. 1 にて算出した配管の想定破損による溢水量より少ないことから、地震による溢水に包含される。</p> <p>9. 2 循環水ポンプ停止後の揚程低下を考慮した時間設定</p> <p>過去に実施した循環水系の過渡現象解析結果を踏まえ、保守的に揚程低下までの時間を 1 分と設定する。</p> | | ①溢水量[m ³] | ②タービン補機冷却海水系 保有水量[m ³] | 【6号炉】 | 約 284 | 約 177 | 【7号炉】 | 約 365 | 約 182 | | 配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m ³] | 浸水水位 T. M. S. L. [m] | | 想定破損 による溢水 | 地震 による溢水 | 【6号炉】 | 約 461 | 約-4.0 | 8.4 | 【7号炉】 | 約 547 | 約-3.8 | 8.3 | | | <p>・島根 2 号炉は「別添 1 本文 9. 1 復水器エリアにおける溢水 (9. 1. 2(2))」に記載【柏崎 6/7】</p> |
| | ①溢水量[m ³] | ②タービン補機冷却海水系 保有水量[m ³] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 約 284 | 約 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 約 365 | 約 182 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m ³] | 浸水水位 T. M. S. L. [m] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 想定破損 による溢水 | 地震 による溢水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【6号炉】 | 約 461 | 約-4.0 | 8.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【7号炉】 | 約 547 | 約-3.8 | 8.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--------------|-----------|----|---------|------|------|------|--------------------------|---------|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|--|--|--|
| <p>放水庭初期潮位等のパラメータを変えて複数の条件下で実施した解析結果において、循環水ポンプは停止後約 20 秒程度で揚程がゼロまで低下している (補足第 9.2-1 図)。</p> <div data-bbox="160 403 908 718" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small; text-align: center;">黒枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません</p> </div> <p>補足第 9.2-1 図 循環水ポンプ停止後の揚程 H 及び流量 Q の変動曲線</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所 6 号及び 7 号炉の循環水ポンプの仕様と、解析に用いた循環水ポンプの仕様の比較を補足第 9.2-1 表に示す。表より、柏崎刈羽原子力発電所 6 号及び 7 号炉の循環水ポンプと解析に用いた循環水ポンプの仕様はほぼ同じであるため、揚程変動も同程度となるが、本評価においては循環水ポンプが停止してから揚程が低下するまでの時間を保守的に 1 分と設定する (補足第 9.2-1 図赤線)。</p> <p style="text-align: center;">補足第 9.2-1 表 循環水ポンプ仕様の比較</p> <table border="1" data-bbox="160 1291 908 1440"> <thead> <tr> <th></th> <th>柏崎刈羽 6 号炉</th> <th>柏崎刈羽 7 号炉</th> <th>解析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全揚程 [m]</td> <td>12.5</td> <td>12.5</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>吐出流量 [m³/h]</td> <td>106,200</td> <td>106,200</td> <td>106,200</td> </tr> <tr> <td>回転数 [rpm]</td> <td>176.5</td> <td>176.5</td> <td>187.5</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>9.3 溢水流量算出式における損失係数 0.82 の妥当性について</u></p> <p>溢水流量算出式における損失係数 0.82 は、ベルヌーイの式から得られる損失係数 $\sqrt{\frac{l}{l+\zeta}}$ に、伸縮継手の断面形状を考慮してノズルの損失係数 0.5 を適用することにより得たものである。</p> | | 柏崎刈羽 6 号炉 | 柏崎刈羽 7 号炉 | 解析 | 全揚程 [m] | 12.5 | 12.5 | 14.0 | 吐出流量 [m ³ /h] | 106,200 | 106,200 | 106,200 | 回転数 [rpm] | 176.5 | 176.5 | 187.5 | | | <p>・島根 2 号炉も同じ損失係数を使用しているが詳細説明は記載していない</p> <p>【柏崎 6/7】</p> |
| | 柏崎刈羽 6 号炉 | 柏崎刈羽 7 号炉 | 解析 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全揚程 [m] | 12.5 | 12.5 | 14.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 吐出流量 [m ³ /h] | 106,200 | 106,200 | 106,200 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回転数 [rpm] | 176.5 | 176.5 | 187.5 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|-------------------------|--------------|----|
| <p>9.3.1 損失係数の導出</p> <p>ベルヌーイの実用式 (①) を補足第 9.3.1-1 図に示す配管損傷モデルに当てはめる。</p> $\frac{p_1}{\rho g} + \alpha_1 \frac{v_1^2}{2g} + z_1 = \frac{p_2}{\rho g} + \alpha_2 \frac{v_2^2}{2g} + z_2 + h \quad \text{①}$  <p>補足第 9.3.1-1 図 配管損傷モデル</p> <p>この配管損傷モデルに対し、①の左辺を配管内、右辺を配管外の状態とすると、各パラメータの条件は以下のとおりとなる。</p> <p>圧力 p $p_1 =$ 配管内圧、$p_2 =$ 大気圧、$p_1 \neq p_2$ 流速 v $v_1 =$ 流体の流速、$v_2 =$ 溢水の流速、$v_1 \neq v_2$ 位置ヘッド z $z_1 = z_2$ 損失ヘッド h $h = \zeta \frac{v_2^2}{2g}$ ($v_1 < v_2$) ζ は損失係数 速度ヘッド α 普通の管路では乱流状態であり $\alpha_1 = \alpha_2 \doteq 1$</p> <p>以上を整理すると、</p> $\frac{p_1}{\rho g} + \frac{v_1^2}{2g} = \frac{p_2}{\rho g} + \frac{v_2^2}{2g} + h$ $\frac{p_1}{\rho g} + \frac{v_1^2}{2g} - \frac{p_2}{\rho g} = \frac{v_2^2}{2g} + h \quad \text{②}$ <p>②の左辺は、配管内外の水が持つエネルギーの差分であり、ガイドにおける評価式の H に等しいことから、②式は以下のように表せる。</p> | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|-------------------------|--------------|----|
| <p style="text-align: center;">$H = \frac{v_2^2}{2g} + h \quad \textcircled{3}$</p> <p>上記条件の損失ヘッド h を③に代入して</p> $H = \frac{v_2^2}{2g} + \zeta \frac{v_2^2}{2g}$ $= \frac{v_2^2}{2g}(1 + \zeta)$ <p>これを v_2 で解くと</p> $v_2 = \sqrt{\frac{2gH}{1 + \zeta}} = \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}} \times \sqrt{2gH} \quad \textcircled{4}$ <p>溢水流量 $Q[\text{m}^3 / \text{h}]$ は、④に断面積 $A[\text{m}^2]$ および時間単位補正を考慮して</p> $Q = A \times \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}} \times \sqrt{2gH} \times 3600 \quad \textcircled{5}$ <p>ガイドにおける評価式は⑥のとおりであるから、</p> $Q = A \times C \times \sqrt{2gH} \times 3600 \quad \textcircled{6}$ <p>⑤, ⑥より $C = \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}}$ を得る。</p> | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|-------------------------|--------------|----|
| <p>9.3.2 ζの選定</p> <p>伸縮継手からの溢水モードと損失係数の考え方を補足第9.3.2-1 図に示す。伸縮継手が破損して水が循環水配管外に向かって流れる際、本来の流路に対して垂直方向に流れることになり、これは壁面に対して垂直に取り付けられている管路を流れるのと同義と見なすことができる。伸縮継手の破断形状は、破断幅と同じ管径を持った配管が断面積A となるように並んでいるのと等しい。よって、壁面に対して垂直に取り付けられている管路（ノズル）の損失係数0.5 をζの値として採用する。</p> | | | |



補足第 9.3.2-1 図 伸縮継手からの溢水モードと損失係数の考え方

9.4 漏えい検知インターロックの必要性について

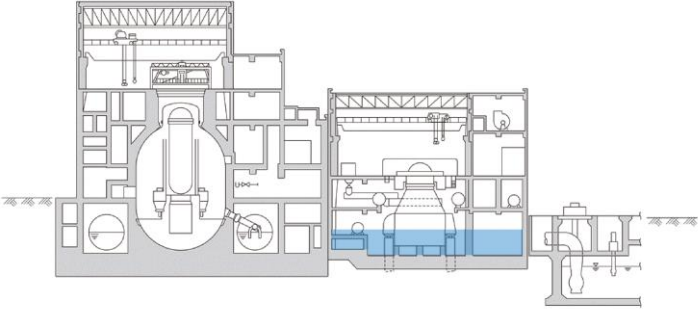
インターロックを設置しない状態において循環水系からの大規模溢水が発生した場合、復水器の冷却水流量が減少するため、復水器真空度の悪化や主タービン排気室温度上昇等が起り、プラント出力低下や停止操作が必要になる。また、循環水ポンプは手動停止や常用電源が喪失しない限り運転し続けるため、対応が遅れるとタービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）への溢水量が急速に増加する。

この状態が継続すると、タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）の浸水水位は、循環水ポンプの全揚程 12.5m まで上昇する。


タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）と原子炉建屋の境界は止水処置を施すこととしているが、タービン建屋から原子炉建屋へ溢水が移行して安全上重要な機器に影響を及ぼすリスクが高まる。

・島根 2号炉「別添 1 本文 9.1.1(2)循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックについて」にてインターロックについては記載しているが必要性については記載していない
【柏崎 6/7】

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|----------------------|--------------|--|
| <p>一方、運転員による循環水系の停止操作も可能であるが、スクラム対応との重畳を考慮すると、運転員の停止操作に担保を取ることはできない。したがって、循環水系の隔離対応については、循環水系からの大規模溢水を早期に検知し、運転員への負担をかけずに自動で隔離動作させるインターロックを設置することは、原子炉安全上必要と判断する。</p> <p>なお、小規模漏えいの場合は、既設の漏えい検知器にて漏えいを検知した後、中央操作室からカメラで漏えい状況を速やかに確認して、循環水ポンプ停止及び復水器出入口弁閉操作を実施する等の対応が可能である。</p> <p><u>9.5 漏えい検知インターロック誤動作時の影響について</u></p> <p>インターロックは原子炉スクラム信号と漏えい検知の and 条件のため、漏えい検知器が誤動作しただけでは中央操作室に警報を発するのみであり、インターロックのロジックは成立しない。ここでは、万一、何らかの原因でロジックが成立したと仮定した場合のプラント挙動について説明する。</p> <p>プラント運転中にインターロック誤動作により循環水ポンプが全台停止した場合は、ヒートシンク喪失により復水器真空度の急速悪化、タービン排気室温度上昇等が起こるため、運転員が原子炉冷却材再循環ポンプの手動ランバック及び原子炉手動スクラム手順を実施することにより原子炉は停止する。</p> <p>なお、仮に手動操作がなくても、復水器真空度低で主タービンがトリップ、原子炉スクラムし、運転員によるスクラム対応により原子炉は停止する。この時の挙動はプラント設計時において考慮されている発電機負荷遮断等の「プラント運転時の異常な過渡変化」に包含されており、原子炉に与える影響は小さい。</p> <p><u>9.6 溢水検知時間について (不確かさを考慮した保守性)</u></p> <p>溢水量評価においては、溢水がタービン建屋最地下階下部のトレンチに優先的に滞留するものとする等、溢水検知を遅らせることにより、インターロック成立までの時間に保守性をもたせるような考え方にに基づき評価を実施している。なお、実際に大規模溢水が発生した場合の検知までの時間については、2out of</p> | | | <p>(島根2号炉「別添1 本文 9.1.1(2)循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックについて」及び「添付資料4 2.3.3 既設回路への影響について」にてインターロックと安全解析への影響について記載している)</p> <p>(島根2号炉「別添1 本文 9.1 復水器エリアにおける溢水 (9.1.1 及び9.1.2)」に記載)</p> |

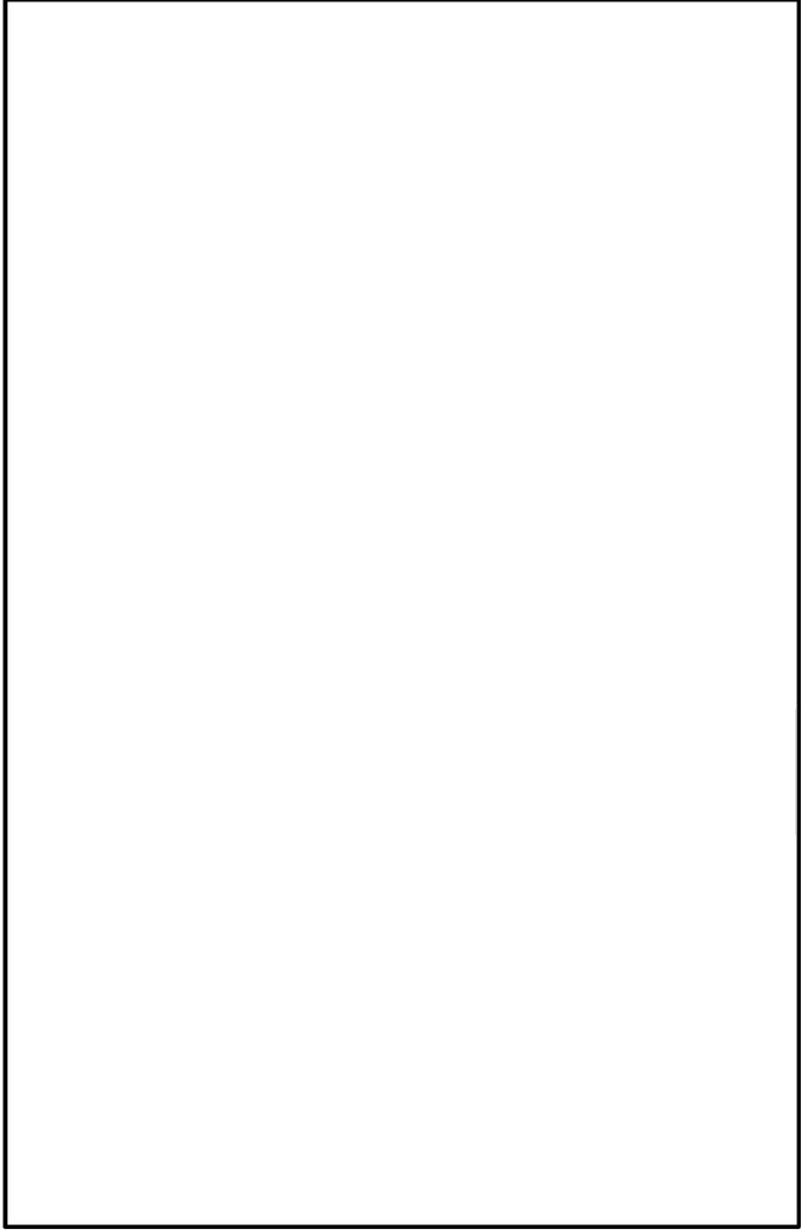
| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|----------------------|--|--|
| <p>3 論理でインターロックを成立させる漏えい検知器を破損箇所近傍に2系統設置していることから、数秒程度で確実にインターロックが成立するものとする。</p> <p>なお、この検知器はインターロックを成立させるほか、溢水を検知した段階で各検知器が中央操作室に警報を発する仕組みとなっている。</p> | | <p><u>1. タービン建物から溢水防護対象設備が設置される建物への溢水影響について</u></p> <p>タービン建物における溢水影響評価としては、溢水量が一番大きくなる循環水系配管の想定破損による溢水水位 EL5.9m に対して、保守的に EL8.8m までの隣接する溢水防護区画への溢水影響について確認を行った。</p> <p>タービン建物から溢水防護区画のある原子炉建物及び廃棄物処理建物への溢水伝播経路 (EL8.8m 以下) には、境界貫通部に対して止水対策を実施するため、溢水防護区画へ流入する可能性はないと評価している。</p> <p>なお、タービン建物周辺の地下水は、<u>基準地震動 Ss による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を設置することから、タービン建物まで地下水位が上昇することはなく、</u>地下水が溢水防護区画に影響を与えることはない。</p> <p>タービン建物及び原子炉建物断面図を図1に示す。</p>  <p>図1 タービン建物及び原子炉建物断面図</p> | <p>・島根2号炉は「別添1 9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」の補足説明資料として記載</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>・評価条件の相違</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>島根2号炉は基準地震動 Ss による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を考慮</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---|----|--------|-------------------------------------|-----------|-----------------|-----------|--------------------------|----------------------------------|----------|---------------|--------------------|---------------|---------------------------|-----------|-------------|---------------|---------------------------|-----------|----------------|-----------|----------------|-----------|-------------------|-----------|---|
| | | <p><u>2. 屋外タンクの溢水による建物への流入経路について</u></p> <p>屋外タンクの溢水影響評価において考慮する必要がある島根原子力発電所2号炉の外周扉及び外周扉以外の流入経路を抽出し、屋外タンクの溢水が溢水防護対象設備を設置された建物へ流入しないことを示す。</p> <p>2.1 建物外周扉以外の流入経路について</p> <p>島根原子力発電所2号炉と屋外の境界のうち、建物外周扉以外の流入経路として、地上部の貫通部及び地下ダクト等の貫通部がある。このうち地上1m以下の地上部の貫通部については、貫通部止水処置が実施されていることから流入経路とはならない。地下ダクト等はEL8.5mの敷地の地下部に7箇所、EL15.0mの敷地の地下部に4箇所あり、それぞれ表1に示す位置に止水処置を実施するため、流入経路とはならない。図2に地下ダクト等の位置を示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 ダクトの止水処理位置</p> <table border="1" data-bbox="1745 1207 2478 1717"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>止水処置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)</td> <td>屋外-ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>② タービン建物～取水槽境界壁</td> <td>タービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト</td> <td>ダクト┌タービン建物境界部 └取水槽海水ポンプエリア境界部</td> </tr> <tr> <td>④ 薬品系ダクト</td> <td>ダクト-タービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト</td> <td>ダクト-タービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)</td> <td>屋外-ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑦ OFケーブルダクト</td> <td>ダクト-タービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)</td> <td>屋外-ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト</td> <td>屋外-ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑩ 第1ベントフィルタ格納槽</td> <td>屋外-格納槽境界部</td> </tr> <tr> <td>⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽</td> <td>屋外-格納槽境界部</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 止水処置位置 | ① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物) | 屋外-ダクト境界部 | ② タービン建物～取水槽境界壁 | タービン建物境界部 | ③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト | ダクト┌タービン建物境界部 └取水槽海水ポンプエリア境界部 | ④ 薬品系ダクト | ダクト-タービン建物境界部 | ⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト | ダクト-タービン建物境界部 | ⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒) | 屋外-ダクト境界部 | ⑦ OFケーブルダクト | ダクト-タービン建物境界部 | ⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽) | 屋外-ダクト境界部 | ⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト | 屋外-ダクト境界部 | ⑩ 第1ベントフィルタ格納槽 | 屋外-格納槽境界部 | ⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽 | 屋外-格納槽境界部 | <p>・島根2号炉は「別添1 10.1 屋外タンク等の溢水による影響」の補足説明資料として記載 【柏崎6/7, 東海第二】</p> |
| 名称 | 止水処置位置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物) | 屋外-ダクト境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② タービン建物～取水槽境界壁 | タービン建物境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト | ダクト┌タービン建物境界部 └取水槽海水ポンプエリア境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 薬品系ダクト | ダクト-タービン建物境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト | ダクト-タービン建物境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒) | 屋外-ダクト境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ OFケーブルダクト | ダクト-タービン建物境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽) | 屋外-ダクト境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト | 屋外-ダクト境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩ 第1ベントフィルタ格納槽 | 屋外-格納槽境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽 | 屋外-格納槽境界部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|----------------------|--|----|
| | |  <p data-bbox="1952 1373 2279 1407">図2 地下ダクト等の位置</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------------------|---|---|
| | | <p>3. 接続する建物からの溢水影響評価</p> <p>3.1 はじめに</p> <p>島根原子力発電所2号炉に隣接して設置される1号炉の原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物内には、2号炉の溢水防護対象設備はないが、これらの建物内に設置されている機器等の破損により生じる溢水が連絡通路等の接続箇所から伝播し、溢水防護対象設備の設置されている2号炉の原子炉建物及び廃棄物処理建物並びに共用建物の制御室建物の溢水影響評価に影響を及ぼさないことを確認する。島根原子力発電所1号炉と2号炉の位置関係を図3に示す。</p> <p>なお、島根原子力発電所3号炉と2号炉との接続箇所はない。</p> <p>図3 島根原子力発電所1号炉と2号炉の位置関係</p> | <p>・島根2号炉は「別添1 9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」の補足説明資料として記載</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|--|----|------|---------------|--|----------------|--|
| | | <p>3.2 接続する建物の抽出</p> <p>島根原子力発電所の敷地内の建物のうち、2号炉の建物に隣接し、かつ、連絡通路等により2号炉の建物と接続している建物の抽出結果を表2に、接続箇所を図4に示す。</p> <p style="text-align: center;">表2 接続する建物の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1736 514 2504 1096"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 514 1905 558">建物</th> <th data-bbox="1905 514 2504 558">接続箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1736 558 1905 827">1号炉 タービン建物</td> <td data-bbox="1905 558 2504 1096" rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 827 1905 1096">1号炉 廃棄物処理建物</td> </tr> </tbody> </table> | 建物 | 接続箇所 | 1号炉 タービン建物 | | 1号炉 廃棄物処理建物 | |
| 建物 | 接続箇所 | | | | | | | |
| 1号炉 タービン建物 | | | | | | | | |
| 1号炉 廃棄物処理建物 | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|----------------------|---|----|
| | |  <p data-bbox="1923 1465 2320 1495">図4 2号炉の建物との接続箇所</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------|--|------|------------------------|---------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|-----|---------|--|
| | | <p>3.3 溢水防護対象設備の設置されている建物への影響評価</p> <p>3.3.1 影響評価の前提条件</p> <p>a. 1号炉は低温停止状態にあり、循環水系は停止状態にあるものとする。</p> <p>b. 1号炉の原子炉建物は2号炉建物との接続箇所はなく、建物内で発生した溢水は原子炉建物の最下層に流入するため、他の建物への影響は生じない。</p> <p>c. 1号炉のタービン建物及び廃棄物処理建物は、2号炉建物との接続箇所があるため、建物内の機器（容器及び配管）の全保有水量が溢水すると想定して、他の建物への影響を評価する。なお、発生した溢水は、各建物の最下階へ流入する。</p> <p>3.3.2 1号炉タービン建物の影響評価結果</p> <p>1号炉タービン建物と制御室建物が接続している EL8.8m までの範囲の貯留可能容積は、機器等の設置面積や床スラブ厚を考慮して、表3のとおり算出した。</p> <p>1号炉タービン建物内の保有水量に復水貯蔵タンクの水量を加えた想定溢水量とタービン建物内の貯留可能容積を比較した結果、制御室建物へ溢水の流出はなく、溢水防護対象設備の設置されている建物への影響がないことを確認した。</p> $\left(\begin{array}{l} 2700\text{m}^3 \\ \text{1号炉タービン建物内の} \\ \text{想定溢水量} \end{array} \right) < \left(\begin{array}{l} 11170\text{m}^3 \\ \text{1号炉タービン建物の} \\ \text{貯留可能容積} \end{array} \right)$ <p>表3 1号炉タービン建物の溢水を貯留できる空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1736 1413 2499 1644"> <thead> <tr> <th>建物範囲</th> <th>空間容積 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EL-1.5~EL1.8m</td> <td>約 1290</td> </tr> <tr> <td>EL1.8~EL3.5m</td> <td>約 1050</td> </tr> <tr> <td>EL3.5~EL8.8m</td> <td>約 8830</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約 11170</td> </tr> </tbody> </table> | 建物範囲 | 空間容積 [m ³] | EL-1.5~EL1.8m | 約 1290 | EL1.8~EL3.5m | 約 1050 | EL3.5~EL8.8m | 約 8830 | 合 計 | 約 11170 | |
| 建物範囲 | 空間容積 [m ³] | | | | | | | | | | | | |
| EL-1.5~EL1.8m | 約 1290 | | | | | | | | | | | | |
| EL1.8~EL3.5m | 約 1050 | | | | | | | | | | | | |
| EL3.5~EL8.8m | 約 8830 | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 約 11170 | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------|--|------|------------------------|---------------|--------|-----|--------|--|
| | | <p>3.3.3 1号炉廃棄物処理建物の影響評価結果</p> <p>1号炉廃棄物処理建物と制御室建物が接続している EL8.8m に設置する水密扉の許容水深である EL15.3m までの範囲の貯留可能容積は、機器等の設置面積や床スラブ厚を考慮して、表4のとおり算出した。</p> <p>1号炉廃棄物処理建物内の保有水量に復水貯蔵タンクの水量を加えた想定溢水量と建物内の貯留可能容積を比較した結果、制御室建物へ溢水の流出がなく、溢水防護対象設備の設置されている建物への影響がないことを確認した。</p> $4400\text{m}^3 < 4920\text{m}^3$ $\left(\begin{array}{l} \text{1号炉廃棄物処理建物内の} \\ \text{想定溢水量} \end{array} \right) < \left(\begin{array}{l} \text{1号炉廃棄物処理建物} \\ \text{の貯留可能容積} \end{array} \right)$ <p>表4 1号炉廃棄物処理建物の溢水を貯留できる空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1745 919 2502 1058"> <thead> <tr> <th>建物範囲</th> <th>空間容積 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EL6.5~EL15.3m</td> <td>約 4920</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約 4920</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.3.4 評価結果のまとめ</p> <p>以上より、1号炉の原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物の建物内に設置されている機器等の破損により生じる溢水が、2号炉の原子炉建物及び廃棄物処理建物並びに共用建物の制御室建物へ影響を及ぼすことはない。</p> | 建物範囲 | 空間容積 [m ³] | EL6.5~EL15.3m | 約 4920 | 合 計 | 約 4920 | |
| 建物範囲 | 空間容積 [m ³] | | | | | | | | |
| EL6.5~EL15.3m | 約 4920 | | | | | | | | |
| 合 計 | 約 4920 | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|--|--|---|
| <p style="text-align: right;">補足説明資料 10</p> <p>蒸気影響評価において原子炉格納容器内の溢水防護対象設備を対象外とする考え方について</p> <p>本資料は原子炉格納容器内における防護対象設備の耐環境仕様と耐環境性能試験、及び保全の実施状況について説明するものである。</p> | <p style="text-align: right;">補足説明資料-7</p> <p>原子炉格納容器内設備（耐環境仕様）を溢水影響評価において対象外とする考え方について</p> <p>原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内の一部の設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故（以下「LOCA」という。）時のPCV内の状態を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件：圧力0.31MPa〔gage〕（最高使用圧力）、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>1. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、PCVスプレイの蒸気凝縮効果によってPCVを効果的に減圧することができる。PCVスプレイ水はドライウェル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備についてはPCVスプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため、PCV内に設置されており事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>2. 没水影響評価 LOCA時にPCV内に発生する破断口からの溢水及びPCVスプレイ水は、PCV内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サプレッション・プールに流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレイ系は復水貯蔵タンクを水源とした場合、サプレッション・プール水位高又は、復水貯蔵タンク水位低により、水源はサプレッション・プールに切り替わることから、LOCA時にサプレッション・プール水位高よりも高水位までPCVが溢水することは無い。 PCV内の防護対象設備は上述したサプレッション・プール水位高以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p> | <p style="text-align: right;">補足説明資料 10</p> <p>溢水影響評価において原子炉格納容器内の防護対象設備を対象外とする考え方について</p> <p>原子炉格納容器内における防護対象設備の溢水影響評価、耐環境性能試験及び保全の実施状況について以下に示す。</p> <p>1. 原子炉格納容器内の溢水影響評価 (1) 被水影響評価 LOCA時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、PCVスプレイの蒸気凝縮効果によってPCVを効果的に減圧することができる。PCVスプレイ水はドライウェル内に一様に噴霧されるため、LOCA時に動作が必要となる機器については、LOCA時の雰囲気下で機能を達成するように設計及び試験を行っている。</p> <p>(2) 没水影響評価 LOCA時にPCV内に破断口から流出する冷却水及びPCVスプレイ水は、PCV内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サプレッションチェンバ（以下、S/Cという）へ流れ込む設計となっている。また、LOCA時の注水源は、S/Cであることから、LOCA時にPCVのベント管設置位置よりも高水位までPCVが溢水することは無く、PCV内の防護対象設備の没水影響評価は不要である。</p> | <p>備考</p> <p>・島根2号炉は原子炉格納容器内の被水影響評価及び没水影響評価を記載 【柏崎6/7】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|---|--|----|
| <p>10.1 耐環境仕様について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は、原子炉冷却材喪失事故時の高温・高圧環境に対して機能維持が図られるよう機器の設計条件を定め、設計及び試験を実施している。</p> <p>圧力については、原子炉格納容器内における各種配管破断を想定した場合の解析結果のうち最も厳しくなる、原子炉格納容器内の給水配管破断時の環境を包絡した条件を設定している（補足第 10.1-1 図参照）。</p> <p>また、温度については、蒸気小漏えい事故を仮定した際に過熱蒸気が発生すると考えられるため、その断熱膨張により得られる理論上の最高温度である 171℃を考慮して条件を設定している。</p> <p>補足第 10.1-2 図に事故後時間と原子炉格納容器内の温度条件の関係を示す。</p> | <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、PCV内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>LOCA時に機能要求があるPCV内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確証試験は、PCV内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境を包絡した条件で行っている。</p> | <p>(3) 蒸気影響評価結果</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気（設計条件 最高圧力：0.427MPa, 最高温度：171℃）となる。</p> <p>LOCA時に機能要求のある原子炉格納容器内の防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう必要な試験を実施し、設備を設計している。蒸気影響を確認した試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断条件（主蒸気配管破断時の環境を包含）で実施している。再循環配管破断による格納容器内の圧力変化及び温度変化を図 1-1, 1-2 に示す。</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|-------------------------|--------------|----|
| <div data-bbox="166 331 902 1075" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="151 1150 923 1270">補足第 10. 1-1 図 原子炉格納容器内の給水配管破断時の圧力変化 と機器の設計条件 (圧力条件)</p> | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|----------------------|--------------|----|
| <div data-bbox="181 289 887 1098" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="142 1150 931 1228" data-label="Caption"> <p>補足第 10.1-2 図 原子炉格納容器内における機器の設計条件 (温度条件)</p> </div> | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|--|---|------------------------------------|
| <p>10.2 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の耐環境性能試験</p> <p>10.1 で設定した仕様が要求される設備については、その仕様を満たすよう、導入時に耐環境性能試験を実施し、所定の機能を発揮できることを確認している。実施例を補足第10.2-1図に示す。なお、原子炉格納容器内に設置される弁については原子炉格納容器スプレイ系統からの放水を考慮し、純水を6.1×10³cm³/min・m²の割合で放水した試験を実施している。</p> <div data-bbox="154 699 914 1075" style="border: 1px solid black; height: 179px; width: 256px; margin: 10px 0;"></div> <p>補足第10.2-1図 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の耐環境性能試験例 (残留熱除去系停止時冷却隔離弁 (E11-M0-F010A))</p> <p>10.3 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の保全状況について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備については、前述したとおり導入時に耐環境性能試験を実施しており、導入後も定期点検や定期取替を実施し、プラントの安全機能に影響のないようにしている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期にて外観点検・特性試験や分解点検を実施している。</p> <p>また、定期取替については、設備の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。</p> <p>6号及び7号炉においては、補足第10.3-1表のとおり保全を行っており耐環境性能の維持を図っている。</p> | <p>4. PCV内防護対象設備の保全状況</p> <p>LOCA時に機能要求があるPCV内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図られている。</p> <p>(1) 弁駆動部及び計器</p> <p>長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</p> <p>(2) ケーブル及びケーブル接続部</p> <p>長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブル及びケーブル接続部は定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認して</p> | <p>2. 耐環境性能試験について</p> <p>原子炉格納容器内耐環境仕様を確認した耐環境性能試験の例を以下に示す。</p> <p>(1) 電動弁の耐環境性能試験</p> <p>電動弁は、図2-1に示す環境条件(温度:最大174℃)において耐環境性能試験を行い、機能を維持することを確認している。</p> <p>(2) 温度測定素子(熱電対)の耐環境性能試験</p> <p>温度測定素子は、環境解析結果を満足するLOCA環境下で実施している。具体的には、図2-2に示す環境条件において耐環境性能試験を行い、熱電対がどのような出力特性を示すか連続的に測定し、試験前後、及び試験中に断線、短絡の有無、絶縁抵抗の変化を確認することで機能を維持することを確認している。</p> <p>(3) MSIVの耐環境性能試験</p> <p>MSIVの電磁弁を内蔵するコントロールパネルは、図2-3に示す環境条件においてLOCA環境試験を行い、機能を維持することを確認している。</p> <p>3. 原子炉格納容器内の防護対象設備の保全状況について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は導入時に耐環境性能試験を実施しており、導入後も定期点検や定期取替を実施し、プラントの安全機能に影響のないようにしている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期にて外観点検・特性試験や分解点検を実施している。</p> <p>また、定期取り替えについては、設備の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。表3-1に保全状況を示す。</p> | <p>・島根2号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p> |

いる。
制御・計装用ケーブルについては、系統機器の動作、又は計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。

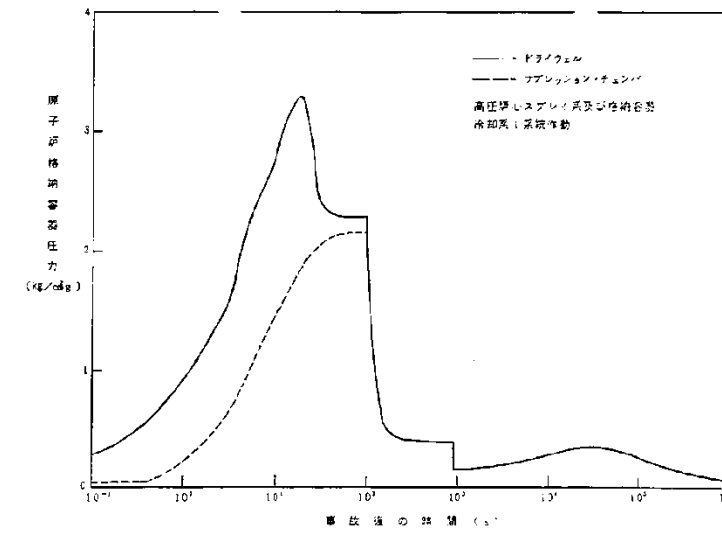


図 1-1 再循環配管瞬時完全破断事故時におけるドライウエル及びサプレッション・チェンバの圧力変化

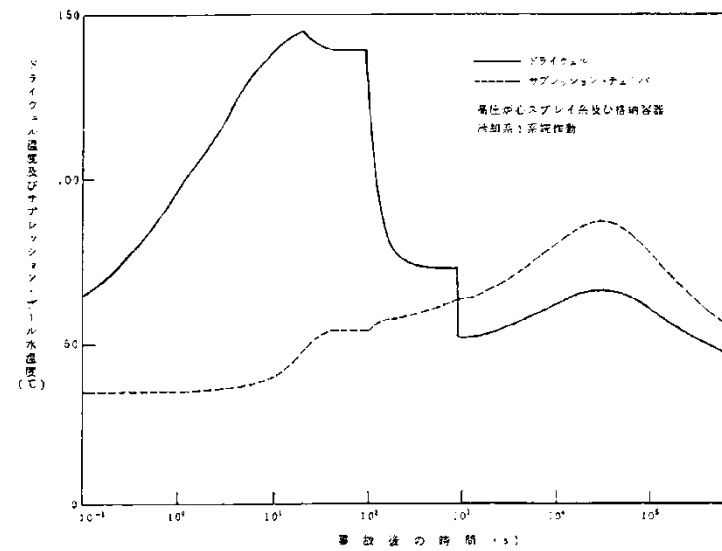
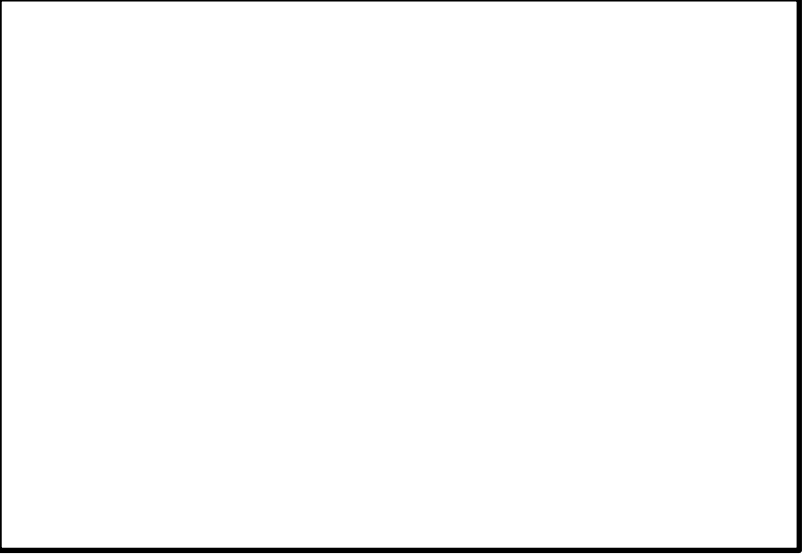


図 1-2 再循環配管瞬時完全破断事故時におけるドライウエル温度及びサプレッション・プール水温度変化

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|----------------------|--|----|
| | | <div data-bbox="1745 304 2487 800" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1902 831 2323 873" data-label="Caption"> <p>図 2-1 電動弁の耐環境性能試験</p> </div> <div data-bbox="1745 898 2472 1461" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1878 1503 2347 1545" data-label="Caption"> <p>図 2-2 温度検出器の耐環境性能試験</p> </div> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|----------------------|---|----|
| | |  <p data-bbox="1935 835 2303 869">図 2-3 MSIVの耐環境性能試験</p> | |

補足第10.3-1表 6号及び7号炉 原子炉格納容器内に設置される
防護対象設備の保全状況

| 設備 | | 保全周期(※1) | | |
|---------|----------|----------|------|-----|
| 種別 | 部位 | 点検(※2) | 分解点検 | 取替 |
| 電動弁 | 電動機 | 1C | — | — |
| | 駆動装置 | — | ~5C | — |
| | 弁 | — | ~7C | — |
| 空気作動弁 | 駆動装置 | 1C | ~5C | — |
| | 弁 | 1C | ~4C | — |
| | 電磁弁 | 1C | — | ~4C |
| | リミットスイッチ | 1C | — | ~4C |
| 中性子束検出器 | 本体 | 1C | — | ~6C |
| 温度計 | 本体 | 1C | — | — |
| 制御棒駆動機構 | 本体 | — | ~10C | — |
| ケーブル | 本体 | (※3) | — | — |

※1 保全周期はサイクル(C)で表し、1サイクル(1C)は13か月である。

※2 外観点検、特性試験、作動確認等を実施。

※3 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施。

表3-1 原子炉格納容器内耐環境仕様設備及び保全状況

| 設備番号 | 設備名称 | 保全状況 | | |
|------------------------|------------------------|-----------|---------|-----------------|
| | | 点検部位 | 点検周期 | 保全内容 |
| AV201-1 | 炉水クランプリング内側隔離弁 | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | 駆動部 | 78M | 分解点検 |
| | | リミットスイッチ | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | 78M | 定期取替 |
| | | 電磁弁 | 1C | 機能・性能試験 |
| AV202-1A~D | A~D-主蒸気内側隔離弁 | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | コントロールパネル | 13M | 分解点検 |
| | | リミットスイッチ | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | 26M | 定期取替 |
| MV202-2 | 主蒸気ドレン内側隔離弁 | 電磁弁 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | 52M | 定期取替 | |
| | | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| RV202-1A~M | A~M-主蒸気逃がし安全弁 | 本体 | 13M | 機能・性能試験 |
| | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | リミットスイッチ | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | 65M | 定期取替 |
| | | 電磁弁 | 1C | 機能・性能試験 |
| MV213-1A, B | A, B-CUW 入口元弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV213-2 | RPVドレン側流量調節弁パイパス弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV213-3 | CUW 入口内側隔離弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV214-41 | PCV 内冷却水出口外側隔離弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV221-20 | 蒸気内側隔離弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV222-14 | RHR 炉頂部冷却内側隔離弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV222-6 | RHR 炉水入口内側隔離弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| TE222-5A-1 ~ 6, 5B-1~6 | トラス水温度 | 本体 | 1C | 特性試験 |
| | | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| MV252-1 | ドライウェル機器ドレン内側隔離弁 | 駆動部 | 5C | 機能・性能試験 |
| | | 65M | 分解点検 | |
| MV252-3 | ドライウェル床ドレン内側隔離弁 | 駆動部 | 5C | 機能・性能試験 |
| | | 65M | 分解点検 | |
| MV265-2 | HVD 冷却機出口弁 | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| MV278-400 | 原子炉水クランプリング内側隔離弁(PASS) | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | 5C | 機能・性能試験 | |
| LPRM04-21, 29, 37A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験(絶縁抵抗測定) |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 |

・設備の相違
【柏崎6/7】
・島根2号炉は原子炉格納容器内の防護対象設備の保全状況を記載
【東海第二】


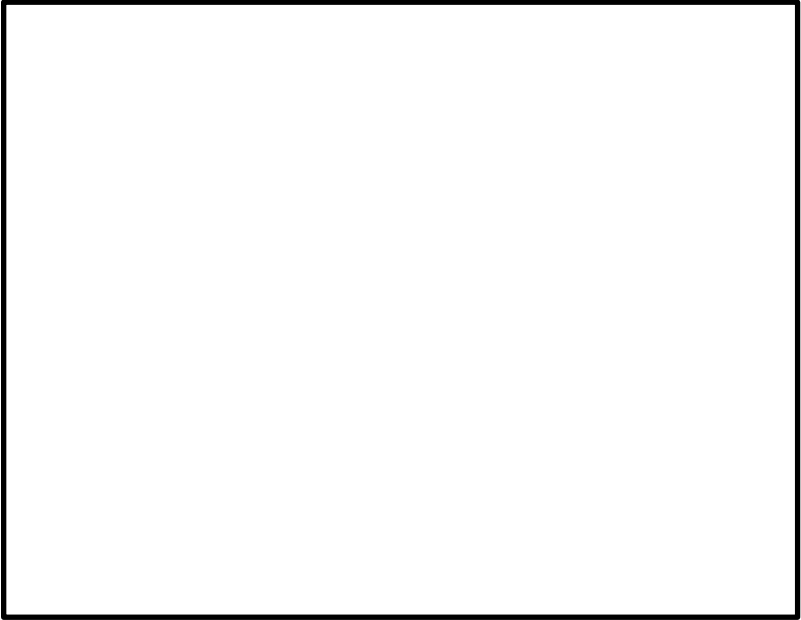
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|---|------|-----------------|------|--|--|------|------|------|------|------|------------------------------|----------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|----------------------------------|----------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|----------------------------------|----------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|----------------------------------|----------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|------------------------------|----------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|-------------|---------------------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|-------------|---------------------|-----------|----|---------------|------|----|-----------------|--|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>点検部位</th> <th>点検周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NE294-11~18</td> <td rowspan="2">IRM 検出器 (ch. 11~18)</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NE294-21~24</td> <td rowspan="2">SRM 検出器 (ch. 21~24)</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> </tbody> </table> | 設備 | | 保全状況 | | | 設備番号 | 設備名称 | 点検部位 | 点検周期 | 保全内容 | LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | NE294-11~18 | IRM 検出器 (ch. 11~18) | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | NE294-21~24 | SRM 検出器 (ch. 21~24) | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | |
| 設備 | | 保全状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備番号 | 設備名称 | 点検部位 | 点検周期 | 保全内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D | LPRM 検出器 | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NE294-11~18 | IRM 検出器 (ch. 11~18) | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NE294-21~24 | SRM 検出器 (ch. 21~24) | 検出器及びケーブル | 1C | 特性試験 (絶縁抵抗測定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コネクタ | 1C | 機能・性能試験 外観点検 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|--|---|------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">補足説明資料 11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋二次格納施設内（原子炉格納容器外） 防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建屋二次格納施設内のうち、原子炉格納容器の外側の区域（以下本資料では「二次格納施設」という。）内に設置される防護対象設備については、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管の破断により発生する蒸気影響を考慮した設計（耐環境設計）としているため、蒸気影響評価において、蒸気による影響を受けないものとしている。</p> <p>耐環境設計の具体的な内容を以下に示す。また、供用開始以降に機能維持を図るにあたり実施している保守管理の内容についても合わせて示す。</p> <p>11.1 二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計について</p> <p>二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計では、二次格納施設内における高エネルギー配管破断の際に生じ得る環境を考慮して機器設計環境仕様を定め、同仕様に基づき設定した環境条件による事故模擬試験を行い、環境に対する適合性を確認している。</p> <p>機器設計環境仕様内容及び事故模擬試験における環境条件の例を以下に示す。</p> <p>11.1.1 機器設計環境仕様</p> <p>機器設計環境仕様は、高エネルギー配管破断として一次冷却材を内包する主蒸気配管、給水配管、原子炉隔離時冷却系の蒸気配管、原子炉冷却材浄化系の配管等の破断を考慮し、破断形態としては漏えいを含め瞬時両端破断までを想定し、圧力及び温度についてそれぞれ次のとおりとしている。</p> | <p style="text-align: center;">補足説明資料-11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建屋原子炉棟内の設備に対しては、高エネルギー配管破断による影響を考慮し、以下のとおり設計しており、蒸気影響がないことを確認している。</p> <p>1. 原子炉建屋原子炉棟の環境条件の考え方</p> <p>原子炉棟における環境条件の設定については、高エネルギー配管破断として主蒸気配管破断、給水配管破断、原子炉隔離時冷却系蒸気配管破断及び原子炉冷却材浄化系配管破断を考慮しており、各配管の破断形態として、漏えいを含め瞬時両端破断までを想定している。</p> | <p style="text-align: center;">補足説明資料 11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建物二次格納施設内（原子炉格納容器外）の 溢水防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建物二次格納施設内の溢水防護対象設備に対しては、高エネルギー配管破断による影響を考慮して以下のとおり設計しているため、蒸気影響がないことを確認した。</p> <p>1. 二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計について</p> <p>二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計では、二次格納施設内における高エネルギー配管破断の際に生じ得る環境を考慮して機器設計環境仕様を定め、同仕様に基づき設定した環境条件による耐環境性能試験を行い、環境に対する適合性を確認している。</p> <p>原子炉建物二次格納施設の環境条件の考え方内容及び溢水防護対象設備の耐環境性能試験の確認例を以下に示す。</p> <p>2. 原子炉建物二次格納施設の環境条件の考え方</p> <p>原子炉建物二次格納施設における環境条件の設定については、高エネルギー配管破断として主蒸気系配管破断、給水系配管破断、原子炉隔離時冷却系蒸気配管破断、原子炉浄化系配管破断を考慮しており、完全全周破断を想定している。</p> | <p>・島根2号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|---|--|---|
| <p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、<u>圧力条件として設定している。</u></p> <p><u>ここで、二次格納施設内にはブローアウトパネル*が設置されており、パネルの開放によって二次格納施設内の圧力を大気開放する設計となっているため、二次格納施設内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ブローアウトパネル</p> <p><u>プラント運転中に原子炉格納容器外で配管が破断した場合に、高圧の蒸気が建屋内に漏えいすることにより生じる建屋内の圧力上昇によって、建屋内で扉等の損傷を発生させないために、建屋内に損傷箇所(圧力開放箇所)を限定して発生させる目的で設けている設備。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>圧力上昇時のブローアウトパネルの開放を考慮し、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。</p> <p>なお、<u>一次冷却系統配管の近傍に存在し、かつ漏えい発生時に作動することが求められる漏えい検出装置、隔離弁については、漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となることを考慮し、断熱膨張により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃を設定している。また、過熱蒸気の漏えいは、隔離弁の閉止や原子炉減圧によって終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下するとし、過熱蒸気の漏えいは保守的に 1 時間継続するものとしている。</u></p> <p>以上の各条件を補足第 11.1.1-1 図に示す。</p> | <p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、環境条件として設定している。なお、大規模な破断が生じた際には速やかにブローアウトパネルの開放によって建屋外に圧力を排出することになるため、<u>原子炉建屋原子炉棟内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ ブローアウトパネルについて</p> <p>原子炉格納容器外の<u>主蒸気配管の破断を想定した場合、破断口より放出される蒸気が建屋内に充満し圧力上昇を引き起こす。この建屋内の圧力上昇により原子炉格納容器に作用する外圧が原子炉格納容器の最高使用外圧を超えないように、建屋外に圧力を逃がすことを目的としてブローアウトパネルを設置している。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>原子炉建屋内の一次系蒸気が直接漏えいする区画*¹では、<u>漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となるため、等エンタルピ変化により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃(原子炉格納容器内の最高使用温度と同じ)を設定している。なお、冷却材の流出は隔離弁等の閉止、又は原子炉減圧によって放出が終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下する。</u></p> <p><u>また、その他の区画においては、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。原子炉建屋原子炉棟内温度状態の例を第 1 図に示す。</u></p> <p>※1: <u>機器環境条件仕様書より、主蒸気トンネル室が該当区画となる</u></p> | <p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、<u>環境条件として設定している。なお、大規模な破断が生じた際には速やかにブローアウトパネル*の開放によって建物外に圧力を排出することになるため、原子炉建物二次格納施設内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ブローアウトパネル</p> <p><u>原子炉格納容器外の一次系配管の破断を想定した場合、破断口より放出される蒸気が建物内に充満し圧力上昇を引き起こす。この建物内の圧力上昇により原子炉格納容器に作用する外圧が原子炉格納容器の最高使用外圧を超えないように、建物外に圧力を逃がすことを目的としてブローアウトパネルを設置している。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>原子炉一次系配管が存在する主蒸気管室、原子炉隔離時冷却系タービン室等の区画では、<u>漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となるため、等エンタルピ変化により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃(原子炉格納容器内の最高使用温度と同じ)を設定している。なお、隔離弁の閉止、又は原子炉減圧によって原子炉一次系の蒸気放出が終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下するとし、過熱蒸気の漏えいは保守的に 1 時間継続するものとしている。</u></p> <p><u>また、その他の区画においては、圧力上昇時のブローアウトパネルの開放を考慮し、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。図 2-1 に温度変化を、図 2-2 に設定した各区画の温度条件を示す。</u></p> | <p>備考</p> <p>・島根 2 号炉は各区画の温度条件を記載 【柏崎 6/7】 (東海第二は 1. (3) に記載)</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|--|--|----|
| <div data-bbox="160 296 908 814" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="160 835 908 913">補足第 11.1.1-1 図 二次格納施設内における機器設計環境仕様 (温度条件)</p> | <div data-bbox="1032 304 1617 856" data-label="Figure"> </div> <p data-bbox="1050 877 1599 913">第 1 図 原子炉建屋原子炉棟内温度状態 (例)</p> | <div data-bbox="1745 331 2487 861" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1872 877 2362 913">図 2-1 二次格納施設内の区画の温度変化</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|---|-------------------------|---|--------------------------------------|
| <p>11.1.2 事故模擬試験における環境条件</p> <p>前項の2 ケースの機器設計環境仕様の各々について、環境適合性確認のための事故模擬試験における環境条件を以下に例示する。</p> <p>①上限温度 100℃のケース：</p> <p>【試験対象】</p> <p>伝送器 (原子炉水位 (B21-LT003))</p>  <p>補足第 11.1.1-2 図 事故模擬試験における環境条件 (上限温度 100℃のケース)</p> | | <p>3. 溢水防護対象設備の蒸気環境適合性の確認例</p> <p>溢水防護対象設備の蒸気環境適合性について、確認例を図 3-1, 3-2 に示す。</p> <p>(1) 高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画</p>  <p>図 3-1 耐環境性能試験条件 (高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画の例)</p> | <p>・島根 2 号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|-------------------------|--|----|
| <p>②上限温度 171°Cのケース：</p> <p>【試験対象】</p> <p>隔離弁（残留熱除去系ポンプサプレッションプール水吸込 隔離弁（A）（E11-MO-F001A））</p>  <p>補足第 11. 1. 1-3 図 事故模擬試験における環境条件（上限温度 171°Cのケース）</p> | | <p>(2) 高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画以外</p>  <p>図 3-2 耐環境性能試験条件（高エネルギーの蒸気が直接漏えい する区画以外の例）</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|--|----------------------|--|----|
| <p>11.2 二次格納施設内防護対象設備の保守管理</p> <p>二次格納施設内の防護対象設備については、11.1で述べたとおりの耐環境設計を行っているが、供用開始以降についても、定期点検・取替を行うことにより機能維持を図っている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期により、外観点検・特性試験や分解点検を実施している。また定期取替については、機器の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。</p> <p>6号及び7号炉の保守管理の具体的な内容を補足第11.2-1表に示す。</p> | | <p>4. 二次格納施設内溢水防護対象設備の保守管理</p> <p>二次格納施設内の溢水防護対象設備については、1.項で示した通りの耐環境設計を行っているが、供用開始以降についても、定期点検・取替を行うことにより機能維持を図っている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期により、外観点検・特性試験や分解点検を実施している。また定期取替については、機器の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。保守管理の具体的な内容を表4-1に示す。</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|---|--------------|----|
| | <p>(3) <u>原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備の保全状況について</u> <u>機能要求がある原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図られている。</u></p> <p>a. <u>弁駆動部及び計器</u> <u>長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</u></p> <p>b. <u>ケーブル及びケーブル接続部</u> <u>長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブル及びケーブル接続部は定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認している。</u> <u>制御・計装用ケーブル及びケーブル接続部については、系統機器の動作、計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。</u> <u>原子炉建屋原子炉棟における蒸気の影響評価検討範囲を第2図に、防護対象設備の蒸気影響評価結果と耐環境性能維持に係る保全状況を第1表に示す。</u></p> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|--|--------------|--|
| | <div data-bbox="946 422 1700 1455" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1670 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (1/8)</p> </div> | | <p>・島根2号炉の溢水影響評価では運転時環境最高温度は使用していないため、記載していない 【東海第二】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| | <div data-bbox="955 436 1691 1486" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1507 1673 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (2/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| | <div data-bbox="958 436 1691 1486" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1507 1673 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (3/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| | <div data-bbox="946 430 1703 1539" style="border: 1px solid black; height: 528px; width: 255px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1549 1673 1633" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (4/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| | <div data-bbox="943 430 1697 1537" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1549 1668 1633" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (5/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|--|--------------|----|
| | <div data-bbox="943 426 1697 1499" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1673 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (6/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|--|--------------|----|
| | <div data-bbox="943 436 1697 1444" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="943 1465 1626 1549" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (7/8)</p> </div> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|--|--------------|----|
| | <div data-bbox="943 443 1697 1438" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1459 1673 1543" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (8/8)</p> </div> | | |

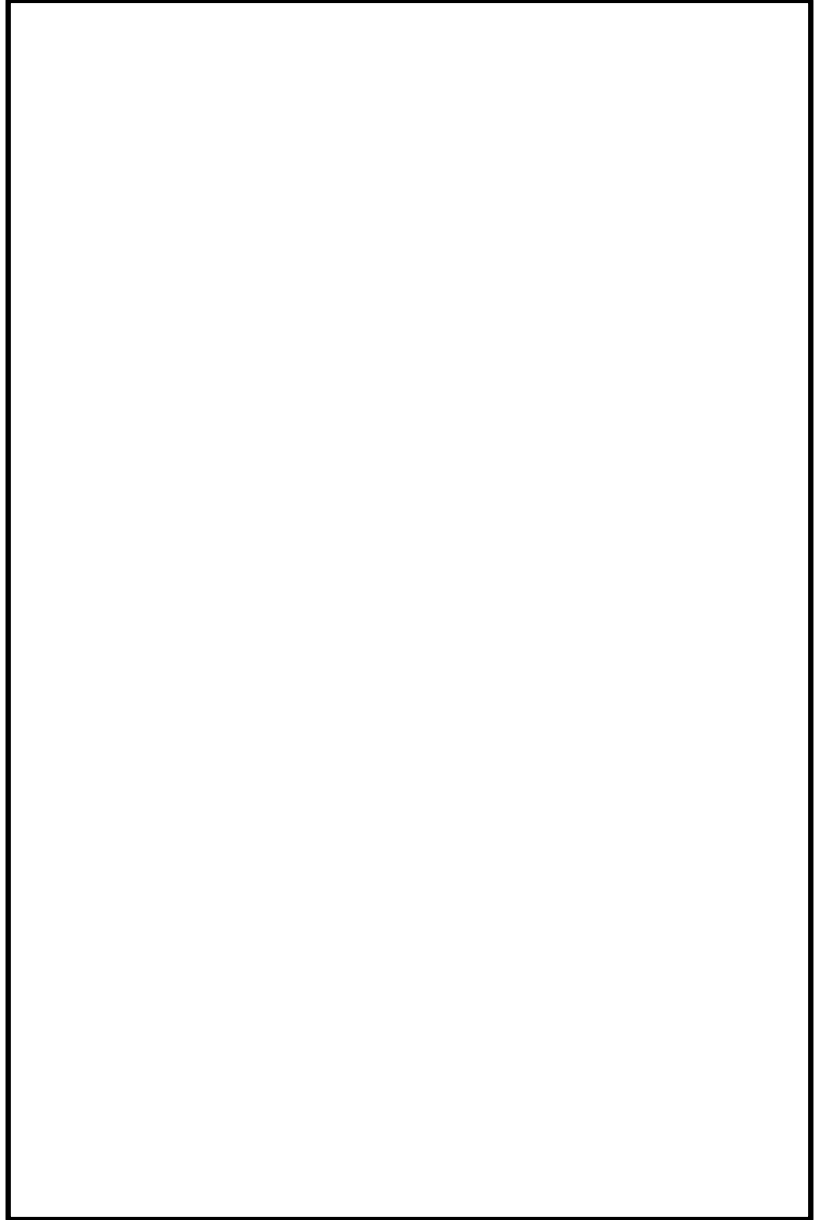
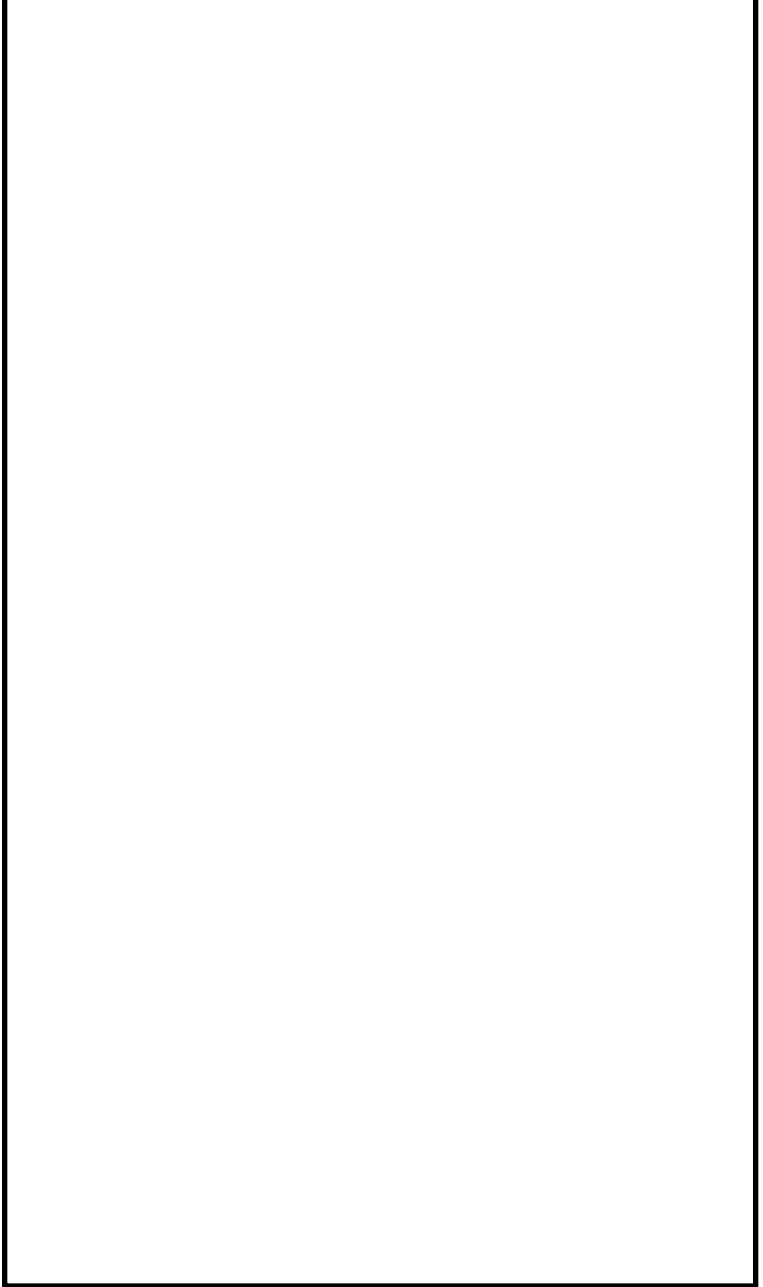
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| | <div data-bbox="943 331 1703 1367" style="border: 1px solid black; height: 493px; width: 256px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1373 1679 1451" style="text-align: center;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (1/8)</p> </div> | <div data-bbox="1736 331 2395 1539" style="border: 1px solid black; height: 575px; width: 222px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2445 646 2481 1241" style="text-align: center;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (1/7)</p> </div> | <p>・島根2号炉は各区画の温度条件を記載 【柏崎6/7】</p> |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|---|----|
| | <div data-bbox="943 342 1700 1451" style="border: 1px solid black; height: 528px; width: 255px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1465 1685 1543" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 <u>(2/8)</u></p> </div> | <div data-bbox="1745 300 2407 1507" style="border: 1px solid black; height: 575px; width: 223px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2445 615 2487 1207" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 <u>(2/7)</u></p> </div> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|---|----|
| | <div data-bbox="943 340 1697 1449" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1465 1685 1543" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (3/8)</p> </div> | <div data-bbox="1745 325 2404 1533" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2439 697 2478 1285" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (3/7)</p> </div> | |

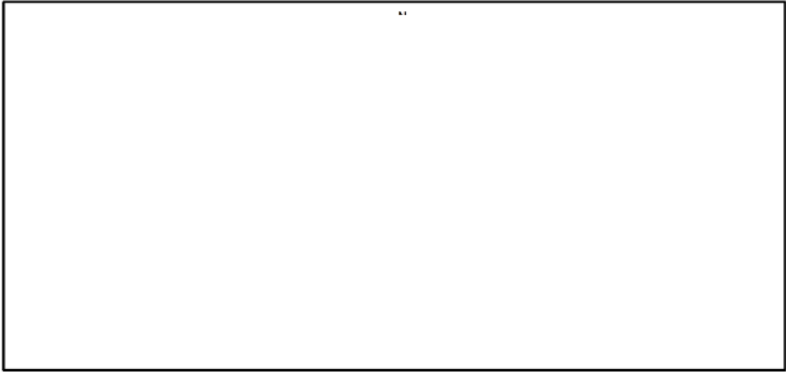
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|---|----|
| | <div data-bbox="943 352 1703 1482" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1679 1591" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (4/8)</p> </div> | <div data-bbox="1745 310 2380 1520" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2427 613 2469 1201" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (4/7)</p> </div> | |

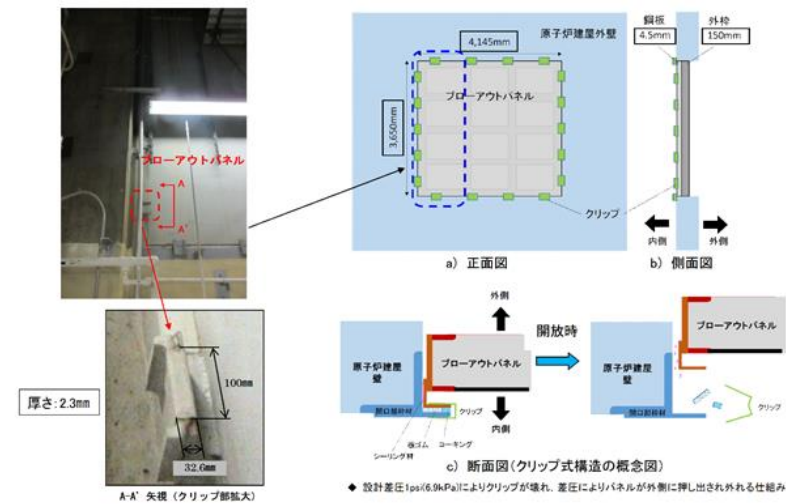
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|---|---|----|
| | <div data-bbox="934 342 1709 1446" style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="973 1465 1679 1541" style="text-align: center;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (5/8)</p> </div> | <div data-bbox="1745 327 2415 1535" style="border: 1px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="2445 638 2487 1226" style="text-align: center;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (5/7)</p> </div> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|---|----|
| |  <p data-bbox="973 1507 1685 1591">第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (6/8)</p> |  <p data-bbox="2457 640 2499 1228">図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (6/7)</p> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|--|--|----|
| | <div data-bbox="943 342 1700 1451" style="border: 1px solid black; height: 528px; width: 255px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1465 1679 1541" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (7/8)</p> </div> | <div data-bbox="1736 342 2389 1549" style="border: 1px solid black; height: 575px; width: 220px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2445 709 2481 1304" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (7/7)</p> </div> | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) | 東海第二発電所 (2018.9.18版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| | <div data-bbox="943 340 1703 1451" style="border: 2px solid black; height: 529px; width: 256px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="973 1465 1679 1495">第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲</p> <p data-bbox="1288 1512 1365 1541"><u>(8/8)</u></p> | | |

| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|--|--------------|--|
| | <p>2. <u>ブローアウトパネルの機能について</u></p> <p>原子炉建屋原子炉棟の外壁に建設時より合計 12 枚のブローアウトパネル (型式:クリップ方式, 大きさ約 4m×4m, 重さ約 1.5t) が設置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉棟 6 階: 東西南北の壁面に各 2 箇所の合計 8 箇所 ・原子炉棟 5 階: 東西南北の壁面に各 1 箇所の合計 4 箇所 <p>ブローアウトパネルは, 主蒸気配管破断等を想定した場合の放出蒸気による圧力から原子炉建屋や原子炉格納容器等を防護するため, 放出蒸気を建屋外に放出することを目的に設置されている。原子炉棟外壁におけるブローアウトパネルの配置を第 4 図に示す。</p> <p>(1) ブローアウトパネルの構造について</p> <p>ブローアウトパネルは, 厚さ 2.3 mm のクリップと呼ばれる装置 18 個で原子炉建屋外壁に設置されており, 原子炉格納容器の設計上の最高使用外圧 2psi に対し, 1psi で開放するように設計されている。詳細を第 5 図に示す。</p>  <p style="text-align: center;">第 4 図 ブローアウトパネル配置図</p> | | <p>・環境条件の設定手法の相違</p> <p>【東海第二】</p> <p>島根 2 号炉は, ブローアウトパネルの詳細仕様を考慮した 3 次元流体解析は実施していない</p> |

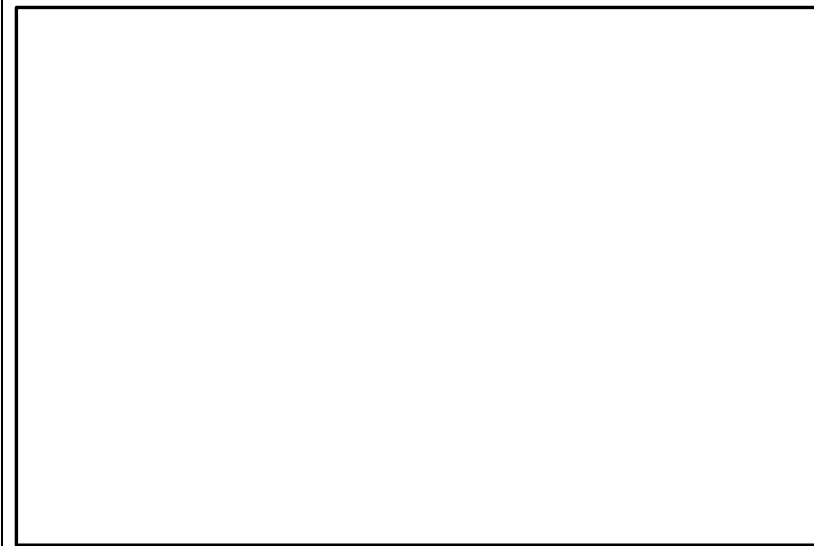


第5図 ブローアウトパネルの構造及び作動原理

(2) ブローアウトパネルの基本設計及び対策

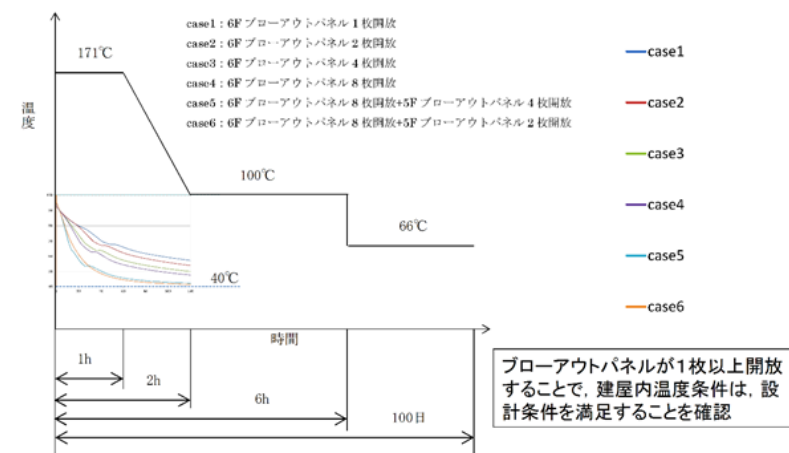
内部溢水における蒸気影響評価，竜巻に対する対応，重大事故等発生時の要求等を考慮し，原子炉棟5階の東側ブローアウトパネルを2枚閉止[※]する対策を行う。このため，3次元流体解析により，主蒸気管破断事故時の建屋内圧力，温度が設計条件内にあることを確認した。対策の概要及び解析結果を第6図から第8図に示す。

※ 建設時設計の設置数12枚については，建屋内圧力の上限值に対して裕度を持った開口面積として設定しており，圧力に着目した評価により十分とされた開口面積の約2倍(約185m²)を有している。また，これにより建屋内温度条件についても裕度を持った設計となっており，このうち2枚を閉とした場合においても，圧力・温度ともに当初の設定値を超えることはなく影響はない。

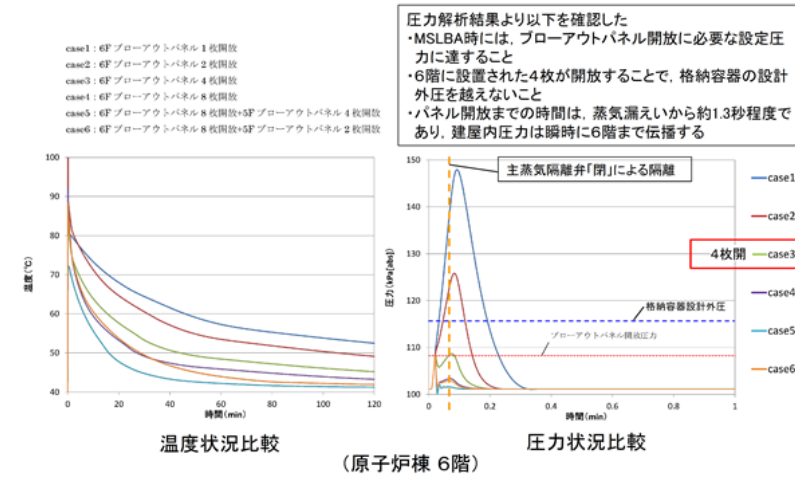


: 西側区画ブローアウトパネルから見通せる範囲
 : 開口部を繋ぐ風の流れ

第6図 ブローアウトパネルの閉鎖対応箇所について



第7図 主蒸気管破断時の原子炉棟内温度状態と解析結果の比較



第8図 ブローアウトパネル作動枚数による温度及び圧力状況比較

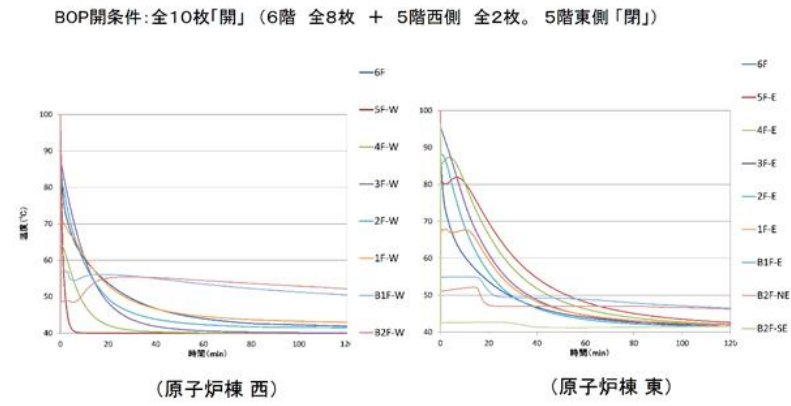
(3) ブローアウトパネル作動のばらつきの考慮について

原子炉格納容器の設計外圧に着目すると、主蒸気管破断事故時の開放必要枚数は3次元流体解析の結果から、4枚以上となることを確認した。5枚以上の開放は、建屋内雰囲気温度と圧力の更なる低下に寄与するものであり、設備防護上は考慮するものであるが必須ではない。

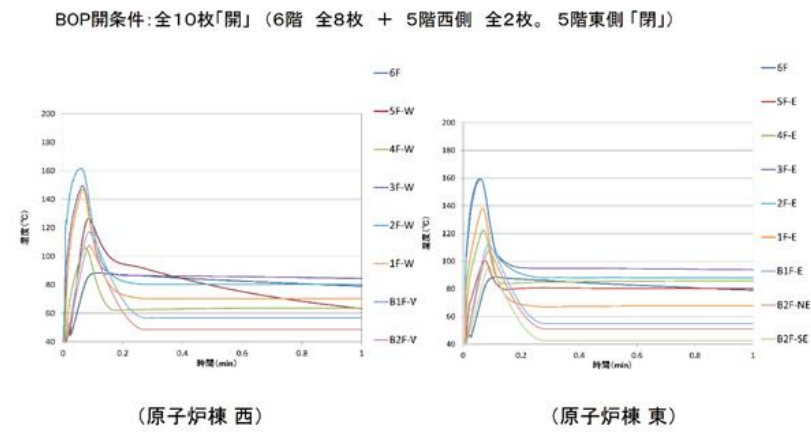
3次元流体解析コードにおいては、ブローアウトパネルの開放時間遅れも解析上考慮し、設定圧力でパネルが開放すると評価している。これに対し、実際に必要とする4枚開放まで、同時に作動しない場合を想定すると、この場合は、開放面積が少ないため、建屋内圧力は再度設定圧力に到達する評価であり、4枚目までは確実に開放すると判断できる。

また、実際の蒸気噴出時の圧力伝播速度は、音速に近い値であり、ブローアウトパネルの設置位置による圧力伝播の時間差はほとんどなく、ほぼ4枚同時に作用すると想定されることから、作動圧力に影響を与えるような、時間差は発生しないと評価している。

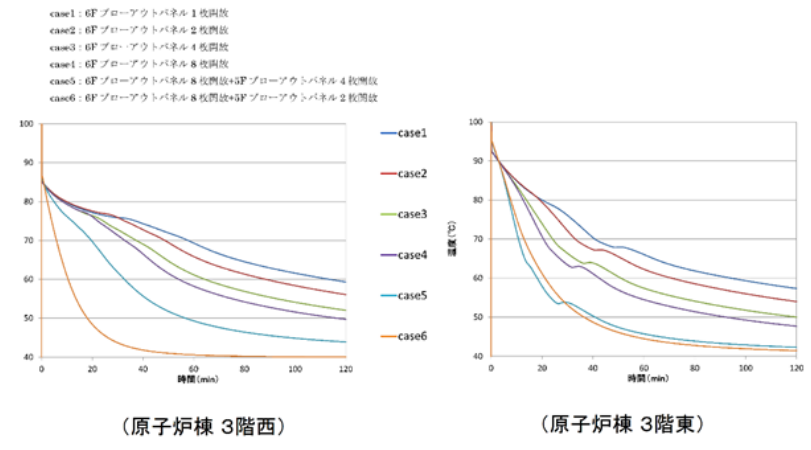
| 柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版) | 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) | 島根原子力発電所 2号炉 | 備考 |
|-------------------------------------|--|--------------|----|
| | <p>(4) ブローアウトパネルのクリップの信頼性について</p> <p>ブローアウトパネルは、電源や空気源に頼ることなく、静的、且つ圧力上昇に対して確実に開放できる仕組みとして、クリップを使用したパネルの開放機構を選定している。</p> <p>この開放機構は、既設系統設備でも採用実績のある破壊板(ラプチャーディスク)と同様の考え方(圧力による負荷荷重により、部材を破壊させる)であり、構造が単純であることから、信頼性が高いものである。</p> <p>ブローアウトパネルが差圧により確実に作動することを確認するための管理として、クリップの確認試験を実施し、ブローアウトパネル開放機構の作動性能を担保することとする。</p> <p>(5) ブローアウトパネル対策後の建屋内温度評価の結果について</p> <p>ブローアウトパネルの2枚閉鎖対策後の建屋内温度評価の詳細を以下の第9図及び第10図に示す。また、ブローアウトパネルの作動枚数による建屋内温度状況の代表例として、原子炉棟3階の結果を第11図及び第12図に示す。</p> <p>第6図に示すブローアウトパネル開放後に温度が停滞する箇所は、蒸気が自然対流で上昇する流れと、外気から流入する下降気流がぶつかり、入れ替る際の停滞状況を示している。</p> <p>また、5階東側のブローアウトパネルを閉止することにより、東側は大物搬入口を通じた上昇気流が発生し、6階に高温の蒸気が抜ける流れが主となる。</p> <p>これに対し、西側エリアにおいては、5階から取り入れられた外気の下降気流が主となり、主蒸気管室で西→東の流れができると考えられる。このため、ブローアウトパネル全数が開放する場合と比べて、5階西側(ほう酸ポンプ設置側)の温度が下がる結果となっている。</p> | | |



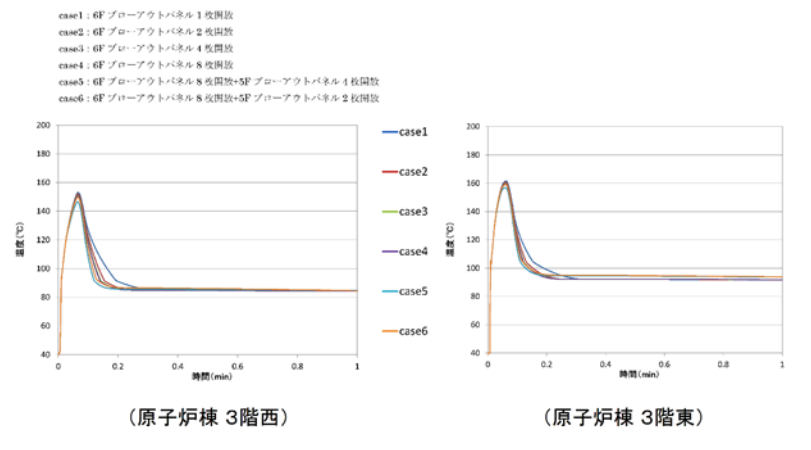
第9図 対策後の温度状況比較



第10図 対策後の温度状況比較 (最高温度)



第11図 ブローアウトパネル作動枚数による温度状況比較



第12図 ブローアウトパネル作動枚数による温度状況比較(最高温度)

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)

補足第11.2-1表 6号及び7号炉 原子炉二次格納施設内防護対象

設備の保全状況

| 設備 | 種別 | 部位 | 保全周期(※1) | | |
|------------|-----|------|----------|----------|-----|
| | | | 点検(※2) | 分解点検 | 取替 |
| ポンプ | 電動機 | 電動機 | ~2C | ~7C | - |
| | | 駆動装置 | ~10C | - | - |
| | | ポンプ | ~10C | ~10C | - |
| 空調機 | 電動機 | - | ~6C | - | |
| 弁 | 本体 | ~5C | - | - | |
| 電動弁 | 電動機 | 電動機 | ~6C | - | - |
| | | 駆動装置 | ~7C | - | - |
| | | 弁 | ~2C | ~10C | - |
| 空気作動弁 | 弁 | - | ~3C | ~10C(※3) | |
| 電磁弁 | 本体 | 1C | - | ~10C | |
| 伝送器 | 本体 | 1C | - | - | |
| 水素・酸素濃度検出器 | 本体 | 1C | - | - | |
| 放射線量検出器 | 本体 | 1C | - | - | |
| 制御盤 | 制御盤 | 制御盤 | ~4C | - | - |
| | | ヒューズ | - | - | ~4C |
| 計装ラック | 本体 | 1C | - | - | |
| 水圧制御ユニット | 本体 | 1C | ~10C | - | |
| コネクタ保護ボックス | 本体 | 1C | - | - | |
| 蒸気タービン | 本体 | - | ~5C | - | |
| 乾燥装置 | 本体 | 1C | - | - | |
| フィルタ装置 | 電動機 | 電動機 | - | ~2C | - |
| | | ヒータ | 1C | - | - |
| 再結合器 | 本体 | 1C | - | - | |
| 加熱器/冷却器 | 本体 | 1C | - | - | |
| 気水分離器 | 本体 | 1C | - | - | |
| ケーブル | 本体 | (※4) | - | - | |

- ※1 保全周期はサイクル(C)で表し、1サイクル(1C)は13か月である。
- ※2 外観点検、特性試験、作動確認等を実施。
- ※3 取替対象はリミットスイッチおよび電磁弁。
- ※4 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施。

東海第二発電所 (2018.9.18版)

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (1/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|-------------------------|---------------|--------|----|------------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 制御弁駆動系 | 水圧制御ユニット(375号含む)(東側) | - | RB-3-3 | ○ | 775号 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | 775号(京葉容器) | 260M | 開放点検 |
| | | | | | 375号弁 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | 計装品 | 1C | 機能・性能試験 |
| 制御弁駆動系 | 水圧制御ユニット(375号含む)(西側) | - | RB-3-4 | ○ | 水圧制御ユニット | 78M | 分解点検 |
| | | | | | 775号(京葉容器) | 260M | 開放点検 |
| | | | | | 375号弁 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | 計装品 | 1C | 機能・性能試験 |
| コト放射線モニタ系 | 燃料取扱777 燃料A-6(検出器) | BE-D21-NS03 | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| コト放射線モニタ系 | 燃料取扱777 燃料A-6(現場監視ユニット) | R1A-D21-NS03 | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | 格納容器系監視用気体検出器電源盤(A) | LCP-188A | RB-3-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 格納容器系監視系 | 格納容器系監視用気体検出器電源盤(B) | LCP-188B | RB-4-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(A)系ヒータ電源用変圧器 | - | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(B)系ヒータ電源用変圧器 | - | RB-4-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMSヒータ(A) | D23-F001A | RB-3-1 | ○ | 水素・酸素検出装置 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 電磁弁 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMSヒータ(B) | D23-F001B | RB-4-2 | ○ | 水素・酸素検出装置 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 電磁弁 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS校正用計器(A) | D23-F002A | RB-3-1 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS校正用計器(B) | D23-F002B | RB-4-2 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS校正用ヒータ(A) | D23-F003A | RB-3-1 | ○ | ヒータ | 1C | 漏えい試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS校正用ヒータ(B) | D23-F003B | RB-4-2 | ○ | ヒータ | 1C | 漏えい試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(A)ヒータ計装入口隔離弁 | D23-F001A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(B)ヒータ計装入口隔離弁 | D23-F001B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(A)ヒータ計装出口隔離弁 | D23-F002A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(B)ヒータ計装出口隔離弁 | D23-F002B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(A)ヒータ計装入口隔離弁 | D23-F003A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| 格納容器系監視系 | CAMS(B)ヒータ計装入口隔離弁 | D23-F003B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |

島根原子力発電所 2号炉

表4-1 原子炉二次格納施設内溢水防護対象設備の保全状況

| 設備種別 | 部位 | 保全周期※1 | | |
|------------|-----|--------|------|--------|
| | | 点検※2 | 分解点検 | 取替 |
| ポンプ | 電動機 | ~8C | ~8C | - |
| | ポンプ | ~7C | ~7C | - |
| 空調機 | 電動機 | ~6C | 6C | - |
| 弁 | 本体 | - | 6C | - |
| 電動弁 | 電動機 | ~10C | ~10C | 10C※3 |
| | 弁 | ~10C | ~10C | - |
| 空気作動弁 | 弁 | ~4C | ~10C | ~12C※4 |
| 電磁弁 | 本体 | 3C | 6C | - |
| 伝送器 | 本体 | 1C | - | ~16Y |
| 圧力・水位スイッチ | 本体 | ~2C | ~3C | - |
| 温度検出器 | 本体 | 1C | - | - |
| 水素・酸素濃度検出器 | 本体 | 10C | - | - |
| 放射線量検出器 | 本体 | 1C | - | - |
| 前置増幅器 | 本体 | ~10C | - | - |
| 計装ラック | 本体 | ~10C | - | - |
| 水圧制御ユニット | 本体 | ~10C | 10C | 5C※5 |
| 蒸気タービン | 本体 | ~6C | ~6C | - |
| フィルタ装置 | 本体 | ~4C | ~4C | - |
| 再結合器 | 本体 | ~5C | 5C | - |
| ケーブル | 本体 | -※6 | - | - |

- ※1 保全周期は「Y」また「C」で表し、「Y」は年、「C」は定期検査のサイクル(13ヶ月)を示す
- ※2 外観点検、特性試験及び作動確認等を実施
- ※3 取替対象はリミットスイッチ
- ※4 取替対象は電磁弁及びリミットスイッチ
- ※5 取替対象はスクラムパイロット弁
- ※6 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施

備考

- ・設備の相違
- 【柏崎6/7, 東海第二】
- ・島根2号炉は蒸気影響評価結果について記載していない
- 【東海第二】

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (2/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------------|--------------------------|---------------|---------|----|------|------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(A)サプレッションアーク計装出口隔離弁 | D23-F004A(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(B)サプレッションアーク計装出口隔離弁 | D23-F004B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(A)冷却水入口弁(BHRS(A)系) | 3-12F101A(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(B)冷却水入口弁(BHRS(B)系) | 3-12F101B(00) | RB-B1-3 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(A)冷却水出口弁(BHRS(A)系) | 3-12F102A(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | CAMS(B)冷却水出口弁(BHRS(B)系) | 3-12F102B(00) | RB-B1-3 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| 格納容器周囲 気監視系 | 1'3'9'4AE力(伝送器) | PT-D23-N004A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 格納容器周囲 気監視系 | 1'3'9'4AE力(伝送器) | PT-D23-N004B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | 原子炉水位・圧力計装7'9' | R22-P004 | RB-3-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | 原子炉水位・圧力計装7'9' | R22-P005 | RB-3-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | 原子炉水位・圧力計装7'9' | R22-P026 | RB-3-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | 原子炉水位・圧力計装7'9' | R22-P027 | RB-3-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | シフトアップレベル(A)計装7'9' | R22-P010 | RB-2-8 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | シフトアップレベル(B)計装7'9' | R22-P009 | RB-2-8 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | COND VAC(A)(伝送器) | PT-R22-N075A | TB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | COND VAC(B)(伝送器) | PT-R22-N075B | TB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | COND VAC(C)(伝送器) | PT-R22-N075C | TB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | COND VAC(D)(伝送器) | PT-R22-N075D | TB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | MSL PRESS ISO(A)(伝送器) | PT-R22-N076A | TB-1-20 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | MSL PRESS ISO(B)(伝送器) | PT-R22-N076B | TB-1-20 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | MSL PRESS ISO(C)(伝送器) | PT-R22-N076C | TB-1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉系 | MSL PRESS ISO(D)(伝送器) | PT-R22-N076D | TB-1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷 却系 | RCWポンプ(A) | RCW-PM-A | TB-1-1 | ○ | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷 却系 | RCWポンプ(B) | RCW-PM-B | TB-1-1 | ○ | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷 却系 | RCWポンプ(C) | RCW-PM-C | TB-1-1 | ○ | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷 却系 | 1'3'9'4内機器原子炉補機冷却水隔離弁 | 2-9'20(00) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉補機冷 却系 | 1'3'9'4内機器原子炉補機冷却水戻り弁 | 2-9'33(00) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 63M | 簡易点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (3/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|----------------------------|---------------------------|----------|----|------|-------------------|-------------------------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 原子炉補機冷却系 | RCW 機器冷却器行き弁 | 7-931 (M0) | BB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 2C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷却系 | RCW 熱交換機温度制御弁 | TCV-9-92 | TB-1-1 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉補機冷却系 | RCW TEMP CONTROL (指示調節計) | TIC-9-92 | TB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉補機冷却系 | RCW SURGE TANK LEVEL (水位) | LSL-9-192 | RB-6-1 | ○ | 本体 | 52M 1C | 分解点検 特性試験 |
| 原子炉補機冷却系 | RCW SURGE TANK LEVEL (伝送器) | LT-9-192 | RB-6-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | RPS M-G t+1 (2A) 制御盤 | LCP-184A | CS-1-3 | ○ | 本体 | 2C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | RPS M-G t+1 (2B) 制御盤 | LCP-184B | CS-1-3 | ○ | 本体 | 2C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | RPS 分電盤 (A) | PNL-C72-P001 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 2C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | RPS 分電盤 (B) | PNL-C72-P002 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 2C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | RPS M-G t+1 (2A) (発電機/電動機) | RPS-MG-A-GEN/RPS-MG-A-MTR | CS-1-3 | ○ | 電動機 | 28M | 分解点検 |
| | | | | | 発電機 | 28M | 分解点検 |
| 原子炉保護系 | RPS M-G t+1 (2B) (発電機/電動機) | RPS-MG-B-GEN/RPS-MG-B-MTR | CS-1-3 | ○ | 電動機 | 28M | 分解点検 |
| | | | | | 発電機 | 28M | 分解点検 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N009A | RB-2-9 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N009B | RB-2-9 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N009C | RB-2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N009D | RB-2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N010A | RB-B2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N010B | RB-B2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 鉛直方向地震加速度検出器 | C72-N011A | RB-B2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 鉛直方向地震加速度検出器 | C72-N011B | RB-B2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N010C | RB-B2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 水平方向地震加速度検出器 | C72-N010D | RB-B2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 鉛直方向地震加速度検出器 | C72-N011C | RB-B2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉保護系 | 鉛直方向地震加速度検出器 | C72-N011D | RB-B2-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 残留熱除去系 | RHR DIV-I 計装??? | R22-P018 | RB-B1-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 残留熱除去系 | RHR DIV-II 計装??? | R22-P021 | RB-B1-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 残留熱除去系 | RHR シンク (A) | RHR-PMF-C002A | RB-B2-15 | ○ | 電動機 | 65M 1C | 分解点検 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 65M 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR シンク (B) | RHR-PMF-C002B | RB-B2-14 | ○ | 電動機 | 65M 1C | 分解点検 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 65M 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR シンク (C) | RHR-PMF-C002C | RB-B2-5 | ○ | 電動機 | 65M 1C | 分解点検 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 1C | 分解点検 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (4/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|--------|----------------------------|---------------|---------|----|------|------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 残留熱除去系 | RHR ダンプ (A) 入口弁 | E12-F004A (M) | RB-02-7 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR ダンプ (B) 入口弁 | E12-F004B (M) | RB-02-3 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR ダンプ (C) 入口弁 | E12-F004C (M) | RB-02-6 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR ダンプ (A) 停止時冷却バypass入口弁 | E12-F006A (M) | RB-02-7 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 78M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR ダンプ (B) 停止時冷却バypass入口弁 | E12-F006B (M) | RB-02-3 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 78M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR シェッドクラック隔離弁 (外側) | E12-F008 (M) | RB-2-3 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 52M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系 格納容器バypass弁 | E12-F016A (M) | RB-4-3 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 78M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系 格納容器バypass弁 | E12-F016B (M) | RB-2-3 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 78M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系 格納容器バypass弁 | E12-F017A (M) | RB-4-3 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 60M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系 格納容器バypass弁 | E12-F017B (M) | RB-2-3 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 60M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系 バypass弁 | E12-F024A (M) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 60M | 換基点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系 バypass弁 | E12-F024B (M) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 60M | 換基点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (5/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|--------|------------------------|---------------|---------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系#1レギュレーションタンク弁 | E12-F027A(00) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系#1レギュレーションタンク弁 | E12-F027B(00) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系 注入弁 | E12-F042A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 78M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系 注入弁 | E12-F042B(00) | RB-3-8 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 52M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 7Y | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (C)系 注入弁 | E12-F042C(00) | RB-3-8 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 78M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR 熱交換器(A)弁付弁 | E12-F048A(00) | RB-31-4 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR 熱交換器(B)弁付弁 | E12-F048B(00) | RB-31-3 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系 シフト弁注入弁 | E12-F053A(00) | RB-2-2 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 78M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系 シフト弁注入弁 | E12-F053B(00) | RB-2-4 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 52M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 7Y | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系#2タンク弁 (内側) | E12-F060A(00) | RB-31-4 | ○ | 駆動部 | 10C | 磨耗点検 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系#2タンク弁 (内側) | E12-F060B(00) | RB-31-3 | ○ | 駆動部 | 10C | 磨耗点検 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (6/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|---------------|-----------------------------|---------------|---------|----|------|---------------|-----------------------------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系ニ7号弁 | E12-F064A(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系ニ7号弁 | E12-F064B(00) | RB-B1-2 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (C)系ニ7号弁 | E12-F064C(00) | RB-B1-2 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨耗点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (A)系ワアリア弁 (外側) | E12-F075A(A0) | RB-B1-4 | ○ | 駆動部 | 10C | 磨耗点検 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR (B)系ワアリア弁 (外側) | E12-F075B(A0) | RB-B1-3 | ○ | 駆動部 | 10C | 磨耗点検 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| 残留熱除去系 | RHR VALVE DIFF PRESS A(伝送器) | DPT-E12-9058A | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | | 残留熱除去系 | RHR VALVE DIFF PRESS B(伝送器) |
| 残留熱除去系 | RHR VALVE DIFF PRESS C(伝送器) | DPT-E12-9058C | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | |
| 残留熱除去系 海水系 | | | | | | RHRSポンプ(A) | RHRS-PMP-A |
| | 1C | 特性試験 | | | | | |
| | 本体 | 20M | 分解点検 | | | | |
| | | 1C | 機能・性能試験 | | | | |
| 残留熱除去系 海水系 | RHRSポンプ(B) | RHRS-PMP-B | (取水口) | ○ | 電動機 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 海水系 | RHRSポンプ(C) | RHRS-PMP-C | (取水口) | ○ | 電動機 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 海水系 | RHRSポンプ(D) | RHRS-PMP-D | (取水口) | ○ | 電動機 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 海水系 | RHRS 熱交換器(A)海水出口弁 | E12-F068A(00) | RB-B1-4 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 残留熱除去系 海水系 | RHRS 熱交換器(B)海水出口弁 | E12-F068B(00) | RB-B1-3 | ○ | 駆動部 | 169M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 残留熱除去系 海水系 | HX (A) SEA WATER FLOW (伝送器) |
| 残留熱除去系 海水系 | HX (B) SEA WATER FLOW (伝送器) | FT-E12-9007B | RW-B1-7 | ○ | 本体 | 1C | |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (7/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------|-----------------|--------------|--------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 主蒸気系 | 主蒸気レイン弁 (外側隔離弁) | B22-F019(M) | RB-2-1 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨基点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気レイン弁 (外側隔離弁) | B22-F067A(M) | RB-2-1 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨基点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気レイン弁 (外側隔離弁) | B22-F067B(M) | RB-2-1 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨基点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気レイン弁 (外側隔離弁) | B22-F067C(M) | RB-2-1 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨基点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気レイン弁 (外側隔離弁) | B22-F067D(M) | RB-2-1 | ○ | 駆動部 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 磨基点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気隔離弁第2弁 (A) | B22-F028A(M) | RB-2-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 磨基点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 4C | 取替 |
| 主蒸気系 | 主蒸気隔離弁第2弁 (B) | B22-F028B(M) | RB-2-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 磨基点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 4C | 取替 |
| 主蒸気系 | 主蒸気隔離弁第2弁 (C) | B22-F028C(M) | RB-2-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 磨基点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 4C | 取替 |
| 主蒸気系 | 主蒸気隔離弁第2弁 (C) | B22-F028C(M) | RB-2-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 磨基点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 4C | 取替 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (8/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|---------------------------|----------------|---------|----|------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 主蒸気系 | 主蒸気隔離弁第2弁(D) | B22-F025D(A0) | BB-2-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 融点点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 4C | 取替 |
| 3)3)3)3) | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| 主蒸気系 | 主蒸気流量(A)計装7?7 | H22-P015 | BB-2-9 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 主蒸気系 | 主蒸気流量(B)計装7?7 | H22-P025 | BB-2-8 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2A2-2 | MCC 2A2-2 | BB-4-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2A3-1 | MCC 2A3-1 | TB-1-12 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2B2-2 | MCC 2B2-2 | BB-4-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2B3-1 | MCC 2B3-1 | TB-1-12 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-1 | MCC 2C-1 | TB-1-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-1 | MCC 2D-1 | TB-1-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-2 | MCC 2C-2 | TB-1-12 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-2 | MCC 2D-2 | TB-1-12 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-3 | MCC 2C-3 | BB-B1-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-3 | MCC 2D-3 | BB-B1-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-4 | MCC 2C-4 | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-4 | MCC 2D-4 | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-5 | MCC 2C-5 | BB-B1-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-5 | MCC 2D-5 | BB-B1-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-6 | MCC 2C-6 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-6 | MCC 2D-6 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-7 | MCC 2C-7 | BB-3-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-7 | MCC 2D-7 | BB-3-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-8 | MCC 2C-8 | BB-3-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-8 | MCC 2D-8 | BB-3-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2C-9 | MCC 2C-9 | BB-4-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC 2D-9 | MCC 2D-9 | BB-4-2 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | MCC HPCS | MCC HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 所内電源系 | R/B INST DIST PNL 1 | - | BB-1-1 | ○ | - | - | - |
| 所内電源系 | R/B INST DIST PNL 2 | - | BB-1-1 | ○ | - | - | - |
| 所内電源系 | R/B INST DIST PNL 3 | - | BB-B1-5 | ○ | - | - | - |
| 所内電源系 | 中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2A-1 | PNL-DP-2A-1-AC | CS-2-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2B-1 | PNL-DP-2B-1-AC | CS-2-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2A-2 | PNL-DP-2A-2-AC | CS-2-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2B-2 | PNL-DP-2B-2-AC | CS-2-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 120/240V AC INST.DIST.CTR | - | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (9/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|----------------------------|--------------|---------|----|----------|------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 所内電源系 | 120V AC INST HPCS DIST PNL | - | CS-1-4 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 120V AC MCR DIST PNL NOR | - | CS-1-3 | ○ | - | - | - |
| 所内電源系 | TB 120V AC INST DIST PNL 1 | - | TB-1-12 | ○ | - | - | - |
| 所内電源系 | 480V PWR. CTR. 2C | - | CS-82-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 480V PWR. CTR. 2D | - | CS-81-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 480V PWR. CTR. 2B-2 | - | CS-81-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | PC 2A-3 | - | TB-1-12 | ○ | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| 所内電源系 | PC 2B-3 | - | TB-1-12 | ○ | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2A-1 | - | CS-82-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2B-1 | - | CS-81-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2A-2 | - | CS-82-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2B-2 | - | CS-81-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2C | - | CS-82-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2D | - | CS-81-1 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. 2E | - | CS-81-2 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 所内電源系 | 6.9kV SGR. HPCS | - | CS-82-2 | ○ | 盤本体 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 継電器, 変流器 | 3C | 特性試験 |
| | | | | | 遮断器 | 39M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'+N2制御用空気供給元弁 | 2-16V11(00) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'+N2供給弁 | 2-16V12A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'+N2供給弁 | 2-16V12B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (10/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|----------------------------------|---------------|----------|----|--------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3 供給弁 | 2-16V13A(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3 供給弁 | 2-16V13B(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3 供給遮断弁 | 3-16V900A(A0) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | 1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3 供給遮断弁 | 3-16V900B(A0) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 制御用圧縮空気系 | N2 GAS BOMBE DISCH PRESS (指示タイプ) | PIS-16-900.1 | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 制御用圧縮空気系 | N2 GAS BOMBE DISCH PRESS (指示タイプ) | PIS-16-900.2 | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室換気系計装747 | T41-P020 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室換気系計装747 | T41-P021 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-2021(WC2-1)制御盤 | T41-P036 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-2022(WC2-2)制御盤 | T41-P037 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-2021(WC2-1) | HVAC-WC2-1 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 圧縮機電動機 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | 送風機電動機 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | 圧縮機電磁弁 | 6C | 取替 |
| | | | | | 湿度式膨張弁 | 2C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 湿度式膨張弁 | 2C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-2022(WC2-2) | HVAC-WC2-2 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 圧縮機電動機 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | 送風機電動機 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | 圧縮機電磁弁 | 6C | 取替 |
| | | | | | 湿度式膨張弁 | 2C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 湿度式膨張弁 | 2C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-冷水循環ポンプ(A) | HVAC-PMP-P2-3 | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-冷水循環ポンプ(B) | HVAC-PMP-P2-4 | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室換気系7-472021(A) | HVAC-FLT-A | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室換気系7-472021(B) | HVAC-FLT-B | CS-3-1 | ○ | 本体 | 78M | 開放点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室7-2021(WC2-1)制御盤(A) | HVAC-NE2-9A | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 簡易点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (11/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|--------------------------|-----------------|--------|----|--------------------------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室「ファン」ユニット(B) | HVAC-AB2-9B | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 簡易点検 |
| | | | | | | 20M | 開放点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室「ファン」ユニット(A) | HVAC-E2-14A | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室「ファン」ユニット(B) | HVAC-E2-14B | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室排気ファン | HVAC-E2-15 | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 簡易点検 |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室給気扇離弁 | SR2-18A(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室給気扇離弁 | SR2-18B(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室給気扇離弁 | SR2-19A(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室給気扇離弁 | SR2-19B(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室排気扇離弁 | SR2-20A(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 中央制御室排気扇離弁 | SR2-20B(00) | CS-3-1 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 52M | 分解点検 | | | | | | |
| 中央制御室換気系 | 非常用RCR「ファン」ユニットE2-14A(S) | DMP-A0-T41-F086 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 空気元弁(電磁弁) 20-E2-14A-1 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 中央制御室換気系 | 非常用RCR「ファン」ユニットE2-14B(S) | DMP-A0-T41-F088 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 空気元弁(電磁弁) 20-E2-14B-1 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 中央制御室換気系 | ファン(AB2-9A)入口ファン | DMP-A0-T41-F090 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 電磁弁 20-AB2-9A-1 | 10C | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (12/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|------------------------------------|--------------------|------------------|----|------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 中央制御室換気系 | FV(AH2-9B)入口ファン | DMP-A0-T41-F091 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | | 60M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| 中央制御室換気系 | AH2-9(A)出口温度制御弁 | TCV-T41-F084A | CS-3-1 | ○ | 本体 | 10C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| 中央制御室換気系 | AH2-9(B)出口温度制御弁 | TCV-T41-F084B | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室空調機ファン(A) | HVAC-AH2-10A | CS-3-1 | ○ | 本体 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | | 10T | 分解点検 |
| | | | | | | 20M | 開放点検 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室空調機ファン(B) | HVAC-AH2-10B | CS-3-1 | ○ | 本体 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | | 10T | 分解点検 |
| | | | | | | 20M | 開放点検 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10A 外気取り入れファン | DMP-A0-T41-F056 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10B 外気取り入れファン | DMP-A0-T41-F059 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10A 入口ファン | DMP-A0-T41-F057 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10B 入口ファン | DMP-A0-T41-F058 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | HVAC SWITCHGEAR VENTILATING SYS. | PNL-T41-P023 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水循環ポンプ(A) | HVAC-PMP-P2-5 | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水循環ポンプ(B) | HVAC-PMP-P2-6 | CS-3-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10(A)出口温度制御弁 | TCV-T41-F005A | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | AH2-10(B)出口温度制御弁 | TCV-T41-F005B | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水(WC2-3A) | HVAC-WC2-3A | C/S 屋上 | ○ | 本体 | 3T | 分解点検 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水(WC2-3B) | HVAC-WC2-3B | C/S 屋上 | ○ | 本体 | 3T | 分解点検 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水(WC2-4A) | HVAC-WC2-4A | C/S 屋上 | ○ | 本体 | 3T | 分解点検 |
| スイッチ室換気系 | SWG室冷却水(WC2-4B) | HVAC-WC2-4B | C/S 屋上 | ○ | 本体 | 3T | 分解点検 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室空調機ファン(A) | HVAC-AH2-12A | C/S 屋上 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | | 10T | 分解点検 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室空調機ファン(B) | HVAC-AH2-12B | C/S 屋上 | ○ | 本体 | 10T | 分解点検 |
| | | | | | | 1Y | 簡易点検 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室排風機(A) | HVAC-E2-11A | CS-2-2 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | | 1Y | 簡易点検 |
| スイッチ室換気系 | スイッチ室排風機(B) | HVAC-E2-11B | CS-2-2 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | | 1Y | 簡易点検 |
| スイッチ室換気系 | E2-11(A)出口ファン | DMP-A0-T41-F054 | CS-2-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | E2-11(B)出口ファン | DMP-A0-T41-F055 | CS-2-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| スイッチ室換気系 | HVAC BATTERY ROOM VENTILATING SYS. | PNL-T41-P022 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 |
| 直流電源設備 | 直流 125V MCC 2A-1 | 125V DC MCC 2A-1 | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V MCC 2A-2 | 125V DC MCC 2A-2 | RB-4-1 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 250V 蓄電池 | 250V DC BATTERY | TB-1-13 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 蓄電池(2A) | 125V DC 2A BATTERY | CS-1-1 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 蓄電池(2B) | 125V DC 2B BATTERY | CS-1-7 CS-1-8 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (13/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|---------------------------|---------------------------|---------|----|-------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 蓄電池(HPCS) | 125V DC HPCS BATTERY | CS-1-2 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 250V 充電器(常用,予備) | 250V DC BATT.CHARGER | CS-1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 充電器(2A) | 125V DC 2A BATT.CHARGER | CS-1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 充電器(2B) | 125V DC 2B BATT.CHARGER | CS-1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 充電器(HPCS) | 125V DC HPCS BATT.CHARGER | CS-1-4 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 250V 3-φ配電盤 | 250V DC TURB DIST CTR | CS-1-3 | ○ | 本体 | 3C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 配電盤(2A) | 125V DC DIST CTR 2A | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 配電盤(2B) | 125V DC DIST CTR 2B | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 配電盤(HPCS) | 125V DC DIST CTR HPCS | CS-1-4 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2A-1) | 125V DC DIST PNL 2A-1 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2A-2) | 125V DC DIST PNL 2A-2 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2B-1) | 125V DC DIST PNL 2B-1 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2B-2) | 125V DC DIST PNL 2B-2 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2A-2-1) | 125V DC DIST PNL 2A-2-1 | CS-02-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(2B-2-1) | 125V DC DIST PNL 2B-2-1 | CS-1-5 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 125V 分電盤(HPCS) | 125V DC DIST PNL HPCS | CS-1-4 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 分電盤(2A) | 24V DC DIST PNL 2A | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 分電盤(2B) | 24V DC DIST PNL 2B | CS-1-3 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 充電器(2A) | 24V DC 2A BATT.CHARGER | CS-1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 充電器(2B) | 24V DC 2B BATT.CHARGER | CS-1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 蓄電池(2A) | 24V DC 2A BATTERY | CS-1-6 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 直流 ±24V 蓄電池(2B) | 24V DC 2B BATTERY | CS-1-8 | ○ | 本体 | 1Y | 特性試験 |
| 直流電源設備 | 地絡検出盤(直流分電盤 2A-1) | PNL-LCP-177 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 10Y | 外観点検 |
| 直流電源設備 | 地絡検出盤(直流分電盤 2A-2) | PNL-LCP-178 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 10Y | 外観点検 |
| 直流電源設備 | 地絡検出盤(直流分電盤 2B-1) | PNL-LCP-179 | CS-1-3 | ○ | 本体 | 10Y | 外観点検 |
| 燃料予冷却浄化系 | FFP/DEMIN.CONTROL PNL | PNL-641-2010-100 | RB-0-1 | ○ | 計装品 | 1Yc | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1Yc | 機能+性能試験 |
| 燃料予冷却浄化系 | FPC SYS PUMP AREA PNL | 641-P002 | RB-4-1 | ○ | 計装品 | 1Yc | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1Yc | 外観点検 |
| 燃料予冷却浄化系 | FPC F/D INST. RACK | PNL-LR-R-06A | RB-0-1 | ○ | 継電器 | 15Y | 断異常点検 |
| | | | | | 伝送器 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料予冷却浄化系 | FPC F/D INST. RACK | PNL-LR-R-06B | RB-0-1 | ○ | 伝送器 | 1Yc | 特性試験 |
| | | | | | 液位指示計 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料予冷却浄化系 | FPC SKIMMER SURGE TANK LI | PNL-LCP-133 | RB-0-2 | ○ | 電動機 | 3Yc | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 4Yc | 分解点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (14/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|---------|-----------------------------------|----------------|---------|----|------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC 再循環ポンプ(B) | FPC-PMP-C001B | RB-4-19 | ○ | 電動機 | 3Yc | 分解点検 |
| | | | | | | 1Yc | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 4Yc | 分解点検 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC F/D(A)出口弁 | G41-102A(A0) | RB-4-6 | ○ | 駆動部 | 5Yc | 分解点検 |
| | | | | | | 1Yc | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 5Yc | 分解点検 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC F/D(B)出口弁 | G41-102B(A0) | RB-4-9 | ○ | 駆動部 | 5Yc | 分解点検 |
| | | | | | | 1Yc | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 5Yc | 分解点検 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC F/D(A)出口流量制御弁 | G41-FCV-11A | RB-4-6 | ○ | 駆動部 | 5Yc | 分解点検 |
| | | | | | | 1Yc | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 5Yc | 分解点検 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC F/D(B)出口流量制御弁 | G41-FCV-11B | RB-4-9 | ○ | 駆動部 | 5Yc | 分解点検 |
| | | | | | | 1Yc | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 5Yc | 分解点検 |
| 燃料冷却浄化系 | FPC 送水ポンプ給水弁 | 7-18V71(00) | RB-5-1 | ○ | 駆動部 | 6Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | SKIMMER SURGE TANK HI LEVEL(1号) | LSH-G41-3004 | RB-5-6 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | SKIMMER SURGE TANK LO LEVEL(1号) | LSL-G41-3005 | RB-5-6 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | SKIMMER SURGE TANK LO LEVEL(2号) | LSL-G41-3006 | RB-5-6 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | SKIMMER SURGE TANK HI LEVEL(伝送器) | LT-G41-N100 | RB-5-6 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | PUMP SECTION LO PRESS & ALARM(1号) | PSL-G41-3007A | RB-4-1 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | PUMP SECTION LO PRESS & ALARM(2号) | PSL-G41-3007B | RB-4-1 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 燃料冷却浄化系 | FUEL POOL TEMP(検出器) | TE-G41-3015 | SFP内 | ○ | 本体 | 1Yc | 特性試験 |
| 交流電源設備 | 交流分電盤 | PML-VITAL-AC-1 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 交流電源設備 | 交流分電盤2 | PML-VITAL-AC-2 | CS-1-5 | ○ | 本体 | 9C | 特性試験 |
| 交流電源設備 | 交流電源装置 | PML-SUPS | CS-1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用再循環系 | FRYS INST. RACK(A) | PML-LR-R-43 | RB-5-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 非常用再循環系 | FRYS INST. RACK(B) | PML-LR-R-44 | RB-5-14 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 非常用再循環系 | FRYS 1号(A)制御盤 | PML-LCP-122 | RB-5-14 | ○ | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用再循環系 | FRYS 1号(B)制御盤 | PML-LCP-125 | RB-5-14 | ○ | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用再循環系 | FRYS 排風機(A) | HVAC-E2-13A | RB-5-14 | ○ | 電動機 | 78H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 78H | 分解点検 |
| 非常用再循環系 | FRYS 排風機(B) | HVAC-E2-13B | RB-5-14 | ○ | 電動機 | 78H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 78H | 分解点検 |
| 非常用再循環系 | FRYS 1号(A)71号 | FRYS-FLT-A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 13H | 開放点検 |
| 非常用再循環系 | FRYS 1号(B)71号 | FRYS-FLT-B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 13H | 開放点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (15/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|--|------------------|---------|----|------|------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(A)ヒータ | FRYS-HEX-EDK2-6A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(B)ヒータ | FRYS-HEX-EDK2-6B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(A)入口ポンプ | SB2-6A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(B)入口ポンプ | SB2-6B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(A)出口ポンプ | SB2-7A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS トリチン(B)出口ポンプ | SB2-7B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS 通常排気系隔離弁(A) | SB2-12A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS 通常排気系隔離弁(B) | SB2-12B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS 循環ポンプ (SB2-13A) | SB2-13A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS 循環ポンプ (SB2-13B) | SB2-13B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 10C | 簡易点検 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (A) ADSORBER IN TEMP (検出器) | TE-26-909A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (B) ADSORBER IN TEMP (検出器) | TE-26-909B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (A) ADSORBER OUT TEMP (検出器) | TE-26-910A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (B) ADSORBER OUT TEMP (検出器) | TE-26-910B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS (A) AIR HEATER AUTO RESET (検出器) | TE-26-940A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS (B) AIR HEATER AUTO RESET (検出器) | TE-26-940B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS (A) AIR HEATER HAND RESET (検出器) | TE-26-941A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS (B) AIR HEATER HAND RESET (検出器) | TE-26-941B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (A) INLET TEMP (検出器) | TE-26-31.1A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (B) INLET TEMP (検出器) | TE-26-31.1B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (A) OUTLET TEMP (検出器) | TE-26-31.4A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号再循環系 | FRYS TRAIN (B) OUTLET TEMP (検出器) | TE-26-31.4B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (16/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|---------------------------------------|------------------|---------|----|------|-------------------|-------------------------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(A)リリ→制御盤 | PNL-LCP-116 | RB-5-14 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(B)リリ→制御盤 | PNL-LCP-119 | RB-5-14 | ○ | 本体 | 15C | 簡易点検 |
| 非常用1号地理系 | SGTS INST. BACK (A) | PNL-LR-R-47 | RB-5-14 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS INST. BACK (B) | PNL-LR-R-48 | RB-5-14 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS 排風機(A) | HVAC-E2-10A | RB-5-14 | ○ | 電動機 | 78H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 78H 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS 排風機(B) | HVAC-E2-10B | RB-5-14 | ○ | 電動機 | 78H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 78H 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(A)リリ | SGTS-FLT-A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 13M 1C | 開放点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(B)リリ | SGTS-FLT-B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 13M 1C | 開放点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(A)リリ | SGTS-HEX-EXC2-7A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(B)リリ | SGTS-HEX-EXC2-7B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(A)入口リリ | SB2-9A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M 10C 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(B)入口リリ | SB2-9B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M 10C 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(A)出口リリ | SB2-11A(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M 10C 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS トリッパ(B)出口リリ | SB2-11B(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 195M 10C 1C | 分解点検 簡易点検 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130M 1C | 分解点検 機能・性能試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (A) ADSOWER IN TEMP (検出器) | TE-26-921A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (B) ADSOWER IN TEMP (検出器) | TE-26-921B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (A) ADSOWER OUT TEMP (検出器) | TE-26-922A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (B) ADSOWER OUT TEMP (検出器) | TE-26-922B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS (A) AIR HEATER AUTO RESET (検出器) | TE-26-950A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS (B) AIR HEATER AUTO RESET (検出器) | TE-26-950B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS (A) AIR HEATER HAND RESET (検出器) | TE-26-951A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS (B) AIR HEATER HAND RESET (検出器) | TE-26-951B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (A) INLET TEMP (検出器) | TE-26-30.1A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1号地理系 | SGTS TRAIN (B) INLET TEMP (検出器) | TE-26-30.1B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (17/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------------------|----------------------------------|------------------------|------------------------|---------|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 非常用1'系処理系 | SGTS TRAIN (A) OUTLET TEMP (検出器) | TE-26-30-4A | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系処理系 | SGTS TRAIN (B) OUTLET TEMP (検出器) | TE-26-30-4B | RB-5-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系 | FRYS-SGTS(A)HEATER CONT. PNL | LCP-133 | RB-5-14 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系 | FRYS-SGTS(B)HEATER CONT. PNL | LCP-134 | RB-5-14 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系 | FRYS SGTS 系入口弁 (SB2-4A) | SB2-4A(A0) | RB-5-1 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系 | FRYS SGTS 系入口弁 (SB2-4B) | SB2-4B(A0) | RB-5-1 | ○ | 駆動部 | 195M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 本体 | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| | 本体 | 1C | 機能・性能試験 | | | | |
| 非常用1'系2号発電設備 | | DG 2C 制御盤 | DGP/2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 中性点接地変圧器盤 | PNL-NGT-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 自動電圧調整器盤 | PNL-DG-AVR-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C シリスタ整流器盤 | PNL-DG-SR-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 交流177V盤 | PNL-ACK-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C シリスタ整流器用変圧器盤 | PNL-SRT-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 可飽和変流器 | PNL-SCT-2C | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C INST. RACK | R-56 | CS-B1-5 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C DIESEL ENGINE INST. RACK | R-65 | CS-B1-5 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | 2C 1'系2号発電機/機関 | GEN-DG-2C/DGL-2C | CS-B1-5 | ○ | 発電機 | 91M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 機関 | 26M | 簡易点検 |
| | | | | | | 13M | 簡易点検 |
| 機関 | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| | 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 吸気系フィルタ (L側) | DG-2C-AE-FILT-INTAKE-L | C/S屋上 | ○ | 本体 | 39M |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 吸気系フィルタ (R側) | DG-2C-AE-FILT-INTAKE-R | C/S屋上 | ○ | 本体 | 39M | 開放点検 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 潤滑油ポンプ | DG-VSL-2C-DGLO-1 | CS-B2-5 | ○ | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C シリスタ整流器 | DG-VSL-2C-DGLO-2 | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1Y | 漏えい試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 機関冷却管 | 7-8-DGLO-113 | C/S屋上 | ○ | 本体 | 8C | 外観点検 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 潤滑油ポンプ冷却管 | 7-6-DGLO-125 | C/S屋上 | ○ | - | - | - |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 燃料ポンプ (燃料ポンプ) | DG-VSL-2C-DO-1 | CS-B1-8 | ○ | 本体 | 1C | 漏えい試験 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 燃料ポンプ冷却管 | 3-11/4-DO-120 | C/S屋上 | ○ | - | - | - |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 始動用電磁弁 (No.1) | 3-14E147D-1 | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 130M | 簡易点検 |
| 非常用1'系2号発電設備 | DG 2C 始動用電磁弁 (No.2) | 3-14E147D-2 | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 130M | 簡易点検 |
| 非常用1'系2号発電設備 | 燃料ポンプ冷却管 (燃料ポンプ) (2C) | DG-LITS-105 | CS-B1-8 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (18/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------------|--------------------------------|-----------------------|----------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 制御盤 | DGP/2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 中性点接地変圧器盤 | PNL-NGT-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 自動電圧調整器盤 | PNL-DG-AVR-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 整流器盤 | PNL-DG-SR-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 交流整流器盤 | PNL-ACK-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 整流器用変圧器盤 | PNL-SRT-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 可飽和整流器 | PNL-SCT-2D | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D INST. RACK | R-52 | CS-B1-3 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D DIESEL ENGINE INST. RACK | R-64 | CS-B1-3 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電設備 | 2D 予備機発電機/機関 | GEN-DG-2D/DG-2D | CS-B1-3 | ○ | 発電機 | 91M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 機関 | 26M | 簡易点検 |
| | | | | | | 13M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 吸気系 (L側) | DG-2D-AE-FLT-INTAKE-L | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 開放点検 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 吸気系 (R側) | DG-2D-AE-FLT-INTAKE-R | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 開放点検 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 潤滑油ポンプ | DG-YSL-2D-DGLO-1 | CS-B2-3 | ○ | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D シラップ油ポンプ | DG-YSL-2D-DGLO-2 | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1Y | 漏えい試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 機関冷却管 | 7-8-DGLO-13 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 8C | 外観点検 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 潤滑油ポンプ冷却管 | 7-6-DGLO-25 | (C/S 屋上) | ○ | - | - | - |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 燃料油ポンプ (燃料ポンプ) | DG-YSL-2D-DO-1 | CS-B1-6 | ○ | 本体 | 1C | 漏えい試験 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 燃料油ポンプ冷却管 | 3-11/4-DO-20 | (C/S 屋上) | ○ | - | - | - |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 始動用電磁弁 (No.1) | 3-14-E4TD-1 | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 130M | 簡易点検 |
| 非常用予備機発電設備 | DG 2D 始動用電磁弁 (No.2) | 3-14-E4TD-2 | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 130M | 簡易点検 |
| 非常用予備機発電設備 | 燃料ポンプ冷却管 (燃料ポンプ) | DG-LITS-5 | CS-B1-6 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 非常用予備機発電機海水系 | DGSWポンプ (2C) | DGSW-PMP-2C | (取水口) | ○ | 電動機 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 26M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 非常用予備機発電機海水系 | DGSWポンプ (2D) | DGSW-PMP-2D | (取水口) | ○ | 電動機 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 26M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 高圧炉心クレーン予備機発電設備 | DG HPCS 制御盤 | DGP/2H | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心クレーン予備機発電設備 | HPCS DG 中性点接地変圧器盤 | PNL-NGT-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心クレーン予備機発電設備 | HPCS DG 自動電圧調整器盤 | PNL-DG-AVR-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心クレーン予備機発電設備 | HPCS DG 整流器盤 | PNL-DG-SR-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (19/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------------------|----------------------------------|-------------------------|----------|----|-------------|-------------|--------------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 交流機 | PNL-ACK-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG ショック整流器用変圧器盤 | PNL-SRT-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 可飽和変流器盤 | PNL-SCT-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | DG HPCS INST. RACK | R-60 | CS-B1-4 | ○ | 圧力スイッチ | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | DG HPCS DIESEL ENGINE INST. RACK | R-66 | CS-B1-4 | ○ | 伝送器, 圧力スイッチ | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS D/E発電機/機関 | GEN-DG-HPCS/DGE-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 発電機 | 91M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS D/E発電機/機関 | GEN-DG-HPCS/DGE-HPCS | CS-B1-4 | ○ | 機関 | 29M | 簡易点検 |
| | | | | | | 13M | 簡易点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 吸気系7(4) (L側) | DG-HPCS-AE-FLT-INTAKE-L | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 開放点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 吸気系7(4) (R側) | DG-HPCS-AE-FLT-INTAKE-R | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 39M | 開放点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 潤滑油ポンプ | DG-VSL-HPCS-DGL0-1 | CS-B2-4 | ○ | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG シリコール油ポンプ | DG-VSL-HPCS-DGL0-2 | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1Y | 漏えい試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 機関ベント管 | 7-8-DGL0-213 | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 8C | 外観点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 潤滑油ポンプベント管 | 7-6-DGL0-225 | (C/S 屋上) | ○ | - | - | - |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 燃料油ポンプ (燃料ポンプ) | DG-VSL-HPCS-DO-1 | CS-B1-7 | ○ | 本体 | 1C | 漏えい試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 燃料油ポンプベント管 | 3-11/4-DO-220 | (C/S 屋上) | ○ | - | - | - |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 起動用電磁弁 (No. 1) | 3-14E24TD-1 | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 13M 130M | 分解点検 簡易点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | HPCS DG 起動用電磁弁 (No. 2) | 3-14E24TD-2 | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 13M 130M | 分解点検 簡易点検 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電設備 | 燃料ポンプ液面センサー (HPCS) | DG-LITS-205 | CS-B1-7 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心冷却系D/E発電機海水系 | HPCS-DGSHポンプ | DGSB-PMP-HPCS | (取水口) | ○ | 電動機 | 78M | 分解点検 |
| | | | | | 1C | 特性試験 | |
| 高圧炉心冷却系D/E発電機海水系 | HPCS-DGSHポンプ | DGSB-PMP-HPCS | (取水口) | ○ | 本体 | 29M | 分解点検 |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| D/E発電機換気系 | DG 2C 8-7ポンプ | PV2-10 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | DG 2C 8-7ポンプ | PV2-11 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | DG 2D 8-7ポンプ | PV2-6 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | DG 2D 8-7ポンプ | PV2-7 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | DG HPCS 8-7ポンプ | PV2-8 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | DG HPCS 8-7ポンプ | PV2-9 | (C/S 屋上) | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | 2D DG 室外気取入ポンプ (A) | A0-T41-F060A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | 2D DG 室外気取入ポンプ (B) | A0-T41-F060B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 52M | 分解点検 |
| D/E発電機換気系 | 2D DG 室外気取入ポンプ (C) | A0-T41-F060C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 52M | 分解点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (20/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|---|--------------|----------|------|-----|------|---------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 2号 DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F060D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (E) | MO-T41-F060E | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (F) | MO-T41-F060F | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (A) | MO-T41-F061A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (B) | MO-T41-F061B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (C) | MO-T41-F061C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2号 DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F061D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HVAC D/G 2D EQUIP ROOM VENTILATING SYS. | PNL-T41-P008 | CS-B1-3 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (A) | MO-T41-F062A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (B) | MO-T41-F062B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (C) | MO-T41-F062C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F062D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (A) | MO-T41-F063A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (B) | MO-T41-F063B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (C) | MO-T41-F063C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HPCS DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F063D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HVAC D/G HPCS EQUIP ROOM VENTILATING SYS. | PNL-T41-P009 | CS-B1-4 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (A) | MO-T41-F064A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (B) | MO-T41-F064B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (C) | MO-T41-F064C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F064D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (A) | MO-T41-F065A | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (B) | MO-T41-F065B | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (C) | MO-T41-F065C | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| 2C DG 室外気取入ファン (D) | MO-T41-F065D | (C/S 屋上) | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 機能・性能試験 | |
| HVAC D/G 2C EQUIP ROOM VENTILATING SYS. | PNL-T41-P010 | CS-B1-5 | ○ | 本体 | 1C | 簡易点検 | |
| 2号 DG 発電機燃料油系 | DO-PM-A | (屋外) | ○ | 電動機 | 78M | 分解点検 | |
| | | | | 本体 | 39M | 分解点検 | |
| | | | | | 1C | 簡易点検 | |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (21/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|---------------|---|---------------|---------|----|------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| D17-B1発電機燃料油系 | 燃料移送ポンプ(B) | D0-PMP-B | (屋外) | ○ | 電動機 | 788 | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 394 | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 磨損点検 |
| D17-B2発電機燃料油系 | 燃料移送ポンプ(C) | D0-PMP-C | (屋外) | ○ | 電動機 | 788 | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 394 | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 磨損点検 |
| D17-B3発電機燃料油系 | 軽油貯蔵タンク | - | (屋外) | ○ | 本体 | 10T | 磨損点検 |
| | | | | | | 1T | 漏えい試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | MAIN STEAM LINE (A) RADIATION MONITOR (検出器) | D17-N003A | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | MAIN STEAM LINE (B) RADIATION MONITOR (検出器) | D17-N003B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | MAIN STEAM LINE (C) RADIATION MONITOR (検出器) | D17-N003C | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | MAIN STEAM LINE (D) RADIATION MONITOR (検出器) | D17-N003D | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | 原子炉建屋排気筒E-3(A) (検出器) | D17-N009A | CS-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | 原子炉建屋排気筒E-3(B) (検出器) | D17-N009B | CS-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | 原子炉建屋排気筒E-3(C) (検出器) | D17-N009C | CS-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | 原子炉建屋排気筒E-3(D) (検出器) | D17-N009D | CS-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (A) (検出器) | D17-N300A | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (B) (検出器) | D17-N300B | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (C) (検出器) | D17-N300C | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (D) (検出器) | D17-N300D | RB-6-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE HOLD UP(A)アリアブ | RAM-D17-R020A | TB-1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE HOLD UP(B)アリアブ | RAM-D17-R020B | TB-1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE HOLD UP(A) (検出器) | D17-N002A | TB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE HOLD UP(B) (検出器) | D17-N002B | TB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE TREATMENT(A)アリアブ | RAM-D17-R030A | RW-2-11 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE TREATMENT(B)アリアブ | RAM-D17-R030B | RW-2-11 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE TREATMENT(A) (検出器) | D17-N002A | RW-2-11 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE TREATMENT(B) (検出器) | D17-N002B | RW-2-11 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS POST TREATMENT(A)アリアブ | RAM-D17-R500A | RW-2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS POST TREATMENT(B)アリアブ | RAM-D17-R500B | RW-2-3 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS POST TREATMENT SAMPLE RACK | D17-J011 | RW-2-3 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS POST TREATMENT SAMPLE RACK | D17-J011-1 | RW-2-3 | ○ | - | - | - |
| プロセ放射線モニタ系 | OFF GAS PRE HOLD UP LINEAR (検出器) | D17-N0021 | TB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| プロセ放射線モニタ系 | 光変換器型収納盤 | D17-P112 | CS-B1-1 | ○ | - | - | - |
| プロセ放射線モニタ系 | 光変換器型収納盤 | - | スリッド建屋 | ○ | - | - | - |
| プロセ放射線モニタ系 | 排気筒E-3盤 | D17-P012 | スリッド建屋 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (22/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------------|------------------------------|----------------|--------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| プルトニウム照射線系 | 主排気筒への排気ファン(A) | D17-P101A | 3号炉建屋 | ○ | 検出器 | 1C | 特性試験 |
| プルトニウム照射線系 | 主排気筒への排気ファン(B) | D17-P101B | 3号炉建屋 | ○ | 検出器 | 1C | 特性試験 |
| ほう酸水注入系 | SLC 計装ファン | H22-P011 | RB-5-3 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入ポンプ(A) | SLC-PMP-C001A | RB-5-3 | ○ | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 機能・性能試験 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水注入ポンプ(B) | SLC-PMP-C001B | RB-5-3 | ○ | 電動機 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 機能・性能試験 |
| ほう酸水注入系 | ほう酸水貯蔵タンク | SLC-VSL-A001 | RB-5-3 | ○ | 本体 | 130M | 開放点検 |
| ほう酸水注入系 | SLC 貯蔵タンク出口弁(A) | C41-F001A(000) | RB-5-3 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| ほう酸水注入系 | SLC 貯蔵タンク出口弁(B) | C41-F001B(000) | RB-5-3 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 4C | 特性試験 |
| ほう酸水注入系 | SLC 爆破弁(A) | C41-F004A | RB-5-3 | ○ | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 2C | 機能・性能試験 |
| ほう酸水注入系 | SLC 爆破弁(B) | C41-F004B | RB-5-3 | ○ | 本体 | 20M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 2C | 機能・性能試験 |
| ほう酸水注入系 | SLC 逆止弁 | C41-FF004(A00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 52M | 分解点検 |
| ほう酸水注入系 | SLC PUMP DISCH PRESS (伝送器) | PT-C41-N004 | RB-5-3 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 補機冷却海水系 | ASWポンプ(A) | ASW-PMP-A | (取水口) | ○ | 電動機 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 補機冷却海水系 | ASWポンプ(B) | ASW-PMP-B | (取水口) | ○ | 電動機 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| 補機冷却海水系 | ASWポンプ(C) | ASW-PMP-C | (取水口) | ○ | 電動機 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N029A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N029B | RB-3-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N029C | RB-3-1 | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N029D | RB-3-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N030A | RB-2-9 | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N030B | RB-2-9 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N030C | RB-2-9 | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA DIFF TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N030D | RB-2-9 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N031A | RB-2-1 | ○ | 本体 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 13M | 簡易点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (23/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|--------|-------------------------|--------------|---------|----|------|----|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N031B | RB-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N031C | RB-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N031D | RB-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N039A | TB-1-15 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N039B | TB-1-15 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N039C | TB-1-15 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N039D | TB-1-15 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N040A | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N040B | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N040C | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N040D | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N041A | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N041B | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N041C | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N041D | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N042A | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N042B | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N042C | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N042D | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N043A | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N043B | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N043C | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N043D | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N044A | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N044B | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N044C | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N044D | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N045A | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N045B | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N045C | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N045D | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N046A | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N046B | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (24/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-------------------------|---|----------------------|---------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N046C | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N046D | TB-1-16 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (A) (検出器) | TE-E31-N047A | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (B) (検出器) | TE-E31-N047B | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (C) (検出器) | TE-E31-N047C | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | MSL AREA TEMP (D) (検出器) | TE-E31-N047D | TB-1-14 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 漏えい検出系 | 核分裂生成物 \rightarrow 系 \rightarrow ラジ \rightarrow 弁 | E31-F010A(M) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 漏えい検出系 | 核分裂生成物 \rightarrow 系 \rightarrow ラジ \rightarrow 弁 | E31-F010B(M) | RB-01-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 漏えい検出系 | 核分裂生成物 \rightarrow 系 \rightarrow ラジ \rightarrow 弁 | E31-F010B(M) | RB-01-1 | ○ | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 漏えい検出系 | 核分裂生成物 \rightarrow 系 \rightarrow ラジ \rightarrow 弁 | E31-F011A(M) | RB-3-2 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 漏えい検出系 | 核分裂生成物 \rightarrow 系 \rightarrow ラジ \rightarrow 弁 | E31-F011B(M) | RB-01-1 | ○ | 駆動部 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS \rightarrow 制御盤(A) | PYL-FCS-HEATER-A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS \rightarrow 制御盤(B) | PYL-FCS-HEATER-B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS(A)系統流量計装 | - | RB-3-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS(B)系統流量計装 | - | RB-3-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS \rightarrow 9(A) | FCS-BVA-T49-BLOWER-A | RB-3-1 | ○ | 電動機 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS \rightarrow 9(B) | FCS-BVA-T49-BLOWER-B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 104M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS 再結合器(A) | FCS-HEX-1A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 130M | 開放点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS 再結合器(B) | FCS-HEX-1B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 130M | 開放点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS 加熱器(A) | FCS-HEX-HTR-A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 130M | 開放点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS 加熱器(B) | FCS-HEX-HTR-B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 130M | 開放点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS (A)冷却器冷却水元弁 | E12-FF104A(M) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 可燃性 \rightarrow 濃度制御系 | FCS (A)冷却器冷却水元弁 | E12-FF104A(M) | RB-3-1 | ○ | 本体 | 2C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 2C | 機能・性能試験 |

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (25 / 38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------------------------|--------------------------------|------------------|--------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (B) 冷却器冷却水弁 | E12-FF10(B) (00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 160H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 69H | 漏洩点検 |
| | | | | | | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 機能・性能試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 冷却器冷却水入口弁 | WV-10A (00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 160H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 160H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 冷却器冷却水入口弁 | WV-10B (00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 160H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 160H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 入口制御弁 | FV-1A (00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 入口制御弁 | FV-1B (00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 再循環制御弁 | FV-2A (00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS 再循環制御弁 | FV-2B (00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (A) 系入口管隔離弁 | 2-43V-1A (00) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 160H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (B) 系入口管隔離弁 | 2-43V-1B (00) | RB-2-3 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (A) 系出口弁 | 2-43V-2A (00) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (B) 系出口弁 | 2-43V-2B (00) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (A) 系出口管隔離弁 | 2-43V-3A (00) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | PCS (B) 系出口管隔離弁 | 2-43V-3B (00) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 4C | 特性試験 |
| | | | | | | 143H | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 143H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 7#7(A) 入口 ³ 濃度(検出器) | TE-T49-2A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (26/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------------------------|----------------------------------|-----------------------------|----------|----|-------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 7#炉入口 ³ 濃度(検出器) | TE-T49-2B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管2/3位置(A) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-4A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管2/3位置(B) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-4B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管(A)出口 ³ 濃度(検出器) | TE-T49-5A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管(B)出口 ³ 濃度(検出器) | TE-T49-5B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管(A)出口壁温度(検出器) | TE-T49-6A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 加熱管(B)出口壁温度(検出器) | TE-T49-6B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再結合(A) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-7A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再結合(B) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-7B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再結合器(A)壁温度(検出器) | TE-T49-8A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再結合器(B)壁温度(検出器) | TE-T49-8B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再循環(A) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-9A | RB-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 可燃性 ³ 濃度制御系 | 再循環(B) ³ 濃度(検出器) | TE-T49-9B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC DIV-1計装 ³ | H22-P017 | RB-B1-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC DIV-2計装 ³ | H22-P029 | RB-B1-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC TURBINE CONTROL BOX | LCP-105 | CS-3-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | FI-E51-3002計器収納箱 | - | RB-B2-10 | ○ | 指示計 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCICポンプ/モーター | RCIC-PMP-C001/TB8-RCIC-C002 | RB-B2-10 | ○ | ポンプ | 65M | 分解点検 |
| | | | | | モーター | 65M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC真空ポンプ | RCIC-PMP-VAC | RB-B2-17 | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 65M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC復水ポンプ | RCIC-PMP-C00D | RB-B2-17 | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 65M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | 油圧作動弁 ³ 弁 | GOVERNING VALVE | RB-B2-10 | ○ | 駆動部、弁 | 65M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | ポンプ | - | RB-B2-10 | ○ | 本体 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCICポンプ/モーター弁 | E51-C002(00) | RB-B2-10 | ○ | 駆動部 | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC注入弁 | E51-P013(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 130M | 簡易点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC注入弁 | E51-P013(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 169M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC注入弁 | E51-P013(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC注入弁 | E51-P013(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 7T | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 65M | 簡易点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC注入弁 | E51-P013(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (27/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|-------------------------------|--------------|----------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC コフォー弁 | E51-F019(00) | RB-02-10 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC マンダプレッシャープ水供給弁 | E51-F031(00) | RB-02-10 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 蒸気供給弁 | E51-F045(00) | RB-02-10 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 150H | 分解点検 |
| | | | | | | 78H | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 潤滑油ポンプ冷却水供給弁 | E51-F046(00) | RB-02-10 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 外側隔離弁 | E51-F064(00) | RB-3-6 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 7T | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC ナベシ排気弁 | E51-F068(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 真空ポンプ 出口弁 | E51-F069(00) | RB-B1-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 弁(E51-F045)ベローズ弁 | E51-F095(00) | RB-02-10 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 130H | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 弁(E51-F065)均圧弁 | E51-F098(00) | RB-4-1 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | PUMP DISCHARGE PRESS (ベータ) | PSH-E51-3020 | RB-02-10 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | PUMP DISCHARGE H/L FLOW (伝感器) | FT-E51-3002 | RB-02-10 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (28/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|--------------------------------|------------------|----------|----|---------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC PUMP DISCHARGE FLOW (伝送器) | FT-E51-N003 | RB-B2-10 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 蒸気入口11"の排水弁 | E51-F025 (A0) | RB-B2-10 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 蒸気入口11"の排水弁 | E51-F025 (A0) | RB-B2-10 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 6"の排水弁復水排水弁 | E51-F004 (A0) | RB-B2-17 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 6"の排水弁復水排水弁 | E51-F004 (A0) | RB-B2-17 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 6"の排水弁復水排水弁 | E51-F005 (A0) | RB-B2-17 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| 原子炉隔離時冷却系 | RCIC 6"の排水弁復水排水弁 | E51-F005 (A0) | RB-B2-17 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉建屋換気系 | HPCS エンジン室空調機 | HVAC-AR2-1 (換気口) | RB-B2-19 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | HPCS エンジン室空調機 | HVAC-AR2-2 (換気口) | RB-B2-1 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | LPCS エンジン室空調機 | HVAC-AR2-3 (換気口) | RB-B2-13 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | RCIC エンジン・ポンプ室空調機 | HVAC-AR2-4 (換気口) | RB-B2-17 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | RIR (D) エンジン室空調機 | HVAC-AR2-5 (換気口) | RB-B2-3 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | RIR (C) エンジン室空調機 | HVAC-AR2-6 (換気口) | RB-B2-6 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | RIR (A) エンジン室空調機 | HVAC-AR2-7 (換気口) | RB-B2-7 | ○ | 電動機 | 5C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 開放点検 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S給気隔離ポンプ (通常系) | SB2-1A (A0) | CS-3-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | 71.14-7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電動弁 | 104M | 機能点検 |
| | | | | | 本体 | 52M | 分解点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S給気隔離ポンプ (通常系) | SB2-1B (A0) | CS-3-1 | ○ | 本体 | 117M | 機能点検 |
| | | | | | 71.14-7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電動弁 | 104M | 機能点検 |
| | | | | | 本体 | 117M | 機能点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (29/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|-------------------|------------------|--------|----|---------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S給気隔離ダンパ | SB2-1C(A0) | CS-3-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S給気隔離ダンパ | SB2-1D(A0) | CS-3-1 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S排気隔離ダンパ (通常系) | SB2-2A(A0) | CS-3-2 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S排気隔離ダンパ (通常系) | SB2-2B(A0) | CS-3-2 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S排気隔離ダンパ | SB2-2C(A0) | CS-3-3 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉建屋換気系 | C/S排気隔離ダンパ | SB2-2D(A0) | CS-3-3 | ○ | 本体 | 52M | 分解点検 |
| | | | | | | 117M | 簡易点検 |
| | | | | | 71.5L→7 | 39M | 開放点検 |
| | | | | | 電磁弁 | 104M | 簡易点検 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環系(A)計装??? | H22-P022 | RB-2-9 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環系(B)計装??? | H22-P006 | RB-2-8 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁 | B35-F060A-Y1(A0) | RB-3-6 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁 | B35-F060B-Y2(A0) | RB-3-5 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁 | B35-F060A-Y3(A0) | RB-3-6 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁 | B35-F060B-Y4(A0) | RB-3-5 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁 | B35-F060A-Y5(A0) | RB-3-6 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁 | B35-F060B-Y6(A0) | RB-3-5 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁 | B35-F060A-Y7(A0) | RB-3-6 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (30/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|----------------------|-------------------|--------------|---------|------|-----------|----------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 原子炉再循環系 | 原子炉再循環ポンプ(D)流量制御弁 | B35-F000B-Y8(A0) | RB-3-5 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 原子炉冷却材浄化系 | CUR 外側隔離弁 | G33-F004(00) | RB-2-10 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 7Y | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| 高圧炉心スプレイ系 | HPCS DIV-計装ポンプ | H22-F024 | RB-B1-2 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | | 高圧炉心スプレイ系 | HPCS ポンプ |
| 本体 | 1C | 特性試験 | | | | | |
| | 駆動部 | 130M | 分解点検 | | | | |
| 本体 | | 1C | 機能・性能試験 | | | | |
| | 高圧炉心スプレイ系 | HPCS ポンプ入口弁(CST側) | E22-F001(00) | RB-B1-2 | ○ | 駆動部 | 160M |
| 2C | | | | | | | 特性試験 |
| 本体 | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| | 130M | 分解点検 | | | | | |
| 高圧炉心スプレイ系 | HPCS 注入弁 | E22-F004(00) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| 本体 | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| | 7Y | 分解点検 | | | | | |
| 高圧炉心スプレイ系 | HPCS ミスター弁 | E22-F012(00) | RB-B2-19 | ○ | 駆動部 | 65M | 簡易点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 本体 | 130M | 分解点検 | | | | | |
| | 65M | 簡易点検 | | | | | |
| 高圧炉心スプレイ系 | HPCS ポンプ入口弁(S/P側) | E22-F015(00) | RB-B2-1 | ○ | 駆動部 | 160M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| 本体 | 1C | 機能・性能試験 | | | | | |
| | 130M | 分解点検 | | | | | |
| 高圧炉心スプレイ系 | CST WATER LEVEL(伝送器) | LT-E22-3054A | CST-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心スプレイ系 | CST WATER LEVEL(伝送器) | LT-E22-3054B | CST-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心スプレイ系 | CST WATER LEVEL(伝送器) | LT-E22-3054C | CST-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 高圧炉心スプレイ系 | CST WATER LEVEL(伝送器) | LT-E22-3054D | CST-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS 計装ポンプ | H22-F001 | RB-B1-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS ポンプ | LPCS-PM-C001 | RB-B2-12 | ○ | 電動機 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS ポンプ入口弁 | E21-F001(00) | RB-B2-12 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (31/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|---------------------------|--------------|----------|----|------------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS 注入弁 | E21-F005(00) | RB-3-1 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 7Y | 分解点検 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS エア弁 | E21-F011(00) | RB-42-12 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS エア弁 | E21-F011(00) | RB-42-12 | ○ | 駆動部 | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 150M | 分解点検 |
| 低圧炉心スプレイ系 | LPCS エア弁 | E21-F011(00) | RB-42-12 | ○ | 本体 | 78H | 簡易点検 |
| | | | | | | 169H | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム放射線計装盤 | H13-P600 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 中央制御室制御盤 | 非常用炉心冷却系制御盤 | H13-P601 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉補機制御盤 | H13-P602 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉制御操作盤 | H13-P603 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム放射線計装盤 | H13-P604 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | TIP 制御盤 | H13-P607 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 出力領域計装盤 | H13-P608 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 出力領域計装盤 | H13-P608 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(A)継電器盤 | H13-P609 | CS-2-1 | ○ | 電磁接触器 | 10C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(A)継電器盤 | H13-P609 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 5C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(A)継電器盤 | H13-P609 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(B)継電器盤 | H13-P611 | CS-2-1 | ○ | 電磁接触器 | 10C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(B)継電器盤 | H13-P611 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 5C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(B)継電器盤 | H13-P611 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム計装盤 | H13-P613 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム計装盤 | H13-P613 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム計装盤 | H13-P617 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム計装盤 | H13-P617 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 残留熱除去系(B)、(C)補助継電器盤 | H13-P618 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 残留熱除去系(B)、(C)補助継電器盤 | H13-P618 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | シフトアップ計装盤 | H13-P619 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | シフトアップ計装盤 | H13-P619 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉隔離時冷却系継電器盤 | H13-P621 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉隔離時冷却系継電器盤 | H13-P621 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉格納容器内側隔離系継電器盤 | H13-P622 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 5C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉格納容器内側隔離系継電器盤 | H13-P622 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉格納容器外側隔離系継電器盤 | H13-P623 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 5C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉格納容器外側隔離系継電器盤 | H13-P623 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 高圧炉心スプレイ系継電器盤 | H13-P625 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 高圧炉心スプレイ系継電器盤 | H13-P625 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 自動減圧系(A)継電器盤 | H13-P628 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 自動減圧系(A)継電器盤 | H13-P628 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系(A)補助継電器盤 | H13-P629 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系(A)補助継電器盤 | H13-P629 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 自動減圧系(B)継電器盤 | H13-P631 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 自動減圧系(B)継電器盤 | H13-P631 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 漏えい検出系操作盤 | H13-P632 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 漏えい検出系操作盤 | H13-P632 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム放射線計装、起動時間域計装(A)操作盤 | H13-P635 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム放射線計装、起動時間域計装(A)操作盤 | H13-P635 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (32/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|------------------------------|----------|--------|----|------------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 中央制御室制御盤 | プルトニウム放射線計測、起動時領域モニタ操作盤 | H13-P636 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 格納容器雰囲気監視系(A)操作盤 | H13-P638 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 格納容器雰囲気監視系(B)操作盤 | H13-P639 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 備えい検出系操作盤 | H13-P642 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | γ線レベル-4温度記録計盤(A) | H13-P689 | CS-2-1 | ○ | 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 中央制御室制御盤 | γ線レベル-4温度記録計盤(B) | H13-P690 | CS-2-1 | ○ | 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(1A)トリップユニット盤 | H13-P921 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(1B)トリップユニット盤 | H13-P922 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(2A)トリップユニット盤 | H13-P923 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉保護系(2B)トリップユニット盤 | H13-P924 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 緊急時炉心冷却系(DIV-I-1)トリップユニット盤 | H13-P925 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 緊急時炉心冷却系(DIV-II-1)トリップユニット盤 | H13-P926 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 緊急時炉心冷却系(DIV-I-2)トリップユニット盤 | H13-P927 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 高圧炉心スプレイシステムユニット盤 | H13-P929 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 所内電気操作盤 | CP-1 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| 中央制御室制御盤 | 3-ビーム電機機操作盤 | CP-2 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 3-ビーム補機操作盤 | CP-3 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 3-ビーム補機盤 | CP-4 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 空素置換-空調機気制御盤 | CP-5 | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 非常用1号処理系、非常用2号処理系(A)操作盤 | CP-6A | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 非常用1号処理系、非常用2号処理系(B)操作盤 | CP-6B | CS-2-1 | ○ | 継電器、操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | TURB. GEN TEST&CHECKOUT V. B | CP-7 | CS-2-1 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | TURBINE GENERATOR V. B | CP-8 | CS-2-1 | ○ | 計装品 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 3-ビーム補機補助継電器盤 | CP-9 | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 発電機・主変圧器保護リレー盤 | CP-10A | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 発電機・主変圧器保護リレー盤 | CP-10B | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 予備変圧器保護リレー盤 | CP-10C | CS-2-1 | ○ | 継電器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 3-ビーム補機盤 | CP-11 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (33/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-------------|---------------------------|-------------------|--------|----|--------------------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 中央制御室制御盤 | MSIV-LCS (A) 制御盤 | CP-13 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | MSIV-LCS (B) 制御盤 | CP-14 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 可燃性ガス濃度制御盤(A) | CP-15 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 可燃性ガス濃度制御盤(B) | CP-16 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 中央制御室制御盤 | 送・受電系統制御盤 | CP-30 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | OFF GAS CHACOAL SYS. V. B | CP-31 | CS-2-1 | ○ | 記録計 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 開閉所保護リレー盤 | CP-32 | CS-2-1 | ○ | 継電器, 操作スイッチ, 電源装置等 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中央制御室制御盤 | 原子炉廻り温度記録計盤 | H13-P614 | CS-2-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | IR&SRM PREAMP. CABINET | H22-P030 | RB-3-1 | ○ | 前置増幅器 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | IR&SRM PREAMP. CABINET | H22-P031 | RB-3-2 | ○ | 前置増幅器 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | IR&SRM PREAMP. CABINET | H22-P032 | RB-3-1 | ○ | 前置増幅器 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | IR&SRM PREAMP. CABINET | H22-P033 | RB-3-2 | ○ | 前置増幅器 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | TIP 駆動装置電気盤 | LCP-200 | RB-2-8 | ○ | 継電器, 電磁接触器 | 15C | 簡易点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 中性子計装系 | TIP N2 隔離弁 | C51-S0-F010 (電磁弁) | RB-2-6 | ○ | 本体 | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 主蒸気隔離弁開え抑制系 | MSIV 33A1-71' 弁 (A) | E32-FF009A (M) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 4C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 主蒸気隔離弁開え抑制系 | MSIV 33A1-71' 弁 (B) | E32-FF009B (M) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 4C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 1'3'冷却系 | 1'3'冷却水入口隔離弁 | 7-90V13 (M) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 1'3'冷却系 | 1'3'冷却水出口隔離弁 | 7-90V17 (M) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | PCV PRESS (A) (伝送器) | PT-26-79.51A | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| | | | | | | | |
| 不活性ガス系 | 270'-27' 供給入口弁 | 2-20B-1 (M) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 不活性ガス系 | 格納容器ベローズ弁 | 2-20B-2 (M) | RB-2-9 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| 不活性ガス系 | 47'レトリクタシオン真空破壊止め弁 | 2-20B-3 (M) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (34/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|--------|--------------------|--------------|---------|----|------|-----|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 不活性ガス系 | イソレーション/真空破損止め弁 | 2-20B-4(A0) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | イソレーション/真空破損止め弁 | 2-20B-5(A0) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | イソレーション/N2供給弁 | 2-20B-6(A0) | RB-1-1 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | 格納容器/イソレーション/N2供給弁 | 2-20B-7(A0) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | N2スレーブ供給弁 | 2-20B-8(A0) | RB-2-8 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | 格納容器/N2供給弁 | 2-20B-9(A0) | RB-2-9 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | イソレーション/真空破損止め弁 | 2-20B-10(A0) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | イソレーション/真空破損止め弁 | 2-20B-11(A0) | RB-1-2 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 13M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | ドラフト弁 | 2-20B-12(A0) | RB-4-3 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | 原子炉建屋換気系/弁(SB2-14) | 2-20B-13(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 不活性ガス系 | FRS弁(SB2-3) | 2-20B-14(A0) | RB-5-14 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | 本体 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (35/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|------------------------------|---------------|----------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A 209ヘンポン | 2-2099(A0) | RB-4-3 | ○ | 駆動部 | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20981(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20982(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20983(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20984(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20985(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20986(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20987(電磁弁) | RB-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20988(電磁弁) | RB-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20989(電磁弁) | RB-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20990(電磁弁) | RB-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | 1'9(9)A真空破壊弁用電磁弁 | 2-20991(電磁弁) | RB-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 不活性ガス系 | PCV PRESS (B) (伝送器) | PT-26-79.51B | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | PCV PRESS | PT-26-79.53 | RB-3-1 | ○ | 伝送器 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | PCV PRESS(伝送器) | PT-26-79.5R | RB-3-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | SUPP CHAMBER PRESS | PT-26-79.52A | RB-1-1 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | SUPP CHAMBER PRESS | PT-26-79.52B | RB-1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | SUPP CHAMBER LEVEL (伝送器) | LT-26-79.5R | RB-B2-6 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | SUPP CHAMBER LEVEL (A) (伝送器) | LT-26-79.5A | RB-B2-13 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 不活性ガス系 | SUPP CHAMBER LEVEL (B) (伝送器) | LT-26-79.5B | RB-B2-6 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 事故時クランプ系 | D/W内クランプポンプ | V25-1008(電磁弁) | RB-3-1 | ○ | - | - | - |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51A1(電磁弁) | RB-4-2 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51A2(電磁弁) | RB-4-2 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51B1(電磁弁) | RB-3-2 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51B2(電磁弁) | RB-3-2 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51C1(電磁弁) | RB-2-3 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51C2(電磁弁) | RB-2-3 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系クランプ弁 | 25-51D1(電磁弁) | RB-1-2 | ○ | 本体 | 195M | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (36/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|-----------|-----------------------------|---------------|----------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系ポンプ弁 | 25-5102(電磁弁) | RB-1-2 | ○ | 本体 | 1950 | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系排気弁 | 25-51E1(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1950 | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| 試料採取系 | 格納容器酸素分析系排気弁 | 25-51E2(電磁弁) | RB-B1-1 | ○ | 本体 | 1950 | 取替 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| 試料採取系 | PLR 炉水ポンプポンプ弁 (外側隔離弁) | B35-F020(A0) | RB-3-2 | ○ | 駆動部 | 30M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 30M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 放射性廃棄物処理系 | 原子炉格納容器1号系圧入隔離弁 (外側) | G13-F129(A0) | RB-B1-8 | ○ | 駆動部 | 143M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 143M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 放射性廃棄物処理系 | 原子炉格納容器1号系圧入隔離弁 (内側) | G13-F130(A0) | RB-B1-8 | ○ | 駆動部 | 143M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 143M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 放射性廃棄物処理系 | 原子炉格納容器1号系機器1号隔離弁 (外側) | G13-F132(A0) | RB-B1-8 | ○ | 駆動部 | 143M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 143M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 放射性廃棄物処理系 | 原子炉格納容器1号系機器1号隔離弁 (内側) | G13-F133(A0) | RB-B1-8 | ○ | 駆動部 | 143M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 143M | 分解点検 |
| | | | | | 本体 | 1C | 機能+性能試験 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| | | | | | | 10C | 簡易点検 |
| 復水移送系 | 復水移送ポンプ(A) | MUW-PMP-CST-A | TB-B1-6 | ○ | 電動機 | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 20M | 簡易点検 |
| 復水移送系 | 復水移送ポンプ(B) | MUW-PMP-CST-B | TB-B1-6 | ○ | 電動機 | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 20M | 簡易点検 |
| 復水移送系 | COND TRANS PUMP DISCH PRESS | PT-18-190.5 | TB-B1-6 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 復水移送系 | CST (A) LEVEL (伝送器) | LT-18-190A | CST-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 復水移送系 | CST (B) LEVEL (伝送器) | LT-18-190B | CST-B1-2 | ○ | 本体 | 1C | 特性試験 |
| 気体廃棄物処理系 | OFF GAS SYSTEM INST. BACK | PNL-LR-R-4 | TB-1-4 | ○ | 本体 | 1C | 外観点検 |
| 気体廃棄物処理系 | OFF GAS PREHEATERS TEMP | TE-23-164 | TB-1-8 | ○ | - | - | - |
| 気体廃棄物処理系 | 主蒸気式空気抽出器(A) 出口弁 | 6-23V1(000) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 1500 | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 1300 | 分解点検 |
| 気体廃棄物処理系 | 主蒸気式空気抽出器(B) 出口弁 | 6-23V2(000) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 1500 | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 1300 | 分解点検 |

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (37/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|----------|------------------------------|--------------------|---------|----|------|------|---------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス処理機(A)入口弁 | 6-23V5(A0) | TB-1-19 | ○ | 駆動部 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス処理機(B)入口弁 | 6-23V4(A0) | TB-1-17 | ○ | 駆動部 | 39M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 39M | 分解点検 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス予熱器(A)蒸気温度制御弁 | TCV-23-164, 1A(A0) | TB-1-2 | ○ | 本体 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス予熱器(B)蒸気温度制御弁 | TCV-23-164, 1B(A0) | TB-1-6 | ○ | 本体 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(A)入口弁 | OGC-F019A(A0) | RF-1-4 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(B)入口弁 | OGC-F019B(A0) | RF-1-4 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(A)再循環圧力制御弁 | PCV-F051A | RF-1-4 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(B)再循環圧力制御弁 | PCV-F051B | RF-1-4 | ○ | 本体 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(A)入口弁 | OGC-F103A(A0) | RF-1-4 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | 排ガス空気抽出器(B)入口弁 | OGC-F103B(A0) | RF-1-4 | ○ | 駆動部 | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| 気体廃棄物処理系 | OFF GAS RECOMBINER HEATER(A) | - | TB-1-19 | ○ | 本体 | 6C | 特性試験 |
| 気体廃棄物処理系 | OFF GAS RECOMBINER HEATER(B) | - | TB-1-17 | ○ | 本体 | 6C | 特性試験 |
| 空気抽出系 | 第1段SJA(B)空気入口弁 | 6-22V2(M0) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 空気抽出系 | 第1段SJA(A)空気入口弁 | 6-22V3(M0) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 2C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 空気抽出系 | SJA 蒸気 BLOCK | AO-7-119A | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 空気抽出系 | SJA 蒸気 BLOCK | AO-7-119B | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 65M | 分解点検 |
| | | | | | | 1C | 機能・性能試験 |
| | | | | | | 65M | 分解点検 |
| 排ガス補助蒸気系 | 主蒸気式空気抽出器(A)第1段蒸気入口弁 | 6-7V31A(M0) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 排ガス補助蒸気系 | 主蒸気式空気抽出器(A)第2段蒸気入口弁 | 6-7V31B(M0) | TB-1-8 | ○ | 駆動部 | 150M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | | 130M | 分解点検 |
| 排ガス補助蒸気系 | | | | | 本体 | 65M | 機能点検 |
| | | | | | | 65M | 機能点検 |

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017.12.20 版)

東海第二発電所 (2018.9.18 版)

島根原子力発電所 2 号炉

備考

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (38/38)

| 系統名称 | 機器名称 | 機器番号 | 区画番号 | 判定 | 保全状況 | | |
|------------|--------------------------|------------|--------|----|------|------|------|
| | | | | | 点検部位 | 周期 | 保全内容 |
| F-17 補助蒸気系 | 主蒸気式空気抽出器 (B) 第 1 段蒸気入口弁 | 6-7Y32A(M) | TB-1-S | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |
| F-17 補助蒸気系 | 主蒸気式空気抽出器 (B) 第 2 段蒸気入口弁 | 6-7Y32B(M) | TB-1-S | ○ | 駆動部 | 156M | 分解点検 |
| | | | | | | 6C | 特性試験 |
| | | | | | 本体 | 130M | 分解点検 |
| | | | | | | 65M | 簡易点検 |